

乳幼児期の非認知能力についての意識および取り組みに関する調査

—保護者調査 集計結果（速報版）—

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

令和3（2021）年1月



目次

1. 調査の概要	9
2. 調査の目的	10
3. 調査の方法	10
4. 倫理的配慮	10
4.1. 個人情報の保護と情報の取り扱い	10
4.2. 回答の任意性	10
4.3. その他	10
5. 調査の内容	11
5.1. 回答者自身と家庭の基本情報	11
5.2. お子さんの基本情報	11
5.3. 「非認知能力」に関する理解・重視度・家庭での取り組み	11
5.4. お子さんの資質・能力についての意識	11
5.5. 家庭での取り組みと園に期待すること	12
5.6. 「非認知能力」に含まれる 5 つの資質・能力についての重視度や取り組み	12
6. 回答者とお子さんの属性	14
6.1. 回答者の年齢とお子さんから見た関係性	14
6.2. お子さんの年齢・性別	15
6.4. 回答者の居住地域	18
6.5. お子さんの通園状況	19
6.6. お子さんが在籍する園（施設）の種別	20
6.7. お子さんが在籍する園（施設）の設置主体	23
7. 主な結果	24
7.1. 「非認知能力」についての理解	24
7.2. 「非認知能力」の重視度	26
7.3. 「非認知能力」についての家庭での働きかけや工夫	29
7.3.1. 家庭での働きかけや工夫の有無	29
7.3.2. 家庭での働きかけや工夫をしない理由	31
7.4. 保護者から見たお子さんの資質・能力	34
7.5. 資質・能力の中で特に大切にしたい力	45
7.5.1. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力	45

7.5.2.	「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力	55
7.5.3.	「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力	61
7.6.	園への期待	71
7.6.1.	園を選ぶ際に重視すること	71
7.6.2.	園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力	73
7.7.	個々の「非認知能力」の重視度・プログラムや教材へのニーズ	83
7.7.1.	5 つの「非認知能力」の重視度	84
7.7.2.	ご家庭での働きかけや工夫	86
7.7.3.	園への期待	94
7.7.4.	教材やプログラムに対するニーズ	102
7.8.	お子さんの習い事、家庭での学習・教材等の利用、ICT 環境	112
7.8.1.	習い事の有無	112
7.8.2.	習い事の内容	114
7.8.3.	家庭での学習・教材等の利用	126
7.8.4.	家庭の ICT 環境	138
図 1.	お子さんから見た関係性 (%)	14
図 2.	回答者の年齢	14
図 3.	お子さんの性別 (%)	15
図 4.	お子さんの年齢	15
図 5.	お子さんの出生順位	17
図 6.	お子さんの保育園・幼稚園など保育・幼児教育施設への在籍状況 (%)	19
図 7.	お子さんが在籍する園（施設）の種別 (%)	20
図 8.	お子さんが在籍する園（施設）の種別 (%) 【年齢別】	22
図 9.	お子さんが在籍する園（施設）の設置主体 (%)	23
図 10.	「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (%)	24
図 11.	「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (%) 【年齢別】	25
図 12.	「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？ (%)	26
図 13.	「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？ (%) 【年齢別】	27
図 14.	お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？ (%)	29
図 15.	お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？ (%)	30
図 16.	「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由 (%)	31

図 17. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由 (%)	
【年齢別】	32
図 18. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%)	35
図 19. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【0 歳】	38
図 20. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【1 歳】	39
図 21. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【2 歳】	40
図 22. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【3 歳】	41
図 23. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【4 歳】	42
図 24. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【5 歳】	43
図 25. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【6 歳】	44
図 26. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%))	46
図 27. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【0 歳】	48
図 28. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【1 歳】	49
図 29. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【2 歳】	50
図 30. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【3 歳】	51
図 31. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【4 歳】	52
図 32. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【5 歳】	53
図 33. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【6 歳】	54
図 34. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%))	55
図 35. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【0 歳】	57
図 36. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【1 歳】	57
図 37. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【2 歳】	58
図 38. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【3 歳】	58
図 39. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【4 歳】	59
図 40. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【5 歳】	59
図 41. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%)) 【6 歳】	60
図 42. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力 (選択率 (%))	62

図 43. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【0 歳】	64
図 44. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【1 歳】	65
図 45. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【2 歳】	66
図 46. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【3 歳】	67
図 47. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【4 歳】	68
図 48. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【5 歳】	69
図 49. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【6 歳】	70
図 50. 園を選ぶ際に重視すること（選択率（%））	71
図 51. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））	74
図 52. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【0 歳】	76
図 53. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【1 歳】	77
図 54. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【2 歳】	78
図 55. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【3 歳】	79
図 56. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【4 歳】	80
図 57. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【5 歳】	81
図 58. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（%））【6 歳】	82
図 59. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？（%）	84
図 60. こうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（%）	87
図 61. (1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（%）【年齢別】	89

- 図 62. (2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず，自信をもって物事に取り組む力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）
【年齢別】 _____ 90
- 図 63. (3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】 _____ 91
- 図 64. (4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】 _____ 92
- 図 65. (5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】 _____ 93
- 図 66. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％） _____ 95
- 図 67. (1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち，自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】 _____ 97
- 図 68. (2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず，自信をもって物事に取り組む力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】 _____ 98
- 図 69. (3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】 _____ 99
- 図 70. (4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】 _____ 100
- 図 71. (5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】 _____ 101
- 図 72. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（％） _____ 103
- 図 73. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（％）【0歳】 _____ 105
- 図 74. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（％）【1歳】 _____ 106
- 図 75. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（％）【2歳】 _____ 107

図 76. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%) 【3 歳】	108
図 77. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%) 【4 歳】	109
図 78. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%) 【5 歳】	110
図 79. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%) 【6 歳】	111
図 80. お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？ (%)	112
図 81. 習い事の内容 (%)	115
図 82. 習い事の内容 (%) 【0 歳】	119
図 83. 習い事の内容 (%) 【1 歳】	120
図 84. 習い事の内容 (%) 【2 歳】	121
図 85. 習い事の内容 (%) 【3 歳】	122
図 86. 習い事の内容 (%) 【4 歳】	123
図 87. 習い事の内容 (%) 【5 歳】	124
図 88. 習い事の内容 (%) 【6 歳】	125
図 89. お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材はありますか？ (%)	126
図 90. ご家庭での学習・教材の内容 (%)	129
図 91. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【0 歳】	131
図 92. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【1 歳】	132
図 93. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【2 歳】	133
図 94. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【3 歳】	134
図 95. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【4 歳】	135
図 96. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【5 歳】	136
図 97. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【6 歳】	137
図 98. ご家庭の ICT 環境 (%)	139
図 99. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (1) パソコン	140
図 100. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (2) タブレット端末	141
図 101. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (3) スマートフォン	142

表 1. 今回の調査で取り上げた 18 の資質・能力	12
表 2. 特に取り上げた非認知能力に含まれる 5 つの要素	13
表 3. お子さんから見た関係性 (集計値)	14
表 4. お子さんの年齢・性別 (集計値)	16
表 5. お子さんの出生順位 (集計値)	17

表 6. 回答者の居住地域	18
表 7. お子さんの保育園・幼稚園など保育・幼児教育施設への在籍状況（集計値）	19
表 8. お子さんが在籍する園（施設）の種別（集計値）	21
表 9. お子さんが在籍する園（施設）の設置主体（集計値）	23
表 10. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？（集計値）	24
表 11. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？（集計値）【年齢別】	25
表 12. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？（集計値）	26
表 13. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？（集計値）【年齢別】	28
表 14. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（集計値）	29
表 15. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（集計値）【年齢別】	30
表 16. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由(集計値)	32
表 17. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由(集計値)【年齢別】	33
表 18. お子さんの資質・能力の得意・不得意（集計値）	36
表 19. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）	47
表 20. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）	56
表 21. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）	63
表 22. 園を選ぶ際に重視すること（集計値）	72
表 23. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（集計値）	75
表 24. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？（集計値）	85
表 25. こうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（集計値）	88
表 26. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（集計値）	96
表 27. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（集計値）	104
表 28. お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？（集計値）	113
表 29. 習い事の内容【スポーツ活動】（集計値）	116
表 30. 習い事の内容【文化・芸術活動】（集計値）	117
表 31. 習い事の内容【知育・学習活動】（集計値）	118
表 32. お子さんをご家庭で取り組んでいる学習や教材はありますか？（集計値）	127

表 33. ご家庭での学習・教材の内容（集計値）	130
表 34. ご家庭の ICT 環境（集計値）	139

1. 調査の概要

東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）は、凸版印刷株式会社と共同し、幼児の非認知能力を育成する保育実践の研究を行っております。

この調査は、その一環として、乳幼児期（0～6歳）のお子さんを持つ保護者の皆様と、保育・幼児教育に携わる園（施設）の先生・職員の皆様を対象に「乳幼児期の非認知能力についての意識および取り組み」の実態について把握することを目的として実施いたしました。

調査は2020年9月～11月にかけてWeb調査形式で行い、保護者の皆様を対象とした調査では計1,769件、園・保育者の皆様を対象とした調査では計409件のご回答を頂きました。

本報告書は、保護者を対象とした調査の報告書（速報版）です。園・保育者調査については、別にあります。園・保育者を対象とした調査の報告書（速報版）をご参照ください。

【保護者を対象とした調査の内容】

- （1）回答者自身と家庭の基本情報
- （2）お子さんの基本情報
- （3）「非認知能力」に関する理解・重視度・家庭での取り組み
- （4）お子さんの資質・能力についての意識
- （5）家庭での取り組み（習い事・学習など）と園に期待すること
- （6）「非認知能力」に含まれる5つの資質・能力についての重視度や取り組み

ご多用の中、調査にご協力くださった皆様に深く御礼申し上げます。

2. 調査の目的

この調査は、これからの保育・幼児教育において、「非認知能力」を含む乳幼児期の多様な心の育ちをどのように支えることができるのか検討するための根拠となる材料（エビデンス）を広く社会で共有するために、乳幼児期（0～6歳）のお子さんを持つ保護者の意識や考え、取り組みの実態について把握することを目的としています。

3. 調査の方法

2020年9月～11月にかけて、Google フォームを利用した Web 調査形式により、保護者を対象とした質問紙調査を実施しました。

0歳～6歳の未就学のお子さんを持つ保護者に対して、機縁法による回答の依頼と、(株)クラウドワークスが提供するクラウドソーシングサービスを利用した回答の依頼を行い、得られた回答は計1,769件（機縁法による回答753件、クラウドソーシングによる回答1,016件）でした。

なお、収集された1,769件の回答のうち、全ての回答が同一であるなど重複送信されたと判断されたもの（計79件）、「0～6歳の未就学のお子さん」について回答していないもの（計7件）を除外し、1,683件の回答を集計対象としました。

4. 倫理的配慮

4.1. 個人情報の保護と情報の取り扱い

アンケートフォームの冒頭にて、①匿名のアンケートであり、個人を特定するような情報は収集されないこと、②本調査の結果は、東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）のWEB ページ（<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>）に掲載し、その他の学会・論文やシンポジウムで発表する可能性があること、③データはこの研究成果の発表後少なくとも10年間、東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）内で保存すること、について記載いたしました。

4.2. 回答の任意性

アンケートフォームの冒頭にて、①このアンケートへの回答は任意であり、答えたくない場合は回答を止めても良いこと、②回答を途中で止めたからといって不利益を被ることはないこと、について記載いたしました。

4.3. その他

この調査は、東京大学の倫理規定に則って実施するものであり、東京大学倫理審査専門委員会および教育学研究科長の承認を得て調査を実施いたしました。

5. 調査の内容

保護者を対象とした調査項目は以下のような内容であり、最大で 60 項目の質問に回答していただきました。

5.1. 回答者自身と家庭の基本情報

①回答者の年齢，②性別，③居住する都道府県，④家族構成，⑤お子さんから見た父母の学歴，⑥父母の職業，⑦家庭の収入についてお尋ねしました。

5.2. お子さんの基本情報

①お子さんの年齢，②通園の有無，③（通園している場合）は園（施設）の種類についてお尋ねしました。なお、複数のお子さんがある場合は「0 歳～6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さん 1 人」についての回答を求めました。

5.3. 「非認知能力」に関する理解・重視度・家庭での取り組み

①「非認知能力」について知っているか，②（知っている場合）「非認知能力」に含まれると考える具体的な資質・能力の内容，③「非認知能力」の重視度，④お子さんの「非認知能力」を育むためのご家庭での具体的な働きかけや工夫の有無，⑤（働きかけや工夫をしている場合）その具体的な内容，⑥（働きかけや工夫をしていない場合）その理由についてお尋ねしました。

5.4. お子さんの資質・能力についての意識

認知能力（児童期以降の各教科の学力）に関連する力，非認知能力に関連する力，身体・運動能力，芸術的感性・表現力を含む 18 の資質・能力（表 1）について，①保護者から見たお子さんの得意・不得意，②保護者が重視する資質・能力の優先順位（18 の資質・能力の中での優先順位／認知能力の中での優先順位／非認知能力の中での優先順位）をお尋ねしました。

表 1. 今回の調査で取り上げた 18 の資質・能力

認知能力に関連	(1) 文字を読んだり書いたりする力 (2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力 (3) 数、図形、記号などを使ったり理解したりする力 (4) 理科や科学に関する知識と理解力 (5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力 (6) 英語など外国語の語学力 (7) プログラミングなど情報処理に関わる力
	(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力 (9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性
非認知能力に関連	(10) 自分自身を好きだと思える心（ 自尊感情 ） (11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力（ 興味・内発的動機づけ ） (12) 自分にはできないと決めつけず、自信をもって取り組む力（ 自己効力感 ） (13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ（ 忍耐力・持続性 ） (14) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力（ 感情知性・EI ） (15) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心（ 共感・向社会性 ） (16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力（ セルフコントロール・自制心 ） (17) 生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心（ 規範意識・道徳性 ） (18) 他の人と協力して何かをやり遂げる力（ 協同性・協働性 ）

注）表中の（ ）内は関連する非認知能力を示します。

5.5. 家庭での取り組みと園に期待すること

家庭での取り組みについて、①お子さんの習い事の有無とその内容、②家庭での教材・学習の利用の有無とその内容、③家庭でお子さんが利用可能な ICT 機器についてお尋ねしました。また、園への期待について、①お子さんが通う園を選ぶ際に重視すること、②18 の資質・能力（表 1）のうち園の中で伸びることを期待する資質・能力についてお尋ねしました。

5.6. 「非認知能力」に含まれる 5 つの資質・能力についての重視度や取り組み

「非認知能力」に含まれる資質・能力のうち、園・保育者を対象とした調査で取り上げたのと同様の 5 つ（(a)内発的動機づけ、(b)自己効力感、(c)感情知性、(d)向社会性、(e)

セルフコントロール) (表 2) について, ①それぞれの重視度, ②その力を育むための家庭での働きかけや工夫の有無, ③(働きかけや工夫をしている場合) 具体的な内容についての自由記述, ④(働きかけや工夫をしていない場合) その理由, ⑤その力を伸ばす取り組みが園で行われることへの期待, ⑥その力を伸ばすための教材やプログラムを利用したいと考えるか, についてお尋ねしました。

表 2. 特に取り上げた非認知能力に含まれる 5 つの要素

(a) 内発的動機づけ

(物事に興味・関心を持ち, 自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力)

(b) 自己効力感

(自分にはできないと決めつけず, 自信をもって物事に取り組む力)

(c) 感情知性

(相手の気持ちを読み取ったり, 自分の気持ちを上手に表現したりする力)

(d) 向社会性

(困っている人に共感したり, 助けてあげようとしたりする思いやりの心)

(e) セルフコントロール

(大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり, 固執せず柔軟に対応したりする力)

6. 回答者とお子さんの属性

6.1. 回答者の年齢とお子さんから見た関係性

集計対象となった回答者は計 1,683 名、平均年齢は 35.4 歳 ($SD=5.8$, レンジ 19~65 歳, 回答なし 13 名) でした (図 1)。

回答者のお子さんから見た関係性は、父 306 名 (18.2%), 母 1,354 名 (80.5%), 祖父 2 名 (0.1%), 祖母 8 名 (0.5%), おじ 4 名 (0.2%), おば 8 名 (0.5%), 姉 1 名 (0.1%) でした (図 2・表 3)。

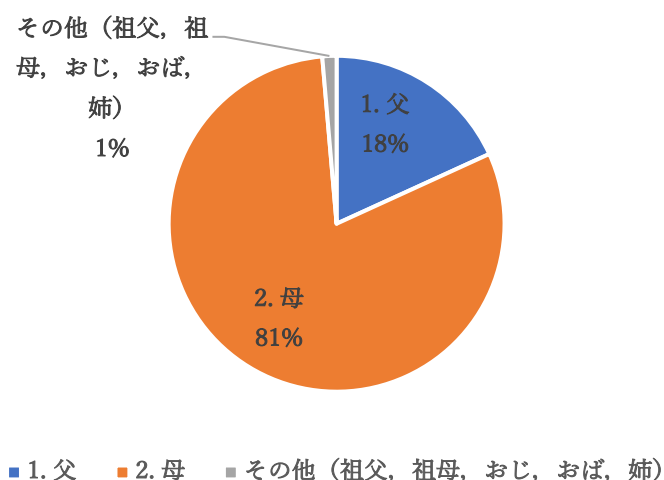


図 1. お子さんから見た関係性 (%)

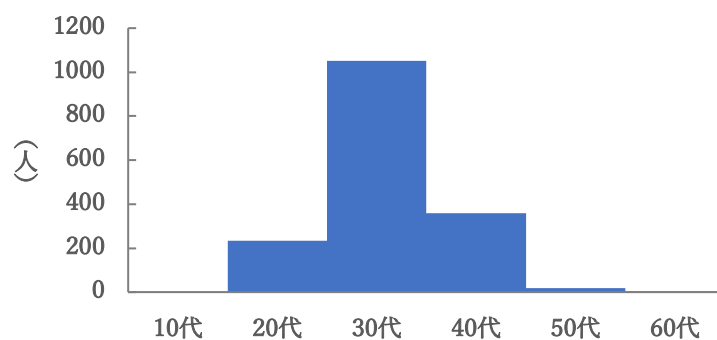


図 2. 回答者の年齢

表 3. お子さんから見た関係性 (集計値)

	1.父	2.母	3.祖父	4.祖母	5.おじ	6.おば	7.姉	計
回答数	306	1354	2	8	4	8	1	1683
%	18.2%	80.5%	0.1%	0.5%	0.2%	0.5%	0.1%	100%

6.2. お子さんの年齢・性別

お子さんの性別は女児 832 名 (49.4%)，男児 851 名 (50.6%) (図 3・表 4)，お子さんの年齢は 0 歳 125 名 (7.4%)，1 歳 188 名 (11.2%)，2 歳 205 名 (12.2%)，3 歳 257 名 (15.3%)，4 歳 306 名 (18.2%)，5 歳 356 名 (21.2%)，6 歳 246 名 (14.6%) でした (図 4・表 4)。

なお，複数のお子さんがある場合，「0 歳～6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお 1 人」についてお尋ねしました。

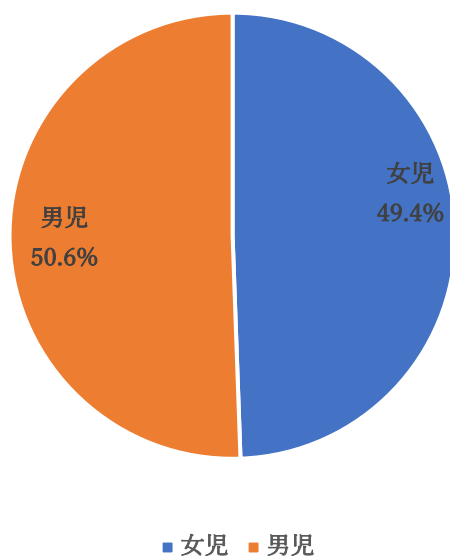


図 3. お子さんの性別 (%)

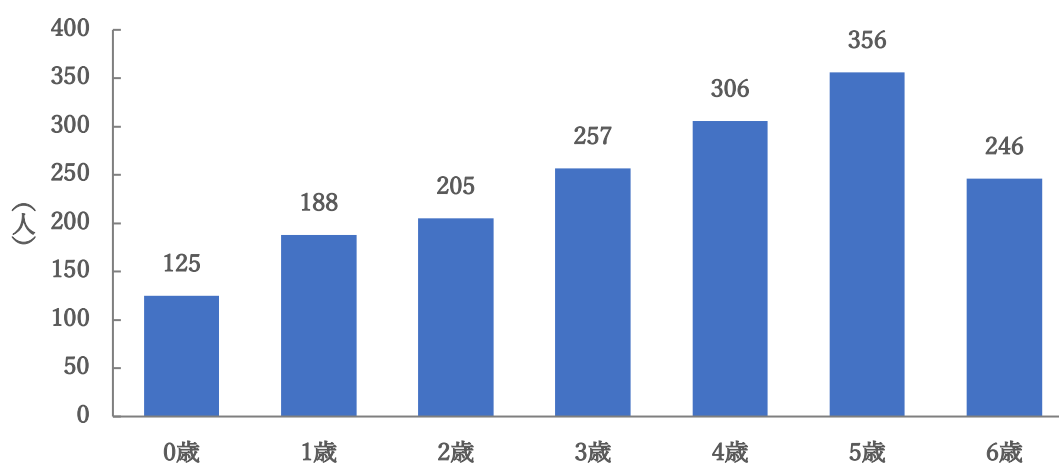


図 4. お子さんの年齢

表 4. お子さんの年齢・性別（集計値）

	回答数			%		
	女兒	男児	計	女兒	男児	計
0 歳	61	64	125	3.6%	3.8%	7.4%
1 歳	97	91	188	5.8%	5.4%	11.2%
2 歳	101	104	205	6.0%	6.2%	12.2%
3 歳	117	140	257	7.0%	8.3%	15.3%
4 歳	145	161	306	8.6%	9.6%	18.2%
5 歳	186	170	356	11.1%	10.1%	21.2%
6 歳	125	121	246	7.4%	7.2%	14.6%
全体	832	851	1683	49.4%	50.6%	100%

注) 複数のお子さんがある場合, 「0 歳~ 6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお 1 人」についてお尋ねしました。

6.3. お子さんの出生順位

お子さんの出生順位は、1 番目 1,168 名（69.4%）、2 番目 350 名（20.8%）、3 番目 129 名（7.7%）、4 番目 24 名（1.4%）、5 番目 3 名（0.2%）、6 番目 1 名（0.1%）、回答なし 8 名（0.5%）でした（図 5・表 5）。

なお、複数のお子さんがある場合、「0 歳～6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお 1 人」についてお尋ねしました。

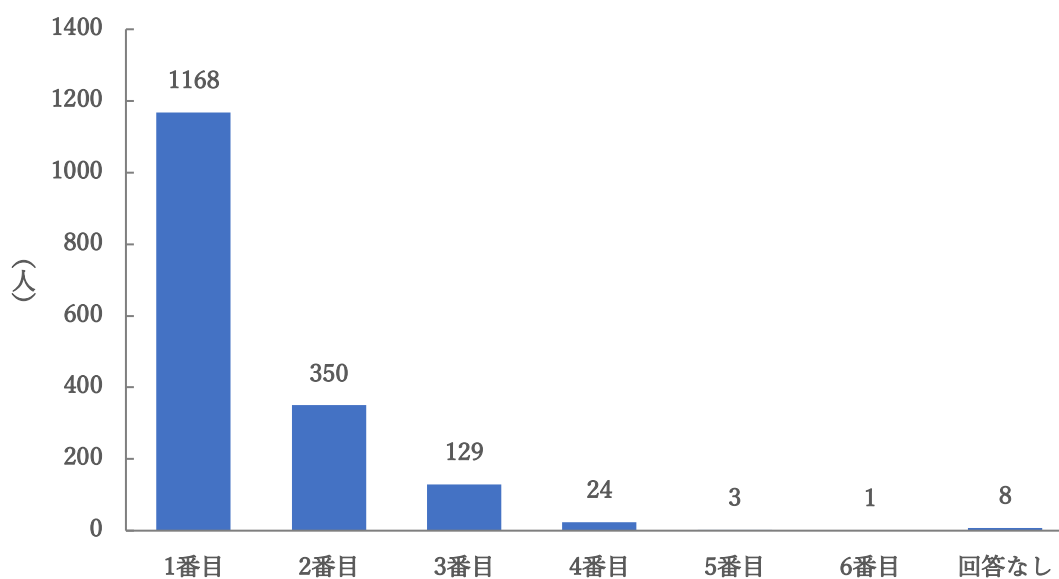


図 5. お子さんの出生順位

表 5. お子さんの出生順位（集計値）

	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	6 番目	回答なし	計
回答者数	1168	350	129	24	3	1	8	1683
%	69.4%	20.8%	7.7%	1.4%	0.2%	0.1%	0.5%	100%

注) 複数のお子さんがある場合、「0 歳～6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお 1 人」についてお尋ねしました。

6.4. 回答者の居住地域

回答者の居住地は 47 の都道府県であり，最も多いのは東京都 217 名（12.9%）,次いで静岡県 207 名（12.3%），大阪府 95 名（5.6%）…でした（表 6）。

表 6. 回答者の居住地域

	回答者数	%		回答者数	%
東京都	217	12.9%	鹿児島県	20	1.2%
静岡県	207	12.3%	和歌山県	19	1.1%
大阪府	95	5.6%	新潟県	16	1.0%
神奈川県	93	5.5%	長野県	15	0.9%
愛知県	78	4.6%	富山県	15	0.9%
埼玉県	77	4.6%	岐阜県	11	0.7%
宮崎県	63	3.7%	滋賀県	11	0.7%
千葉県	61	3.6%	山口県	10	0.6%
福島県	55	3.3%	大分県	10	0.6%
群馬県	51	3.0%	愛媛県	8	0.5%
兵庫県	51	3.0%	島根県	8	0.5%
栃木県	48	2.9%	秋田県	7	0.4%
福岡県	46	2.7%	三重県	6	0.4%
茨城県	42	2.5%	青森県	6	0.4%
北海道	41	2.4%	長崎県	6	0.4%
香川県	38	2.3%	鳥取県	6	0.4%
広島県	30	1.8%	徳島県	6	0.4%
山梨県	25	1.5%	岩手県	5	0.3%
京都府	23	1.4%	高知県	5	0.3%
熊本県	23	1.4%	山形県	5	0.3%
佐賀県	23	1.4%	沖縄県	4	0.2%
石川県	22	1.3%	奈良県	4	0.2%
岡山県	20	1.2%	福井県	2	0.1%
宮城県	20	1.2%	回答なし	29	1.7%
			計	1683	100%

注）回答者数が多い都道府県順に記載しています。

6.5. お子さんの通園状況

お子さんが保育園・幼稚園などの保育・幼児教育施設に「1. 在籍している」と回答した人は1,314名（78.1%）, 「2. 在籍していない」と回答した人は365名（21.7%）, 「その他」（一時保育を利用, プレ幼稚園, 休園中など）と回答した人は4名（0.2%）でした（図6・表7）。

なお, 複数のお子さんがある場合, 「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました。

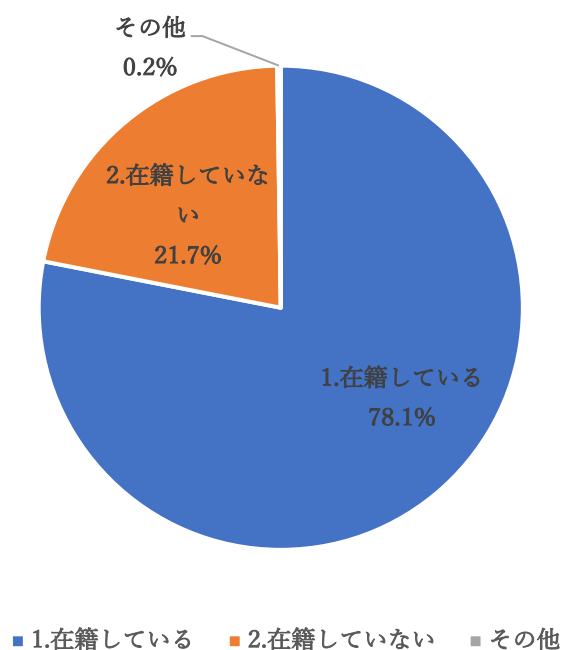


図 6. お子さんの保育園・幼稚園など保育・幼児教育施設への在籍状況 (%)

表 7. お子さんの保育園・幼稚園など保育・幼児教育施設への在籍状況 (集計値)

	1.在籍している	2.在籍していない	その他	計
回答数	1314	365	4	1683
%	78.1%	21.7%	0.2%	100%

注) 複数のお子さんがある場合, 「0歳～6歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお1人」についてお尋ねしました。

6.6. お子さんが在籍する園（施設）の種別

お子さんが保育園・幼稚園などの保育・幼児教育施設に「1. 在籍している」と回答した人を対象に、園（施設）の種別についてお尋ねしました。回答者の割合が最も多いのは「1. 幼稚園」474 名（36.1%）、次いで「2. 認定こども園」473 名（36.1%）、「3. 認可保育所」297 名（22.6%）でした（図 7・表 8）。

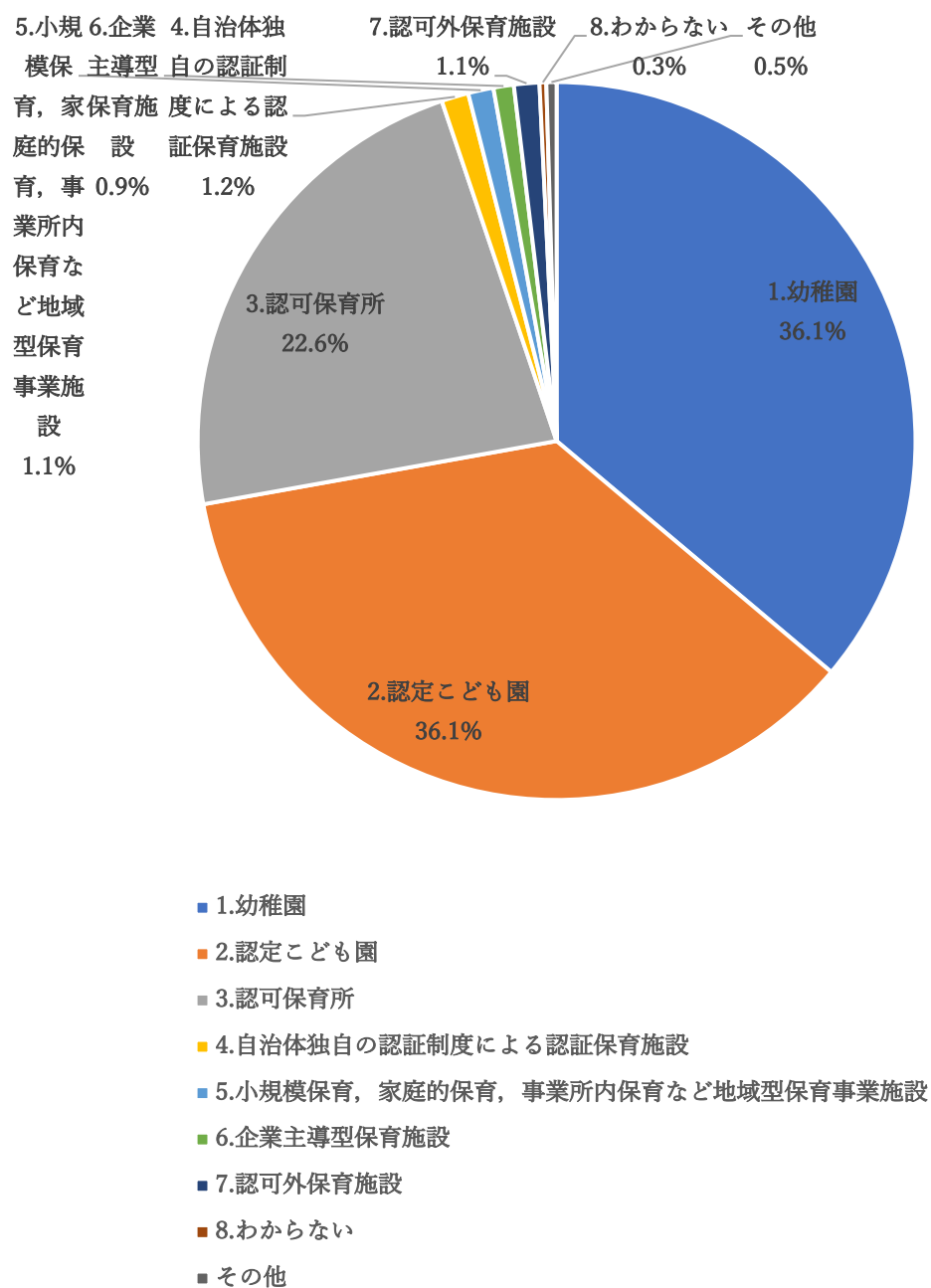


図 7. お子さんが在籍する園（施設）の種別 (%)

表 8. お子さんが在籍する園（施設）の種別（集計値）

	回答数	%
1.幼稚園	474	36.1%
2.認定こども園	473	36.1%
3.認可保育所	297	22.6%
4.自治体独自の認証制度による認証保育施設	16	1.2%
5.小規模保育，家庭的保育，事業所内保育など地域型保育事業施設	15	1.1%
6.企業主導型保育施設	12	0.9%
7.認可外保育施設	15	1.1%
8.わからない	4	0.3%
その他	6	0.5%
計	1312	100%

注）複数のお子さんがある場合，「0 歳～6 歳の未就学のお子さんの中で一番上のお子さんお 1 人」についてお尋ねしました。

お子さんの年齢別の集計結果を図 8 に示します。

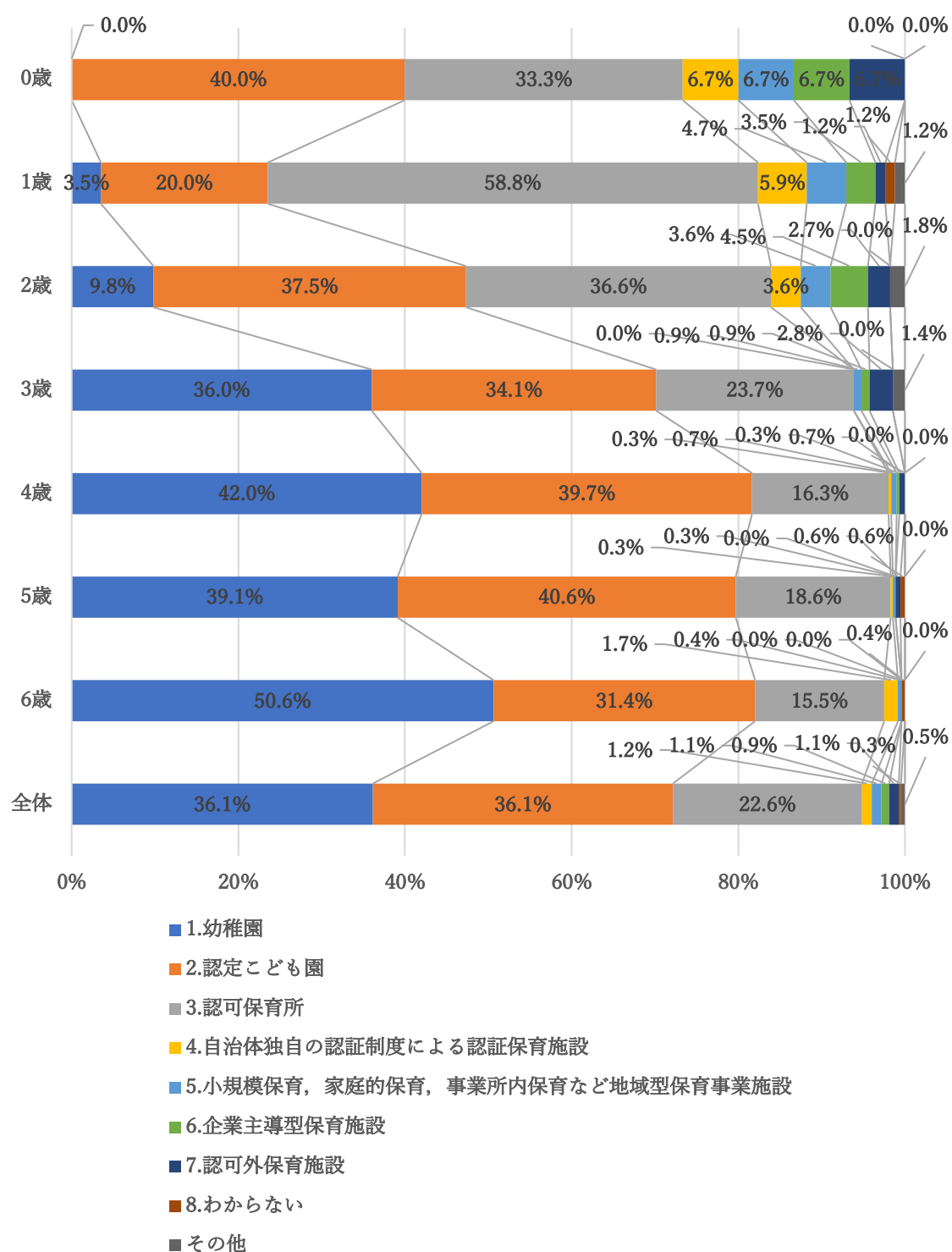


図 8. お子さんが在籍する園（施設）の種別（%）【年齢別】

6.7. お子さんが在籍する園（施設）の設置主体

お子さんが保育園・幼稚園などの保育・幼児教育施設に「1. 在籍している」と回答した人を対象に、園（施設）の設置主体についてお尋ねしました。回答者の割合が最も多いのは「4. 民設民営（私立）」675名（51.7%）、次いで「2. 公設公営（公立）」353名（27.0%）、「3. 公設民営」69名（5.3%）でした（図9・表9）。

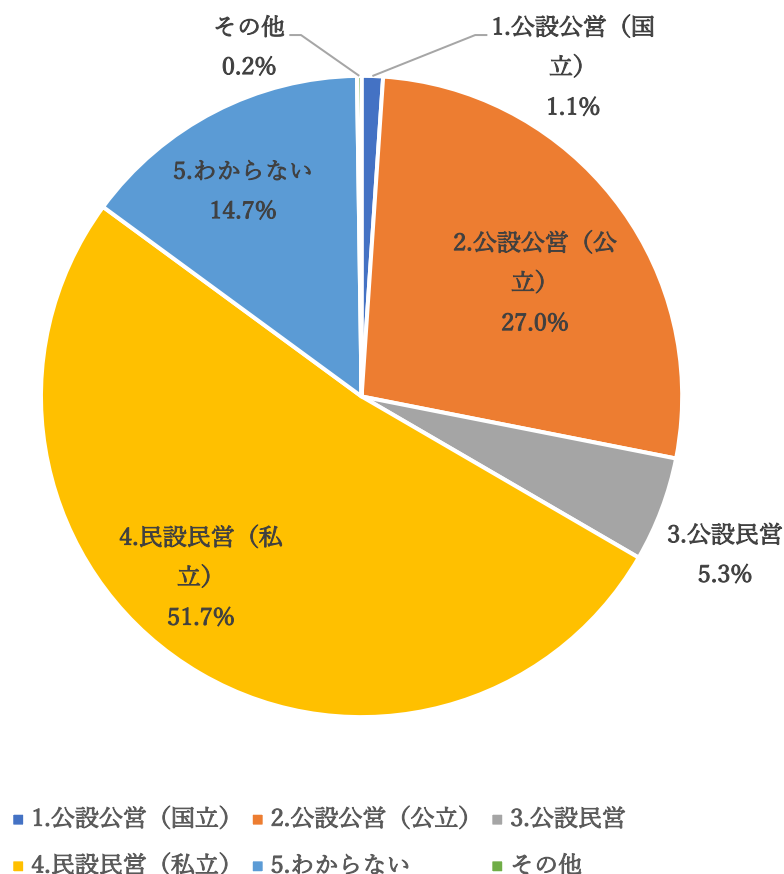


図 9. お子さんが在籍する園（施設）の設置主体（%）

表 9. お子さんが在籍する園（施設）の設置主体（集計値）

	1.公設公 営（国 立）	2.公設公 営（公 立）	3.公設民 営	4.民設民 営（私 立）	5.わから ない	その他	計
回答数	14	353	69	675	192	3	1306
%	1.1%	27.0%	5.3%	51.7%	14.7%	0.2%	100%

7. 主な結果

7.1. 「非認知能力」についての理解

Q11-1 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？

「非認知能力」という言葉の理解について、お尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 10・表 10 に示します。

「Q 11-1 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？」への回答は、「1. 知っている」345 名（20.5%）, 「2. 知らない」1338 名（79.5%）でした。

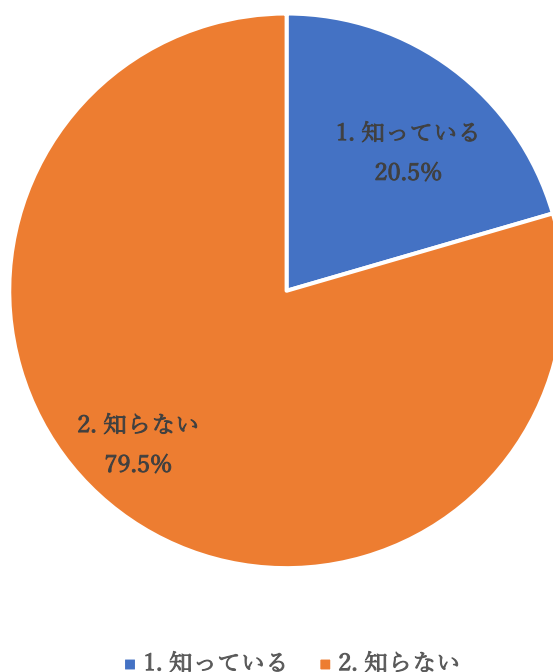


図 10. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (%)

表 10. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (集計値)

	1. 知っている	2. 知らない	計
回答数	345	1338	1683
%	20.5%	79.5%	100%

お子さんの年齢別の集計結果を図 11・表 11 に示します。

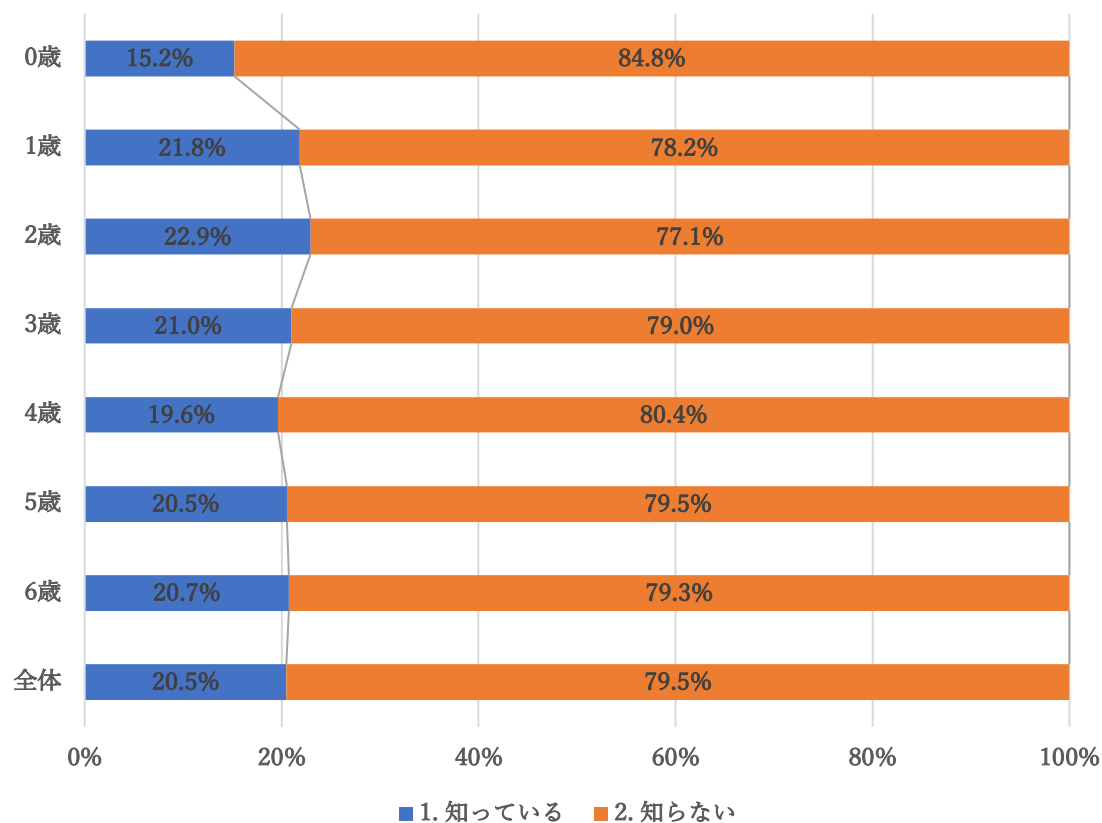


図 11. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (%) 【年齢別】

表 11. 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？ (集計値) 【年齢別】

	回答数			%		
	1. 知っている	2. 知らない	計	1. 知っている	2. 知らない	計
0 歳	19	106	125	15.2%	84.8%	100%
1 歳	41	147	188	21.8%	78.2%	100%
2 歳	47	158	205	22.9%	77.1%	100%
3 歳	54	203	257	21.0%	79.0%	100%
4 歳	60	246	306	19.6%	80.4%	100%
5 歳	73	283	356	20.5%	79.5%	100%
6 歳	51	195	246	20.7%	79.3%	100%
全体	345	1338	1683	20.5%	79.5%	100%

7.2. 「非認知能力」の重視度

Q11-3. ご自身のお考えとして、お子さんの「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？

「Q11-1 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？」への回答で「1. 知っている」と答えた人を対象に、「非認知能力」の重視度についてお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 12・表 12 に示します。

「Q11-3 ご自身のお考えとして、お子さんの「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？」への回答は、多い順に「5. とても大切だと思う」236 名（88.6%）, 「4. やや大切だと思う」72 名（20.9%）, 「1. 大切だと思わない」20 名（5.8%）…でした。

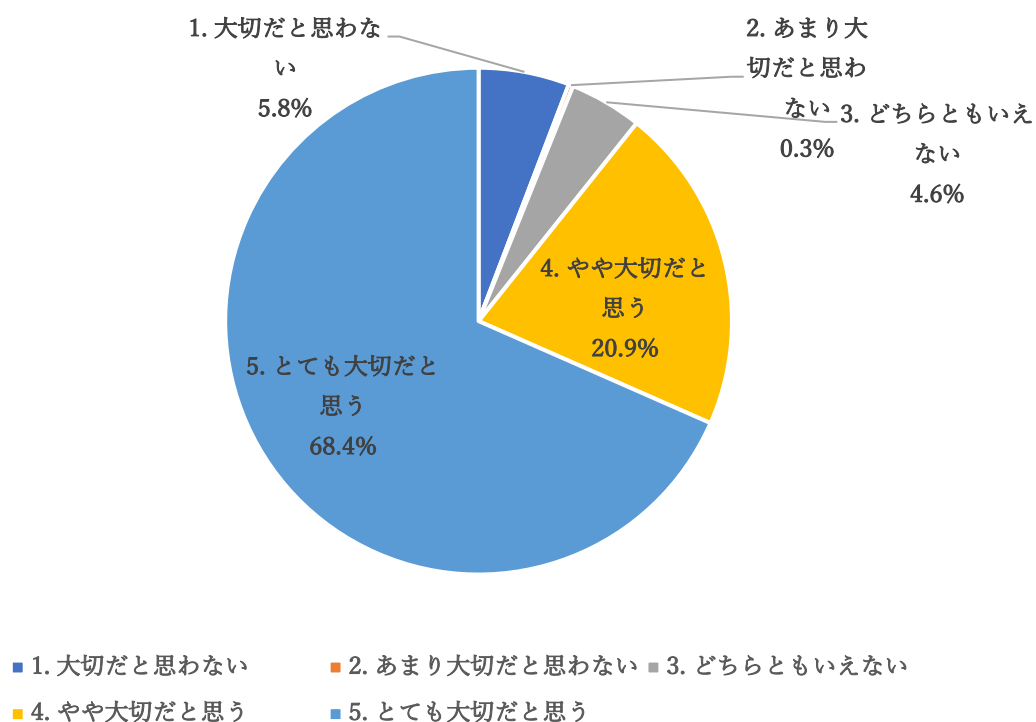


図 12. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？ (%)

表 12. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？ (集計値)

	1. 大切だと思わない	2. あまり大切だと思わない	3. どちらともいえない	4. やや大切だと思う	5. とても大切だと思う	計
回答数	20	1	16	72	236	345
%	5.8%	0.3%	4.6%	20.9%	68.4%	100%

年齢別の集計結果を図 13・表 13 に示します。

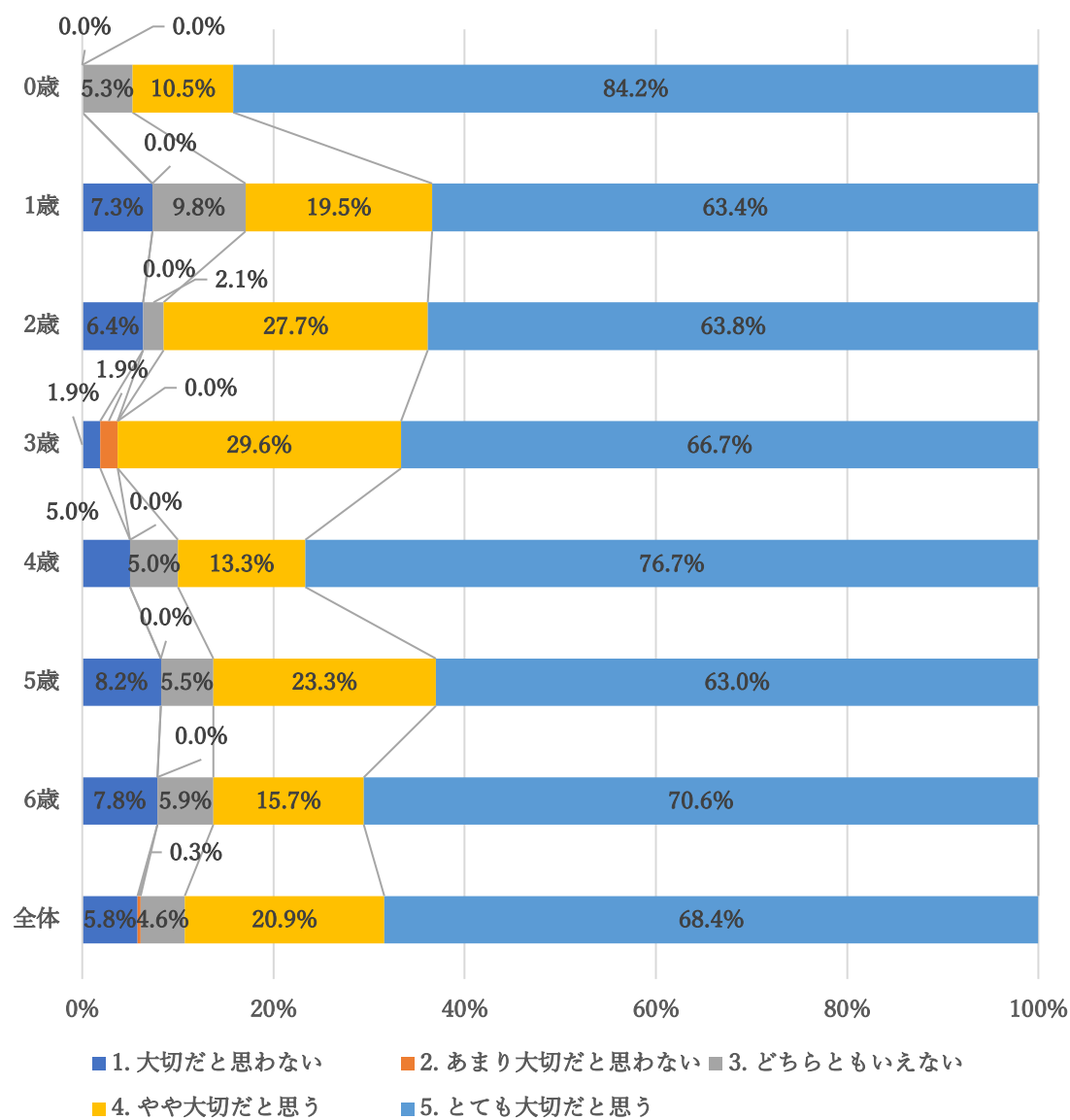


図 13. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？（％）【年齢別】

表 13. 「非認知能力」をどのくらい重視されていますか？（集計値）【年齢別】

	回答数						%					
	1. 大切 だと思 わない	2. あま り大 切だ と思 わな い	3. どち らと もい えな い	4. やや 大切 だと思 う	5. とて も大 切だ と思 う	計	1. 大切 だと思 わない	2. あま り大 切だ と思 わな い	3. どち らと もい えな い	4. やや 大切 だと思 う	5. とて も大 切だ と思 う	計
0 歳	0	0	1	2	16	19	0.0 %	0.0 %	5.3 %	10.5 %	84.2 %	100 %
1 歳	3	0	4	8	26	41	7.3 %	0.0 %	9.8 %	19.5 %	63.4 %	100 %
2 歳	3	0	1	13	30	47	6.4 %	0.0 %	2.1 %	27.7 %	63.8 %	100 %
3 歳	1	1	0	16	36	54	1.9 %	1.9 %	0.0 %	29.6 %	66.7 %	100 %
4 歳	3	0	3	8	46	60	5.0 %	0.0 %	5.0 %	13.3 %	76.7 %	100 %
5 歳	6	0	4	17	46	73	8.2 %	0.0 %	5.5 %	23.3 %	63.0 %	100 %
6 歳	4	0	3	8	36	51	7.8 %	0.0 %	5.9 %	15.7 %	70.6 %	100 %
全体	20	1	16	72	236	345	5.8 %	0.3 %	4.6 %	20.9 %	68.4 %	100 %

7.3. 「非認知能力」についての家庭での働きかけや工夫

7.3.1. 家庭での働きかけや工夫の有無

Q11-4.お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？

「Q11-1 「非認知能力」という言葉をご存知ですか？」への回答で「1. 知っている」と答えた人を対象に、「非認知能力」についてのご家庭での取り組みについてお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 14・表 14 に示します。

「Q11-4.お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？」への回答は、「1. している」202 名（58.6%）, 「2. していない」143 名（41.4%）でした。

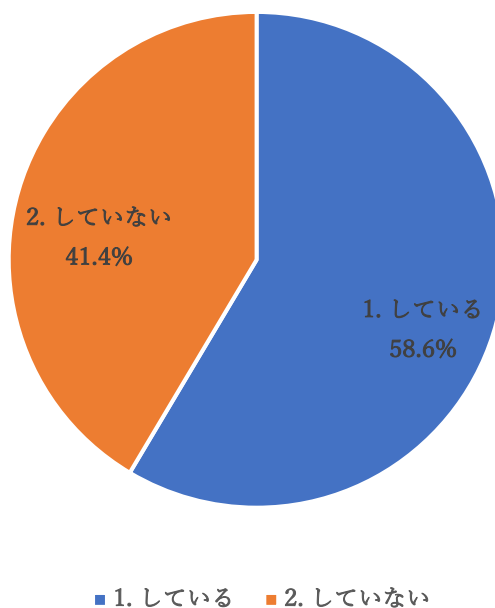


図 14. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（%）

表 14. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（集計値）

	1. している	2. していない	計
回答数	202	143	345
%	58.6%	41.4%	100%

お子さんの年齢別の集計結果を図 15・表 15 に示します。「1. している」と回答した人の割合が最も多いのは、6 歳（70.6%），次いで 2 歳（63.8%），4 歳（63.3%）でした。

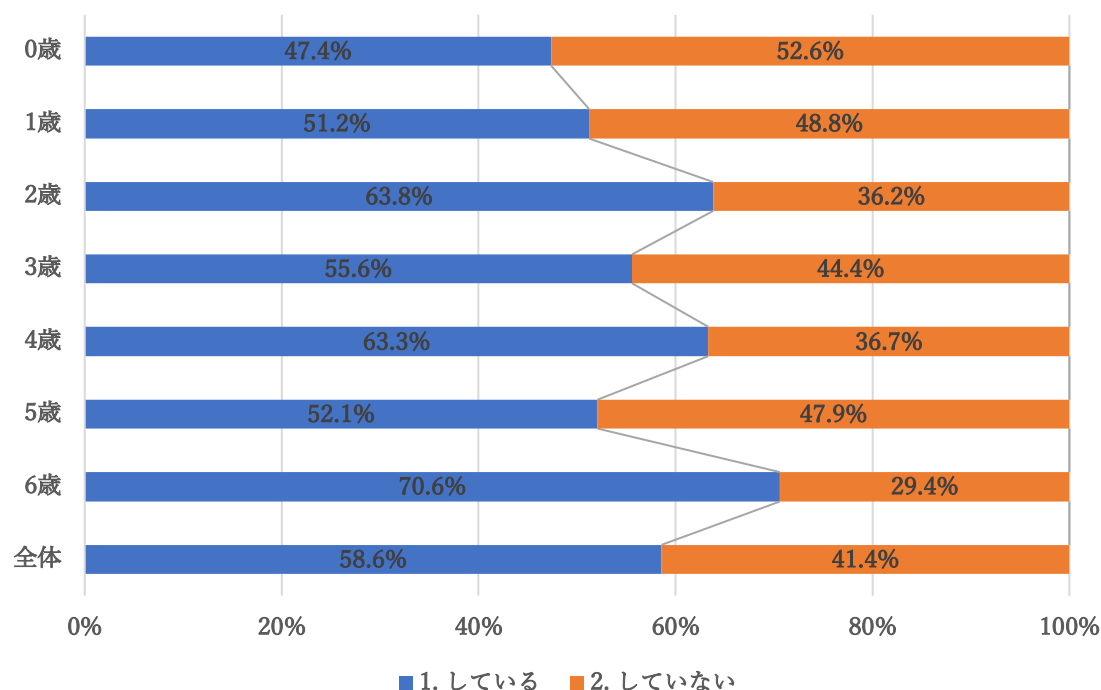


図 15. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？ (%)

表 15. お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？ (集計値) 【年齢別】

	回答数			%		
	1. している	2. していない	計	1. している	2. していない	計
0 歳	9	10	19	47.4%	52.6%	100%
1 歳	21	20	41	51.2%	48.8%	100%
2 歳	30	17	47	63.8%	36.2%	100%
3 歳	30	24	54	55.6%	44.4%	100%
4 歳	38	22	60	63.3%	36.7%	100%
5 歳	38	35	73	52.1%	47.9%	100%
6 歳	36	15	51	70.6%	29.4%	100%
全体	202	143	345	58.6%	41.4%	100%

7.3.2. 家庭での働きかけや工夫をしない理由

Q11-6. (「非認知能力」を育むための働きかけや工夫をしていない場合)理由として最も近いものをお選びください。

「Q11-4.お子さんの「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？」への回答で「2. していない」と答えた人を対象にお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 16・表 16 に示します。

「Q11-6. (「非認知能力」を育むための働きかけや工夫をしていない場合)理由として最も近いものをお選びください。」への回答は、多い順に「4. 何をして良いか分からないから」77名(53.8%)、次いで「2. 自然に育つものだと思うから」47名(32.9%)、「5. そこまで手が回らないから」12名(8.4%)、「3. 家庭以外の場所(園や習い事など)で育つものだと思うから」1.4%、「1. 優先度が低いから」0.0%、「その他」3.5%でした。

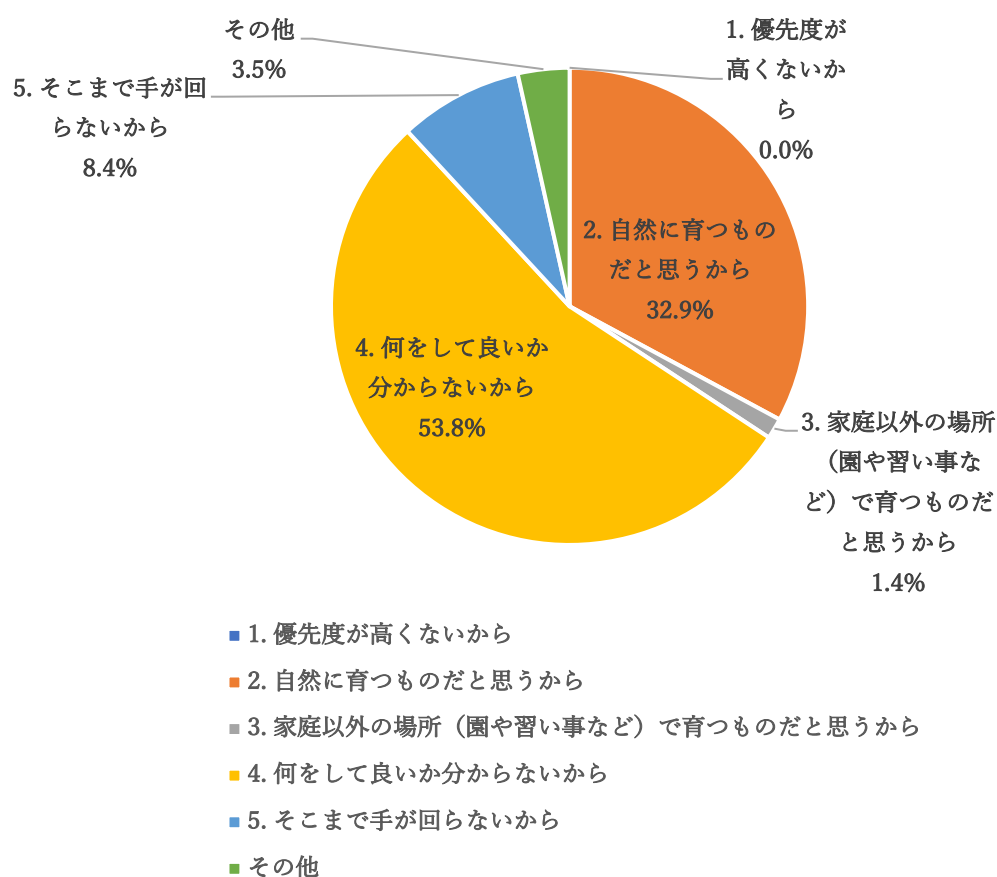


図 16. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由 (%)

表 16. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由(集計値)

	回答数	%
1. 優先度が低いから	0	0.0%
2. 自然に育つものだと思うから	47	32.9%
3. 家庭以外の場所（園や習い事など）で育つものだと思うから	2	1.4%
4. 何をして良いか分からないから	77	53.8%
5. そこまで手が回らないから	12	8.4%
その他	5	3.5%
計	143	100%

お子さんの年齢別の集計結果を図 17・表 17 に示します。

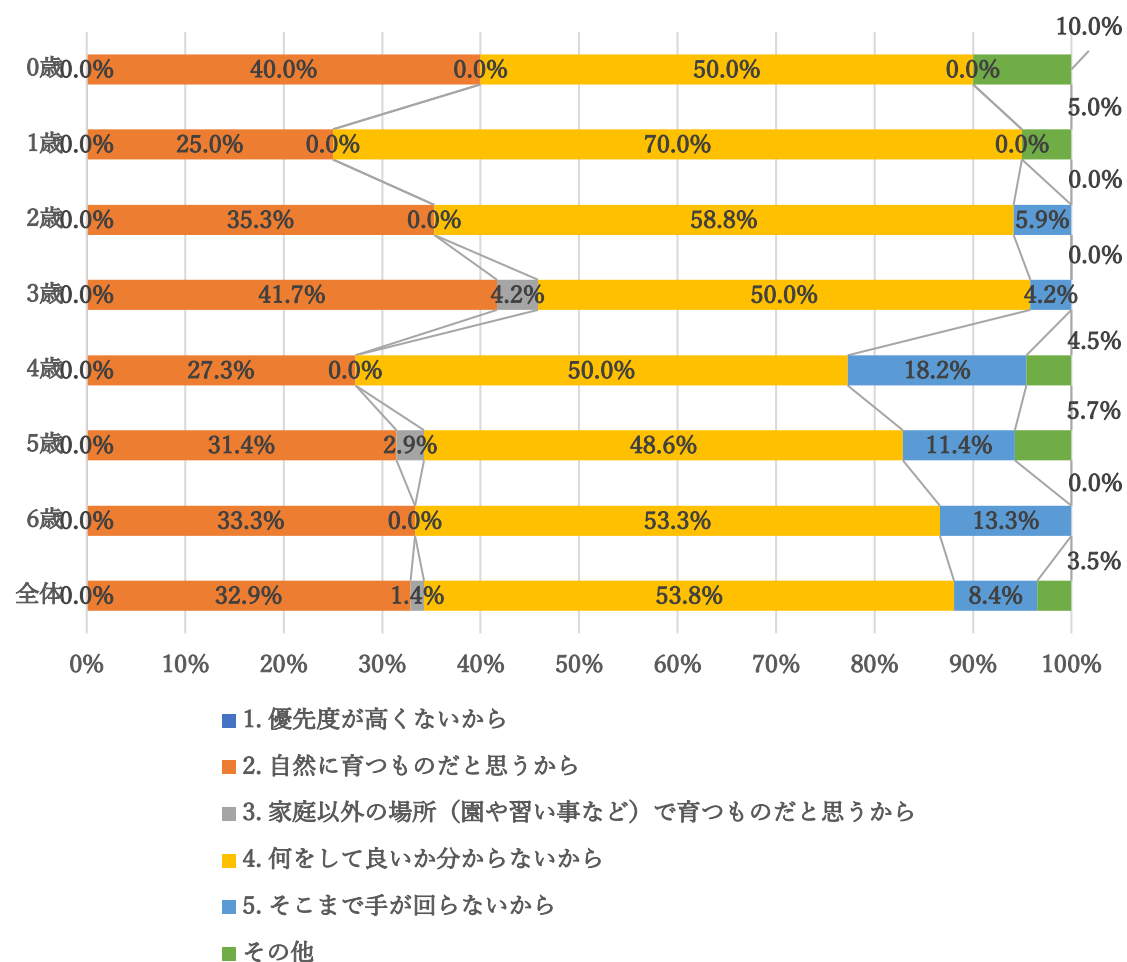


図 17. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由 (%) 【年齢別】

表 17. 「非認知能力」を育むための具体的な働きかけや工夫をしていない理由(集計値)

【年齢別】

		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	全体
回 答 数	1. 優先度が高く ないから	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 自然に育つも のだと思うから	4	5	6	10	6	11	5	47
	3. 家庭以外の場 所（園や習い事な ど）で育つものだ と思うから	0	0	0	1	0	1	0	2
	4. 何をして良い か分からないから	5	14	10	12	11	17	8	77
	5. そこまで手が 回らないから	0	0	1	1	4	4	2	12
	その他	1	1	0	0	1	2	0	5
	計	10	20	17	24	22	35	15	143
%	1. 優先度が高く ないから	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 自然に育つも のだと思うから	40.0%	25.0%	35.3%	41.7%	27.3%	31.4%	33.3%	32.9%
	3. 家庭以外の場 所（園や習い事な ど）で育つものだ と思うから	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	2.9%	0.0%	1.4%
	4. 何をして良い か分からないから	50.0%	70.0%	58.8%	50.0%	50.0%	48.6%	53.3%	53.8%
	5. そこまで手が 回らないから	0.0%	0.0%	5.9%	4.2%	18.2%	11.4%	13.3%	8.4%
	その他	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	4.5%	5.7%	0.0%	3.5%
	計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

7.4. 保護者から見たお子さんの資質・能力

Q12. お子さんの資質・能力について、回答者様からご覧になった時の得意・不得意を教えてください。

18の資質・能力について、それぞれ、保護者から見たお子さんの得意・不得意をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 18・表 18 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 19～図 25 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 18）に準じます）。

「Q12. お子さんの資質・能力について、回答者様からご覧になった時の得意・不得意を教えてください」への回答で、「1.得意」と回答した人の割合が最も多いのは、「(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」（67.2%）、2 番目は「(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力」（62.9%）、3 番目は「(9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性」（62.4%）でした。

「2.不得意」と回答した人の割合が最も多いのは、「(13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ」（23.8%）、2 番目は「(16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力」（22.1%）、3 番目は「(12) 自分にはできないと決めつけず、自信をもって取り組む力」（18.6%）でした。

「4.わからない」と回答した人の割合が最も多いのは、「(7) プログラミングなど情報処理に関わる力」（66.8%）、2 番目は「(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力」（61.1%）、3 番目は「(4) 理科や科学に関する知識と理解力」（57.3%）でした。

お子さんの年齢別（図 19～図 25）に見ると、0～1 歳ではいずれの資質・能力についても「4.わからない」と回答した人の割合が多く、お子さんの年齢が上がるにつれてその割合が減っていく傾向にありました。一方、「(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力」と「(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」については、0～1 歳の早い段階から「1.得意」と回答する人が見られました。

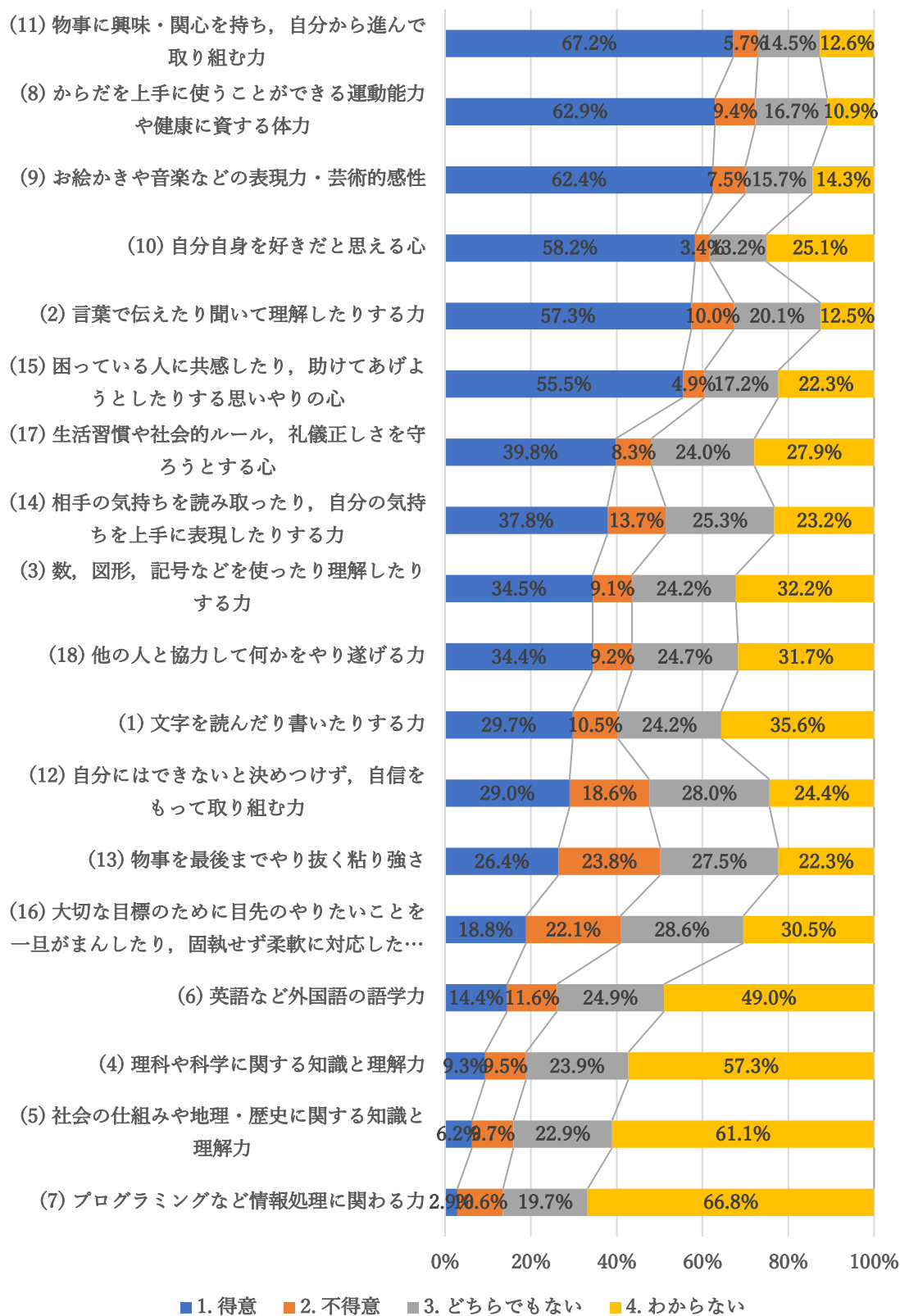


図 18. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%)

表 18. お子さんの資質・能力の得意・不得意（集計値）

	回答数					%				
	1.得意	2.不得意	3.どちらでもない	4.わからない	計	1.得意	2.不得意	3.どちらでもない	4.わからない	計
(1) 文字を読んだり書いたりする力	500	177	407	599	1683	29.7%	10.5%	24.2%	35.6%	100%
(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力	965	168	339	211	1683	57.3%	10.0%	20.1%	12.5%	100%
(3) 数, 図形, 記号などを使ったり理解したりする力	580	153	408	542	1683	34.5%	9.1%	24.2%	32.2%	100%
(4) 理科や科学に関する知識と理解力	157	160	402	964	1683	9.3%	9.5%	23.9%	57.3%	100%
(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力	105	164	386	1028	1683	6.2%	9.7%	22.9%	61.1%	100%
(6) 英語など外国語の語学力	243	196	419	825	1683	14.4%	11.6%	24.9%	49.0%	100%
(7) プログラミングなど情報処理に関わる力	48	179	332	1124	1683	2.9%	10.6%	19.7%	66.8%	100%
(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力	1059	159	281	184	1683	62.9%	9.4%	16.7%	10.9%	100%
(9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性	1051	127	264	241	1683	62.4%	7.5%	15.7%	14.3%	100%
(10) 自分自身を好きだと思える心	980	58	222	423	1683	58.2%	3.4%	13.2%	25.1%	100%

(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力	1131	96	244	212	1683	67.2%	5.7%	14.5%	12.6%	100%
(12) 自分にはできないと決めつけず、自信をもって取り組む力	488	313	472	410	1683	29.0%	18.6%	28.0%	24.4%	100%
(13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ	445	400	463	375	1683	26.4%	23.8%	27.5%	22.3%	100%
(14) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力	636	230	426	391	1683	37.8%	13.7%	25.3%	23.2%	100%
(15) 困っている人に共感したり、助けてあげようとする思いやりの心	934	83	290	376	1683	55.5%	4.9%	17.2%	22.3%	100%
(16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力	317	372	481	513	1683	18.8%	22.1%	28.6%	30.5%	100%
(17) 生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心	670	140	404	469	1683	39.8%	8.3%	24.0%	27.9%	100%
(18) 他の人と協力して何かをやり遂げる力	579	155	415	534	1683	34.4%	9.2%	24.7%	31.7%	100%

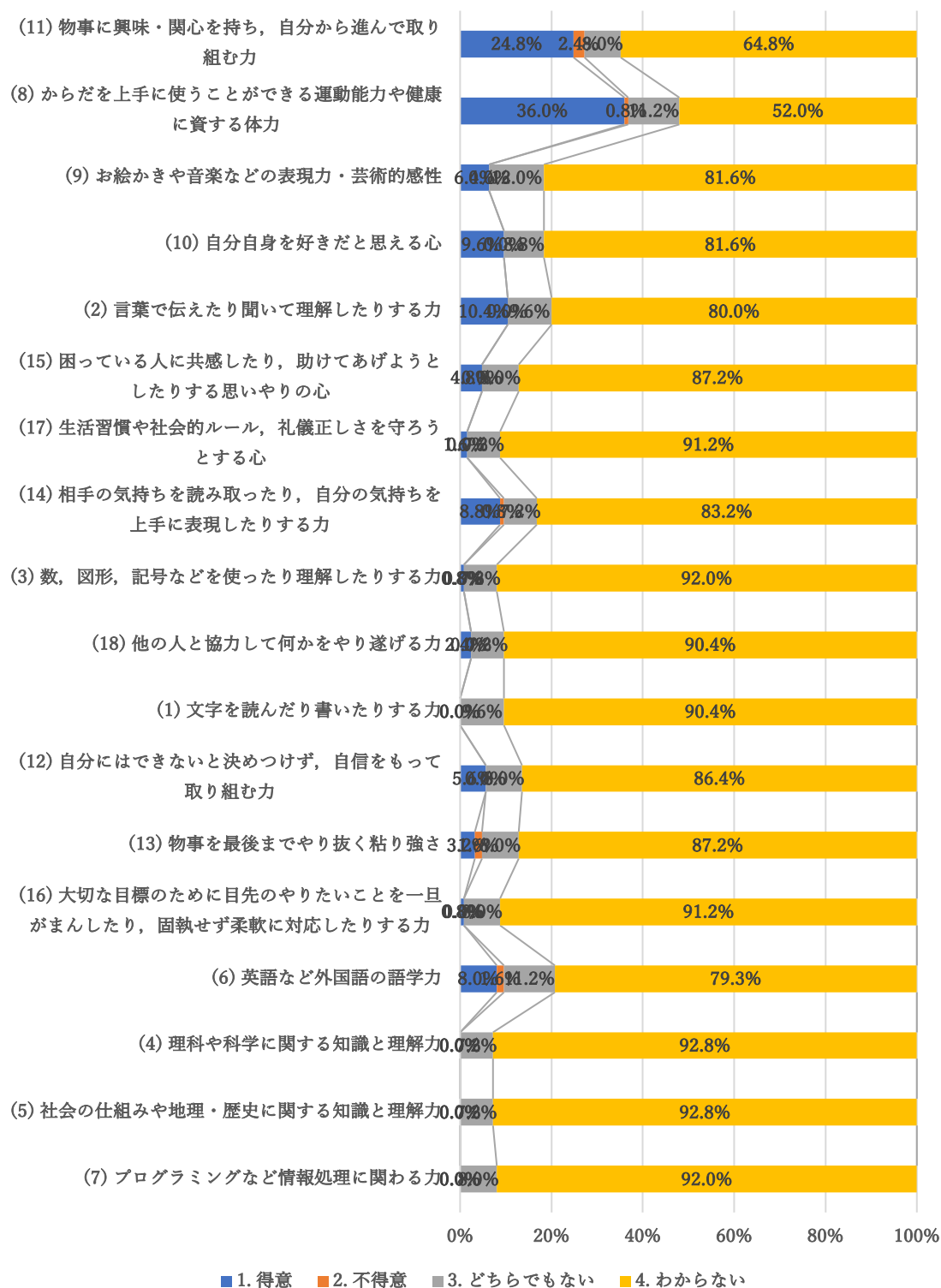


図 19. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【0 歳】

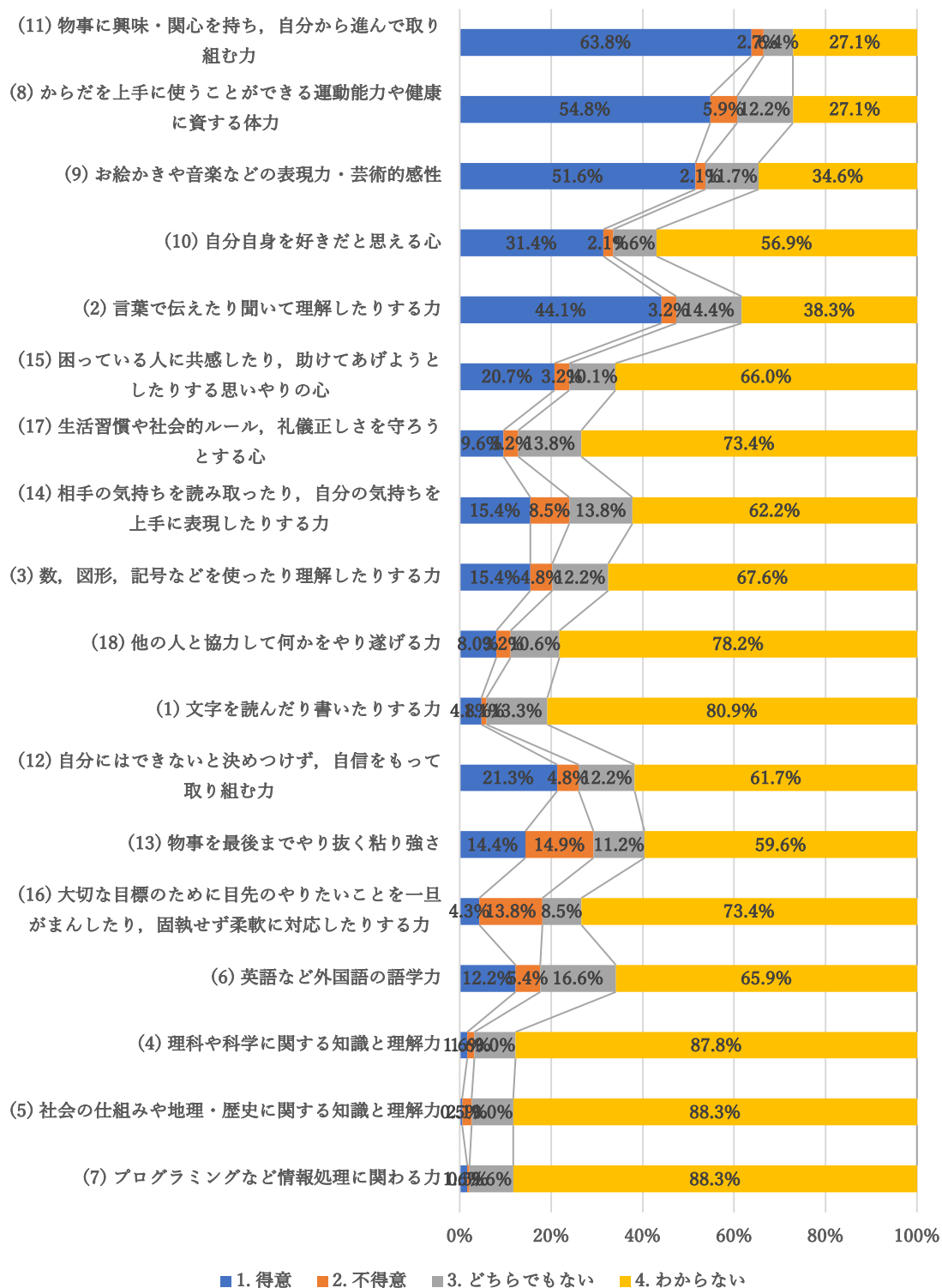


図 20. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【1 歳】

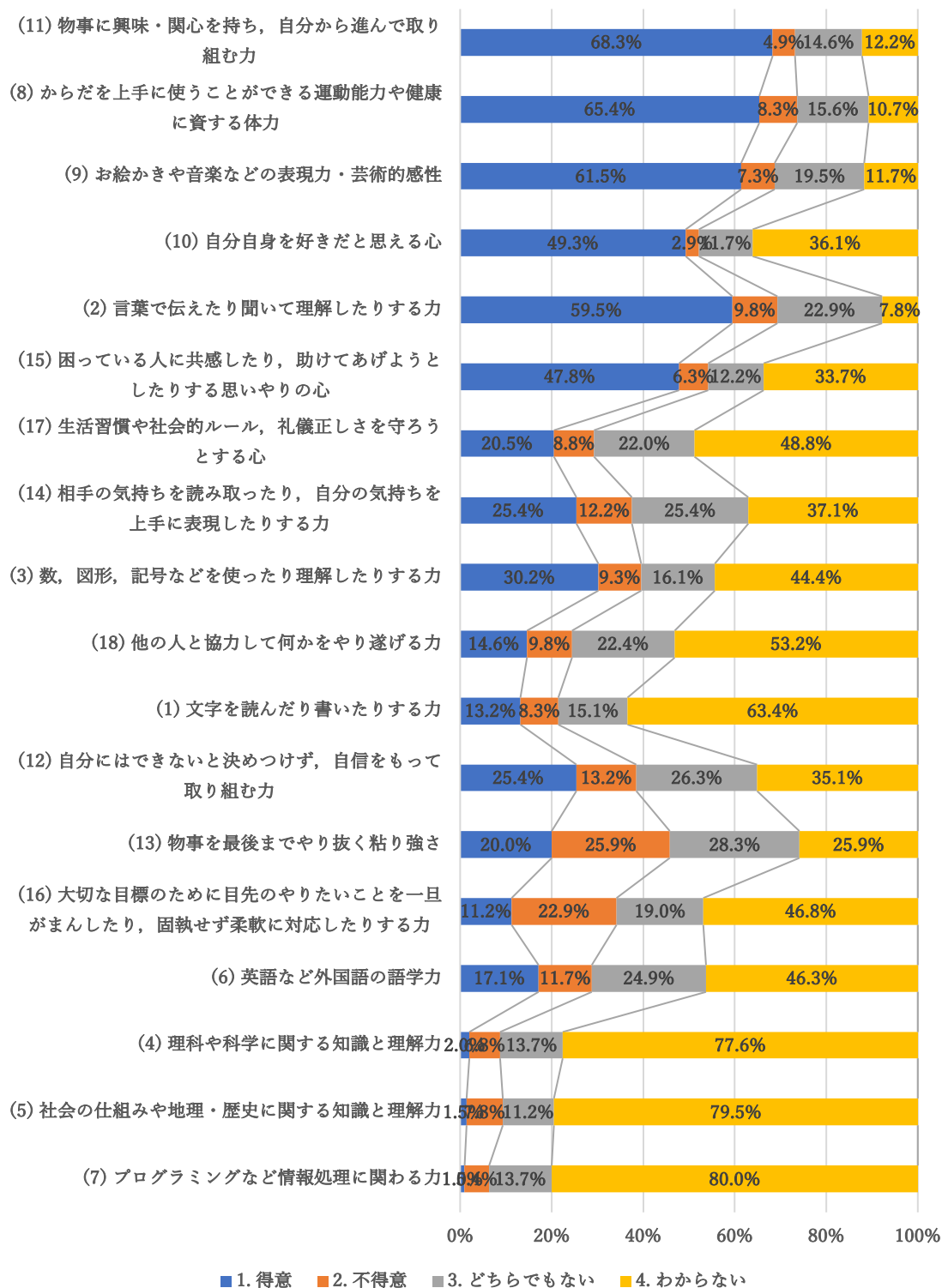


図 21. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【2 歳】

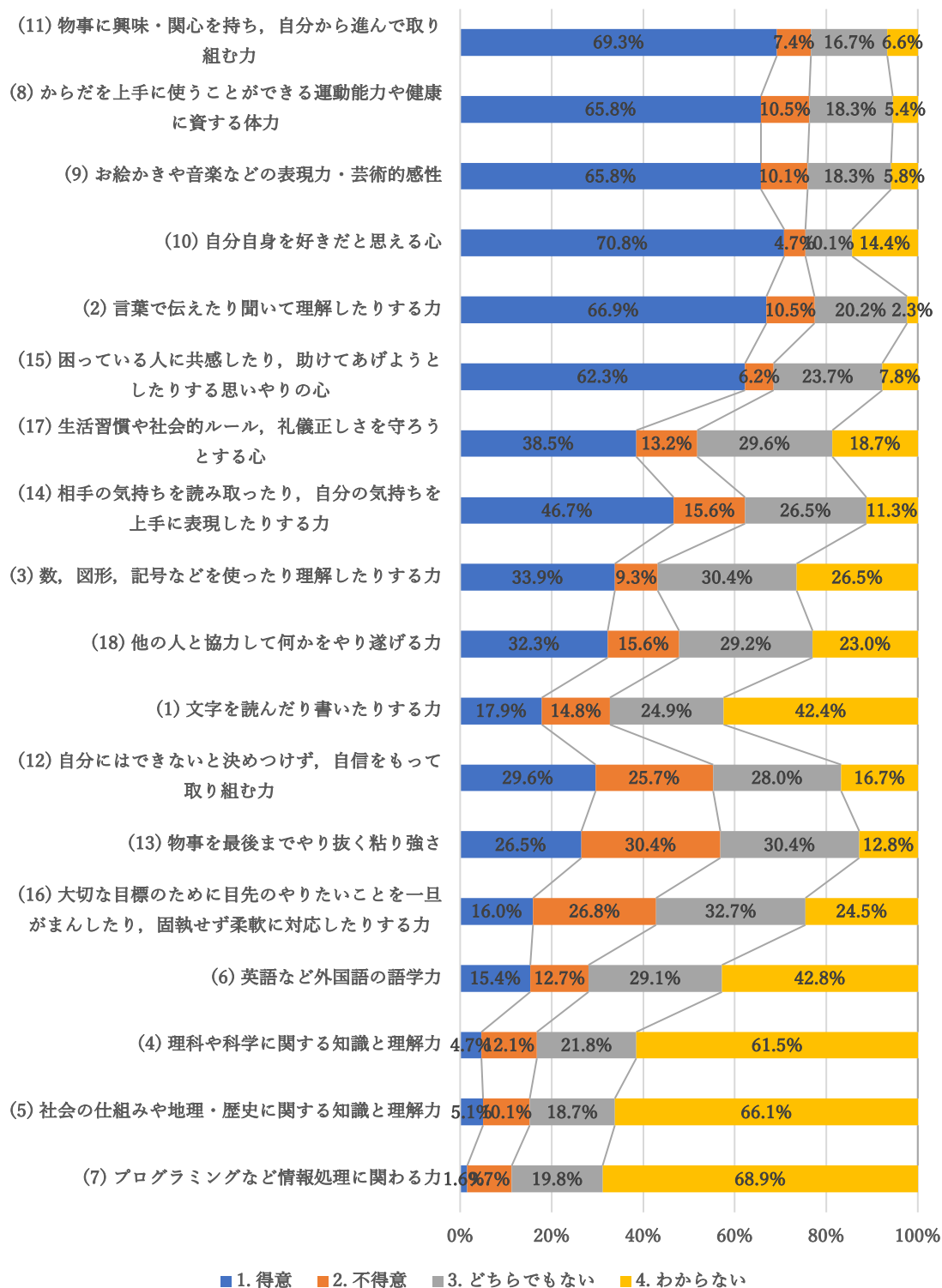


図 22. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【3 歳】

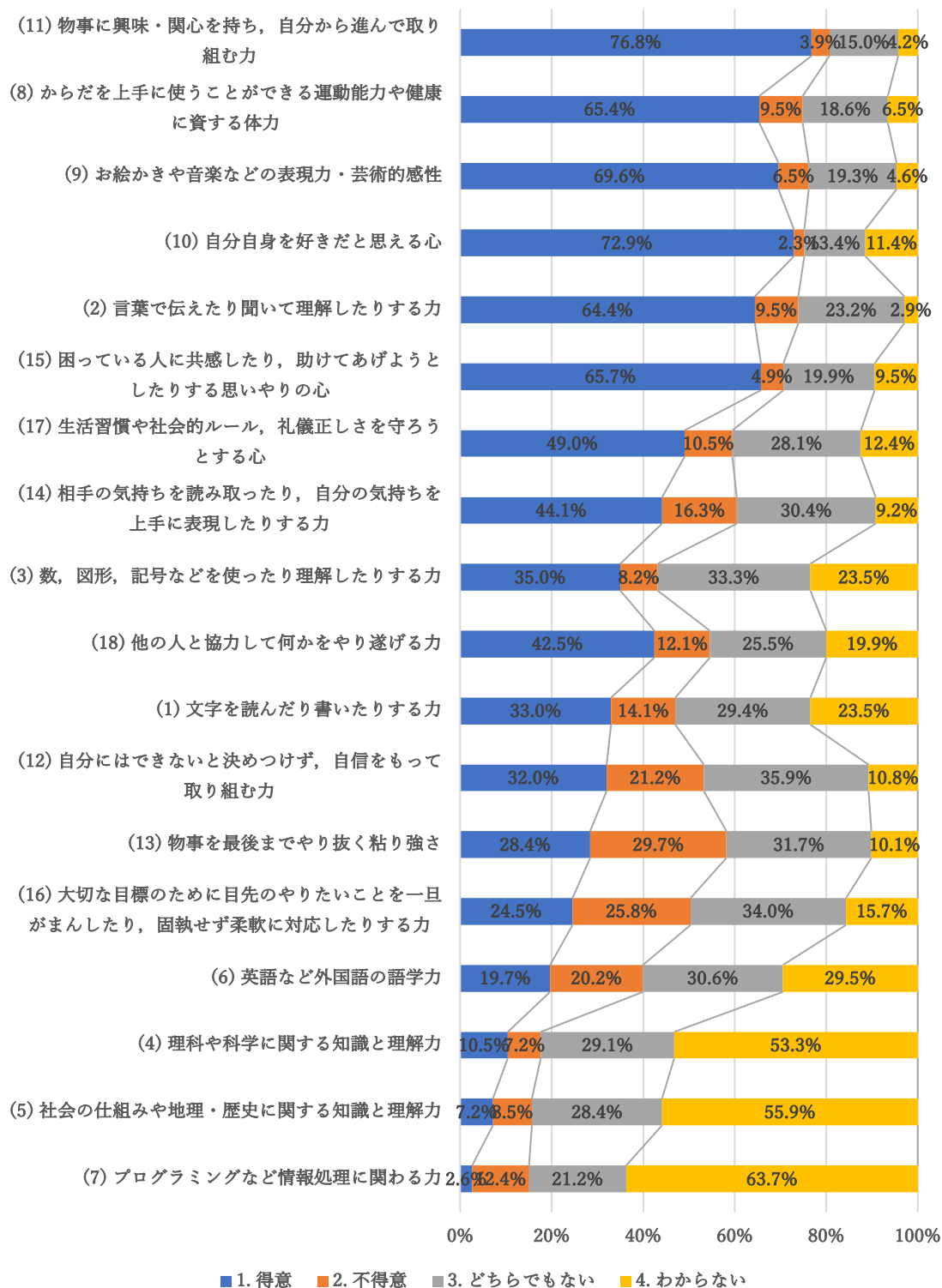


図 23. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【4 歳】

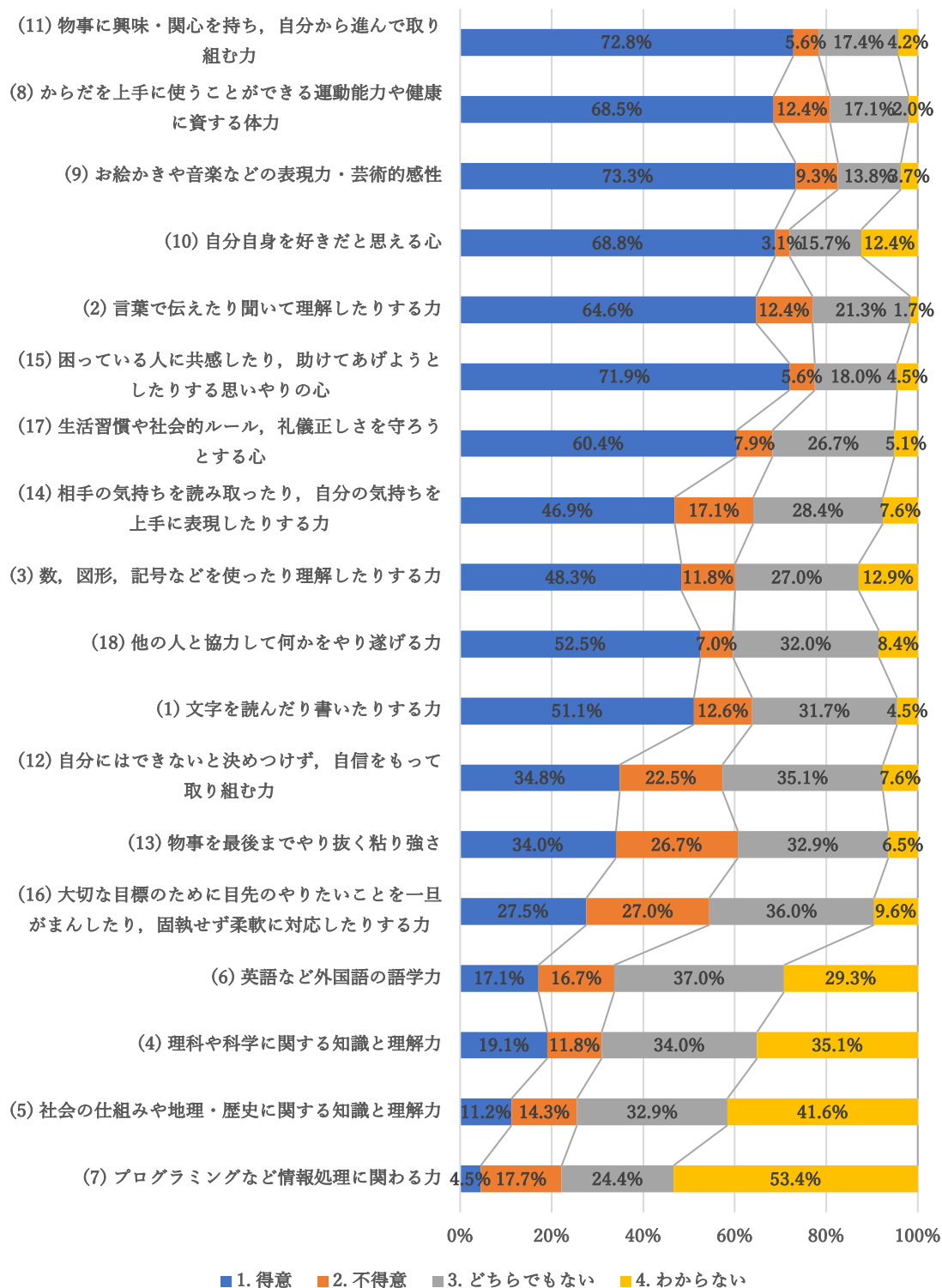


図 24. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【5 歳】

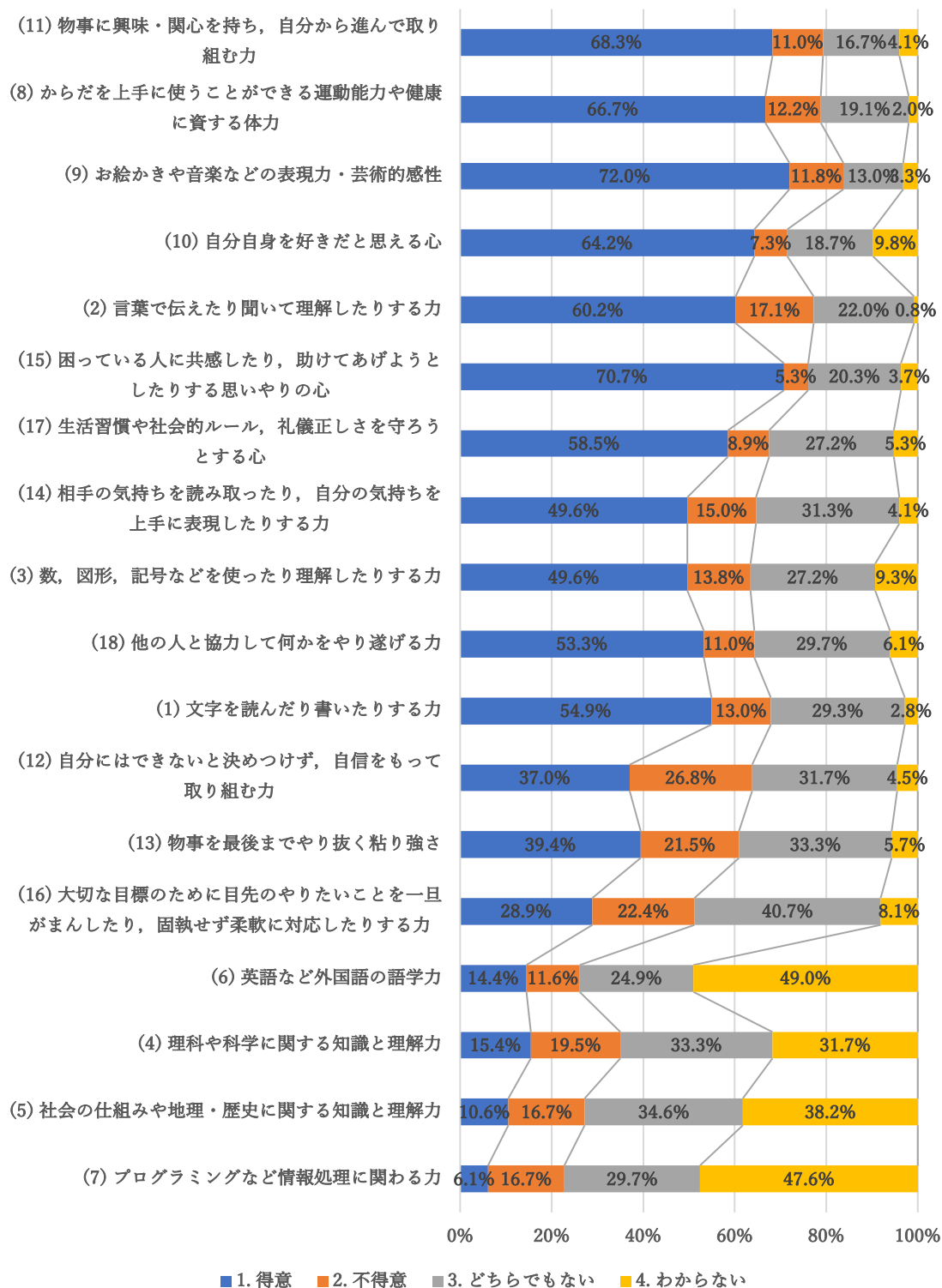


図 25. お子さんの資質・能力の得意・不得意 (%) 【6 歳】

7.5. 資質・能力の中で特に大切にしたい力

7.5.1. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力

Q16. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 5 つ】までお選びください。

18 の資質・能力について、これらの資質・能力の中で、特に大切にしたい力【上位 5 つ】をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 26・表 19 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 27～図 33 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 26）に準じます）。

「Q16. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 5 つ】までお選びください。」への回答で「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が最も多いのは、「(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力」（58.2%），2 番目は「(10) 自分自身を好きだと思える心」（56.9%），3 番目は「(14) 相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力」（47.1%），4 番目は「(11) 物事に興味・関心を持ち，自分から進んで取り組む力」（45.5%），5 番目は「(15) 困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心」（44.2%）でした。

お子さんの年齢別（図 27～図 33）に見ても、これらの資質・能力について、年齢によらず「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が多く見られました。

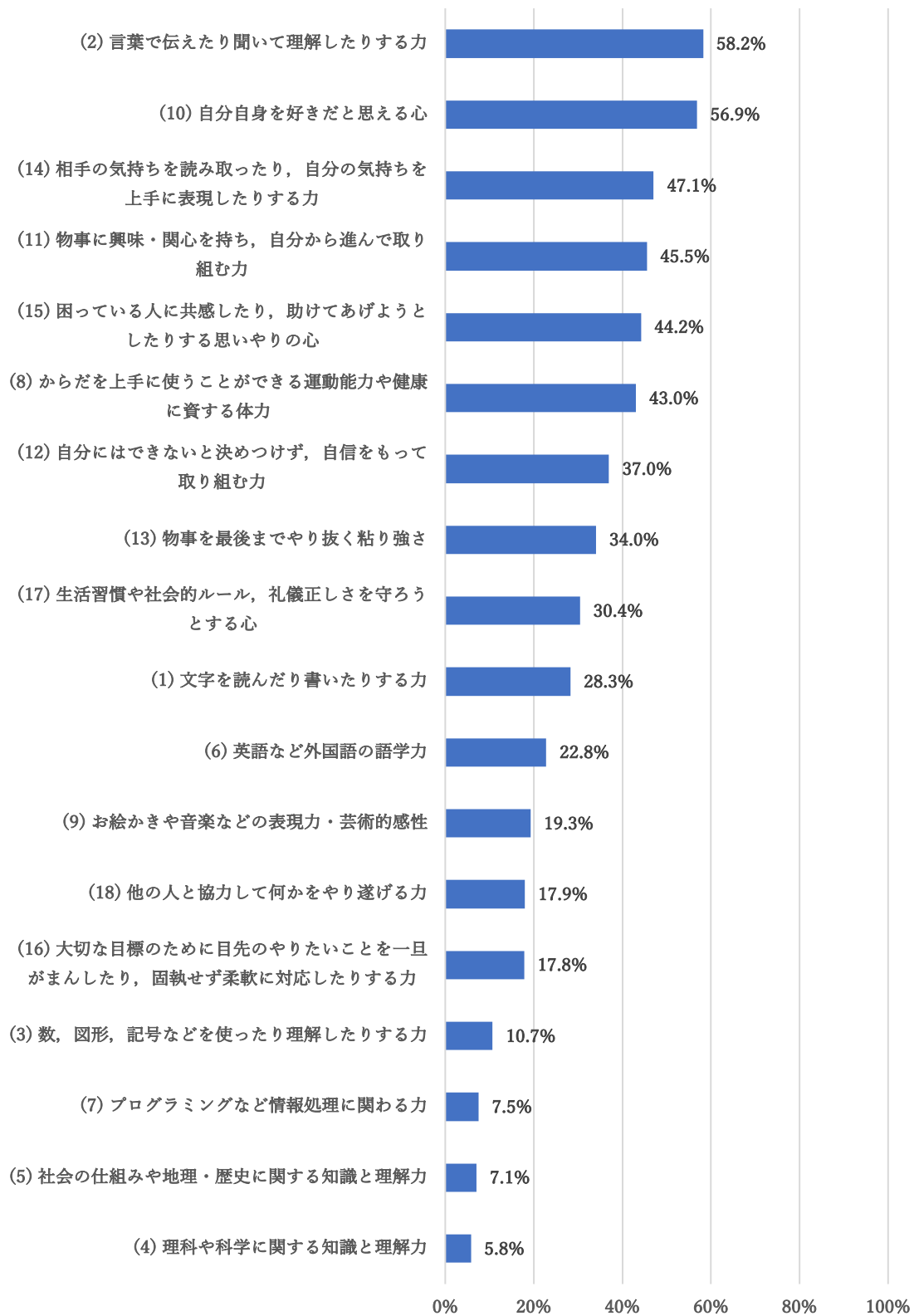


図 26. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））

表 19. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）

	選択者 数	%
(1) 文字を読んだり書いたりする力	476	28.3%
(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力	980	58.2%
(3) 数、図形、記号などを使ったり理解したりする力	180	10.7%
(4) 理科や科学に関する知識と理解力	98	5.8%
(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力	119	7.1%
(6) 英語など外国語の語学力	384	22.8%
(7) プログラミングなど情報処理に関わる力	127	7.5%
(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力	724	43.0%
(9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性	324	19.3%
(10) 自分自身を好きだと思える心	957	56.9%
(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力	766	45.5%
(12) 自分にはできないと決めつけず、自信をもって取り組む力	622	37.0%
(13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ	573	34.0%
(14) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力	792	47.1%
(15) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心	744	44.2%
(16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力	300	17.8%
(17) 生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心	512	30.4%
(18) 他の人と協力して何かをやり遂げる力	302	17.9%

注 1) 18 の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 5 つ】まで選択してもらいました。

注 2) %は回答者の総数（N=1,683）に対する選択者数の割合を示します。

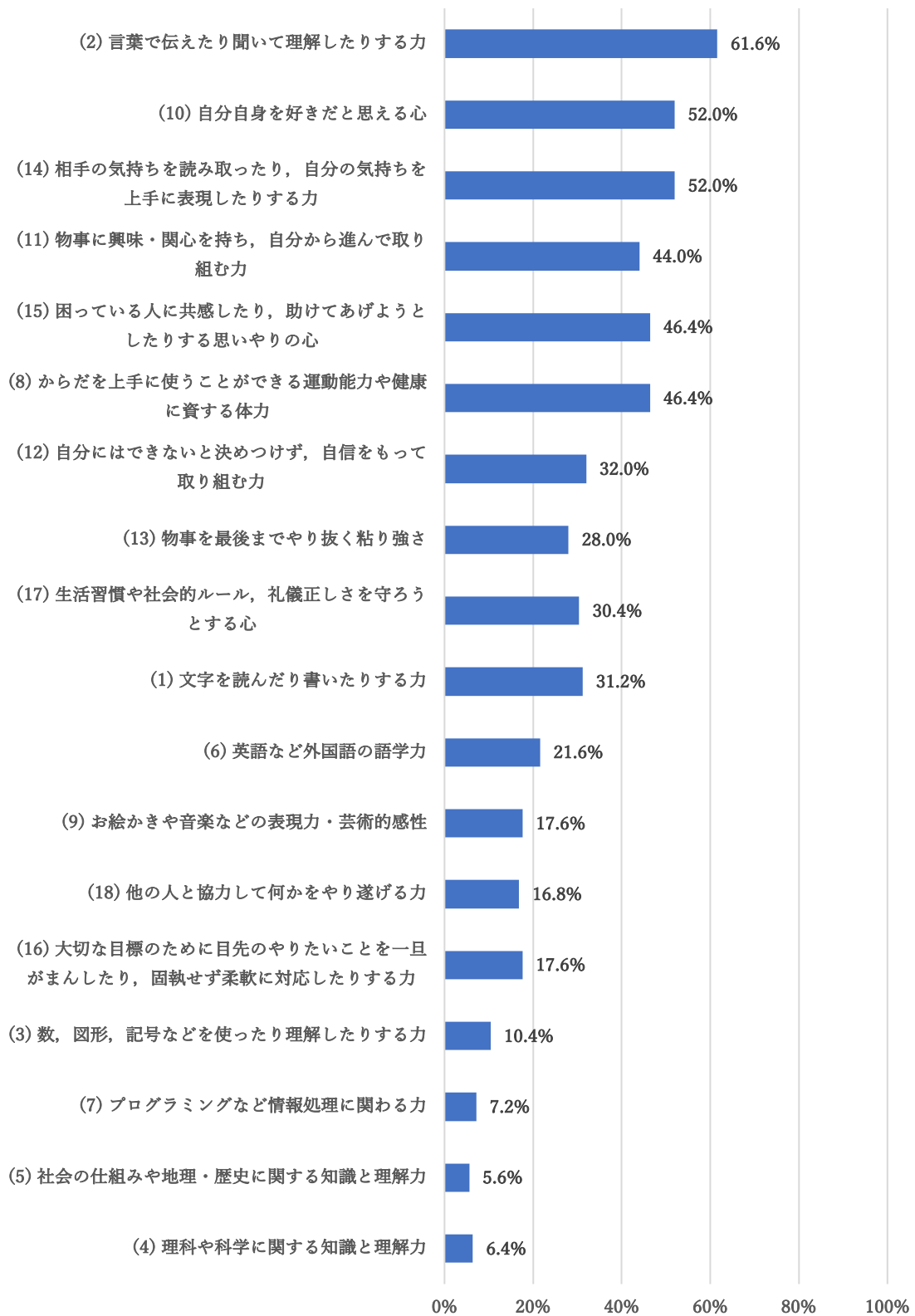


図 27. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【0 歳】

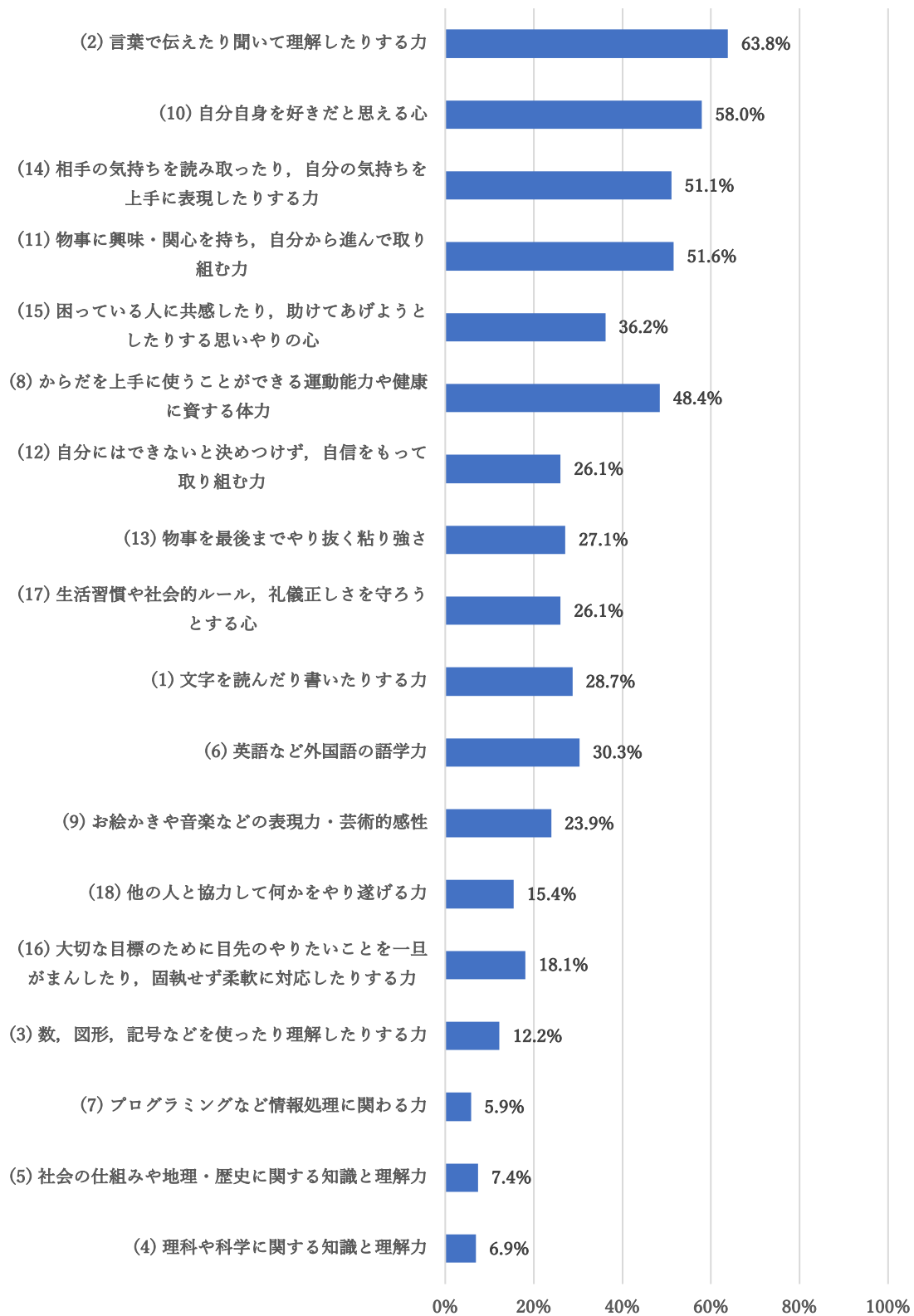


図 28. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【1 歳】

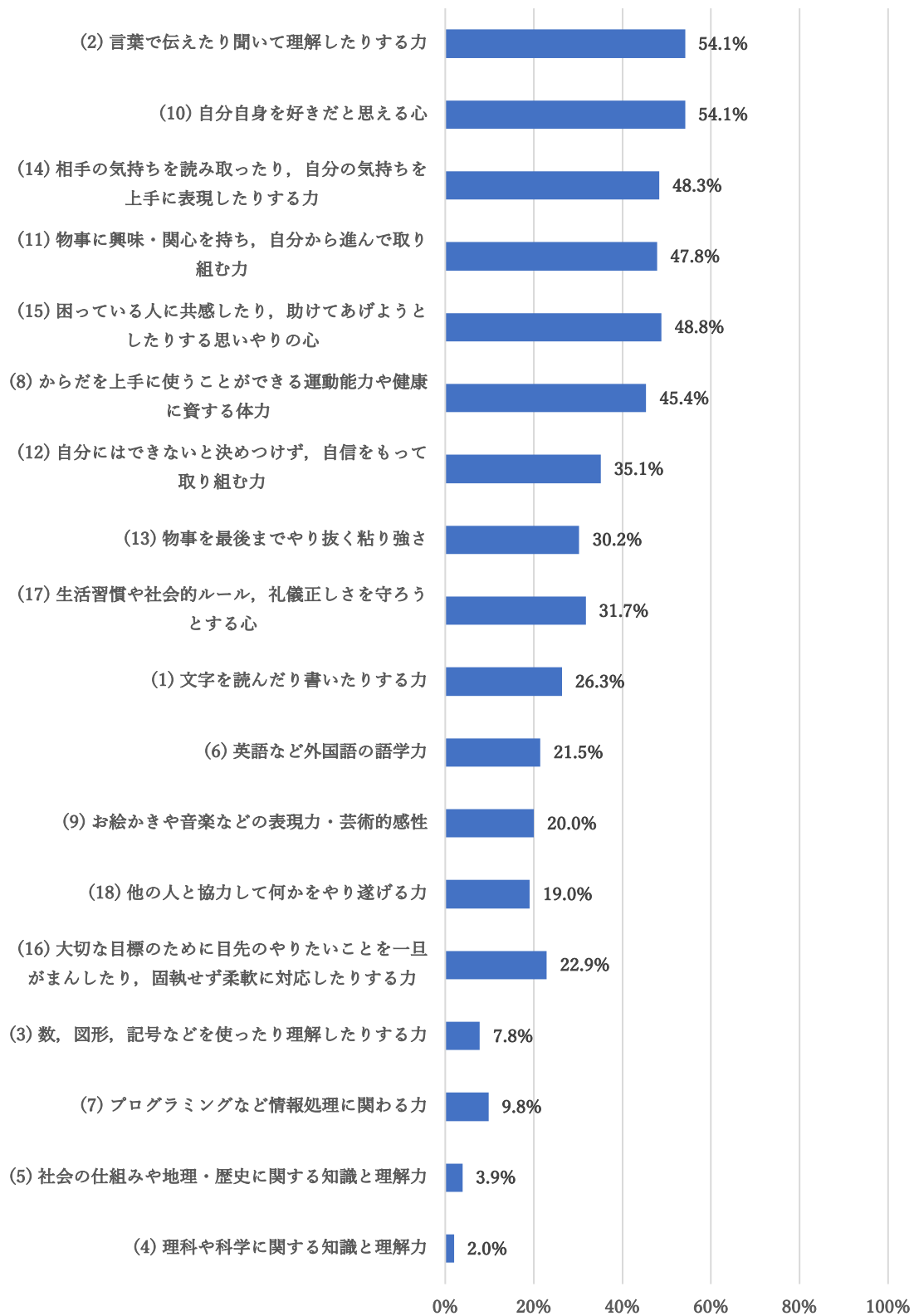


図 29. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【2 歳】

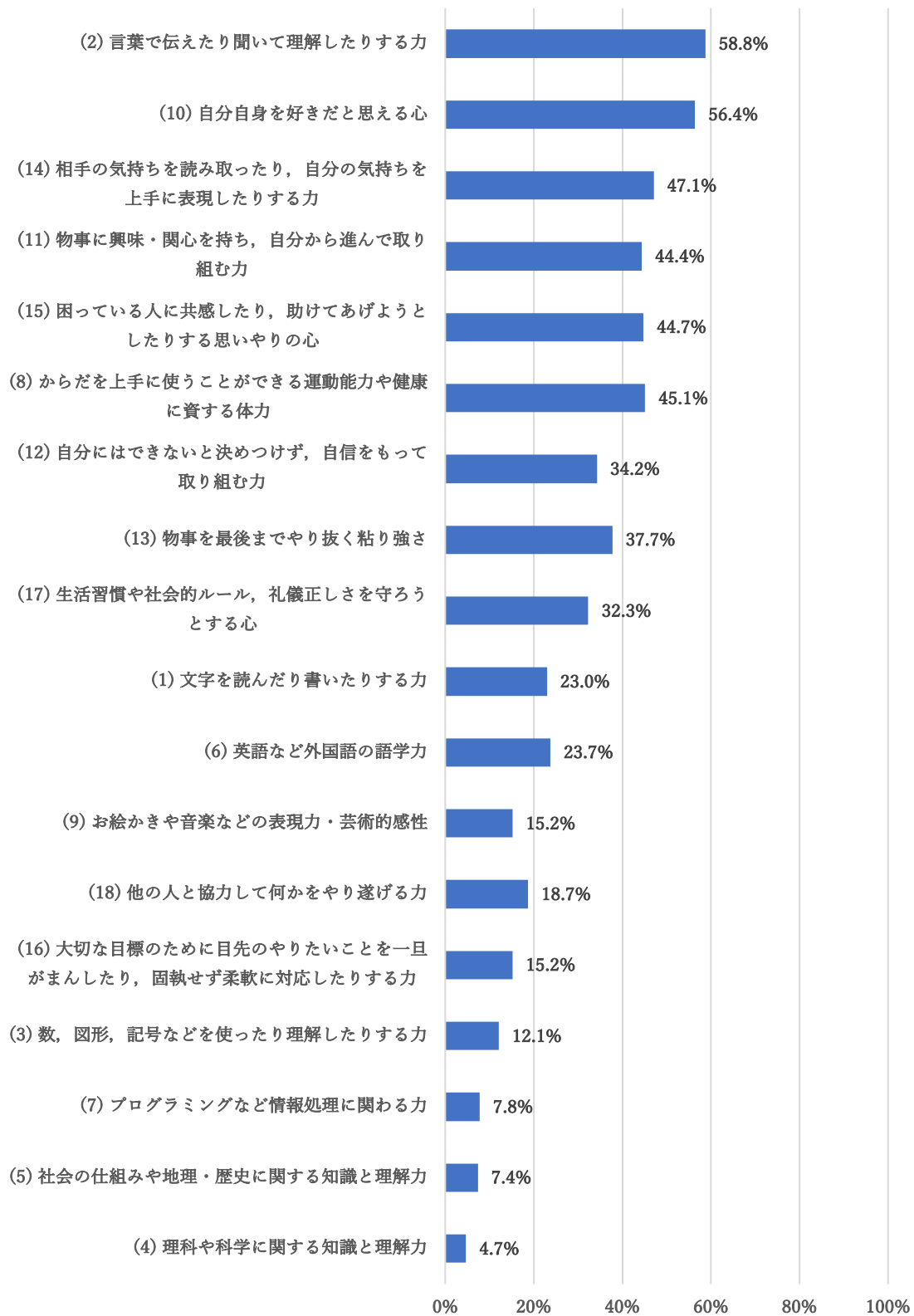


図 30. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【3 歳】

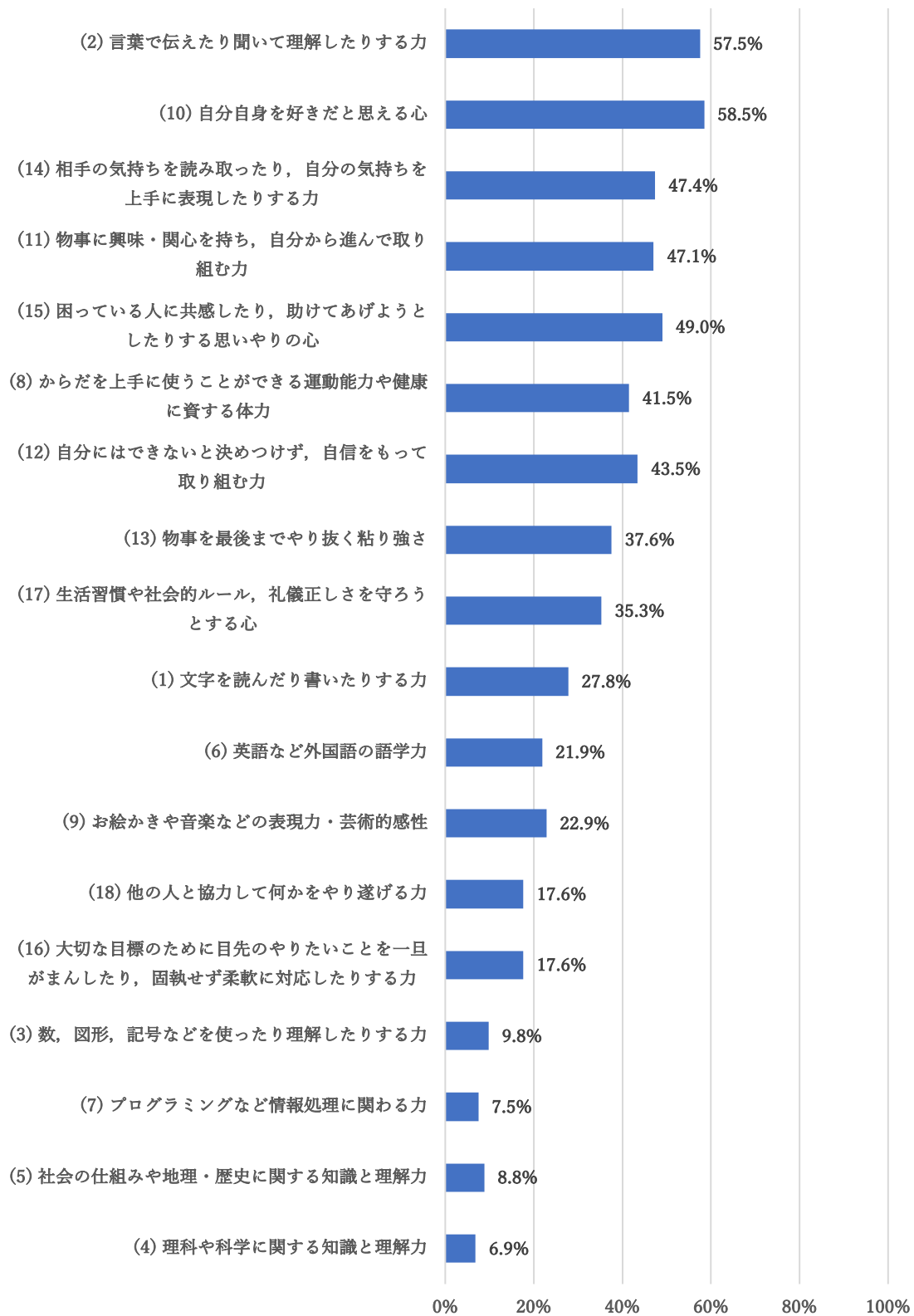


図 31. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【4 歳】

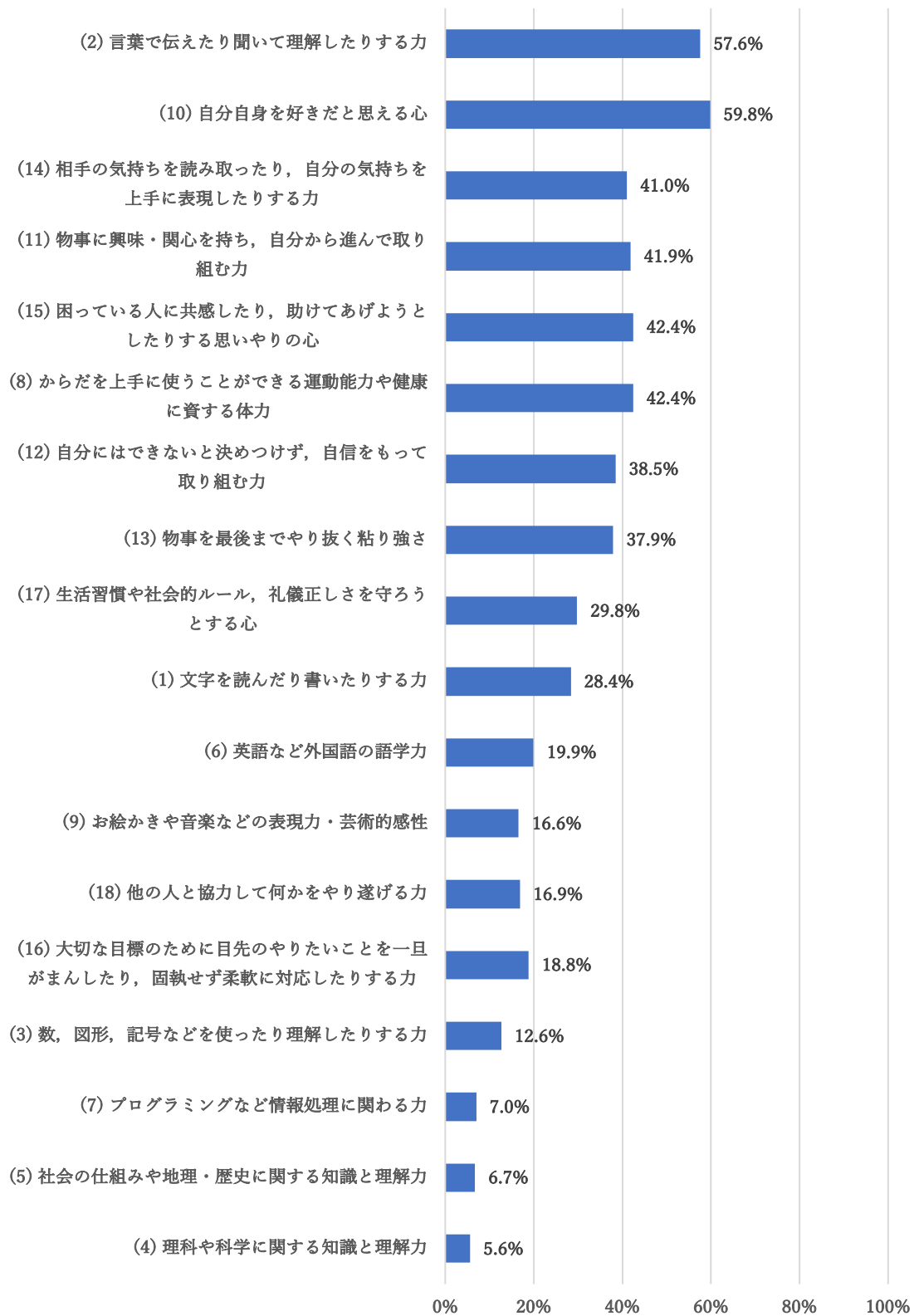


図 32. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【5 歳】

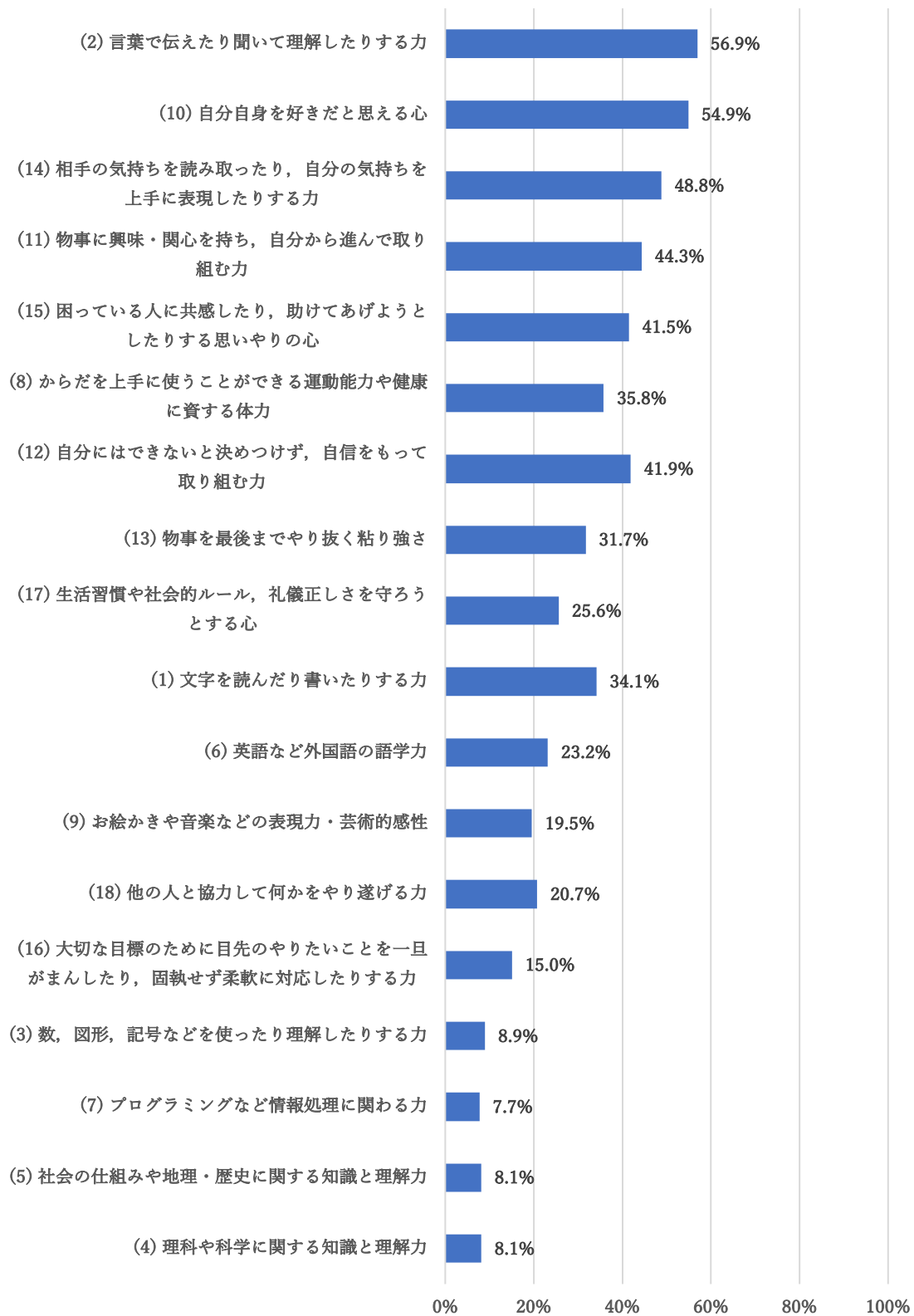


図 33. 18 の資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（％）） 【6 歳】

7.5.2. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力

Q17. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 3 つ】までお選びください。

資質・能力のうち、「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力【上位 3 つ】をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 34・表 20 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 35～図 41 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 34）に準じます）。

「Q17. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 3 つ】までお選びください。」への回答で「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が最も多いのは、「(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力」（89.4%）、2 番目は「(1) 文字を読んだり書いたりする力」（65.5%）、3 番目は「(6) 英語など外国語の語学力」（49.3%）でした。

お子さんの年齢別（図 35～図 41）に見ても、これらの「(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力」（88.2～90.3%）、「(1) 文字を読んだり書いたりする力」（61.0～68.0%）、「(6) 英語など外国語の語学力」（46.3～53.7%）は、お子さんの年齢によらず、「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が多く見られました。

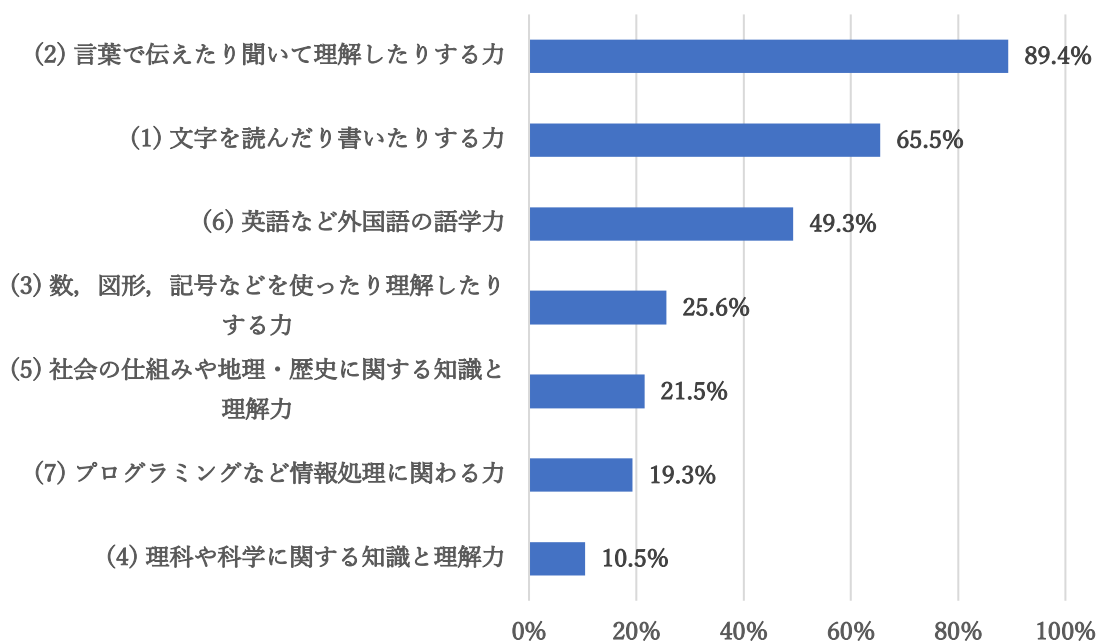


図 34. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率 (%)）

表 20. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）

	選択者 数	%
(1) 文字を読んだり書いたりする力	1102	65.5%
(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力	1504	89.4%
(3) 数、図形、記号などを使ったり理解したりする力	431	25.6%
(4) 理科や科学に関する知識と理解力	176	10.5%
(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力	362	21.5%
(6) 英語など外国語の語学力	829	49.3%
(7) プログラミングなど情報処理に関わる力	325	19.3%

注 1) 7 つの資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 3 つ】まで選択してもらいました。

注 2) %は回答者の総数（ $N=1,683$ ）に対する選択者数の割合を示します。

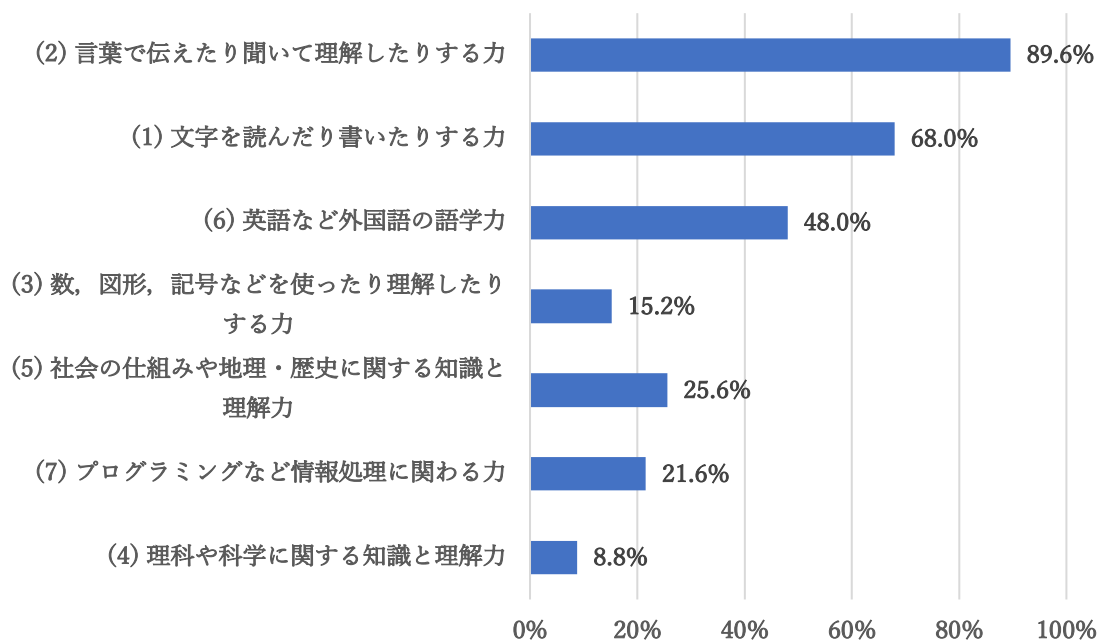


図 35. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率 (%)） 【0 歳】

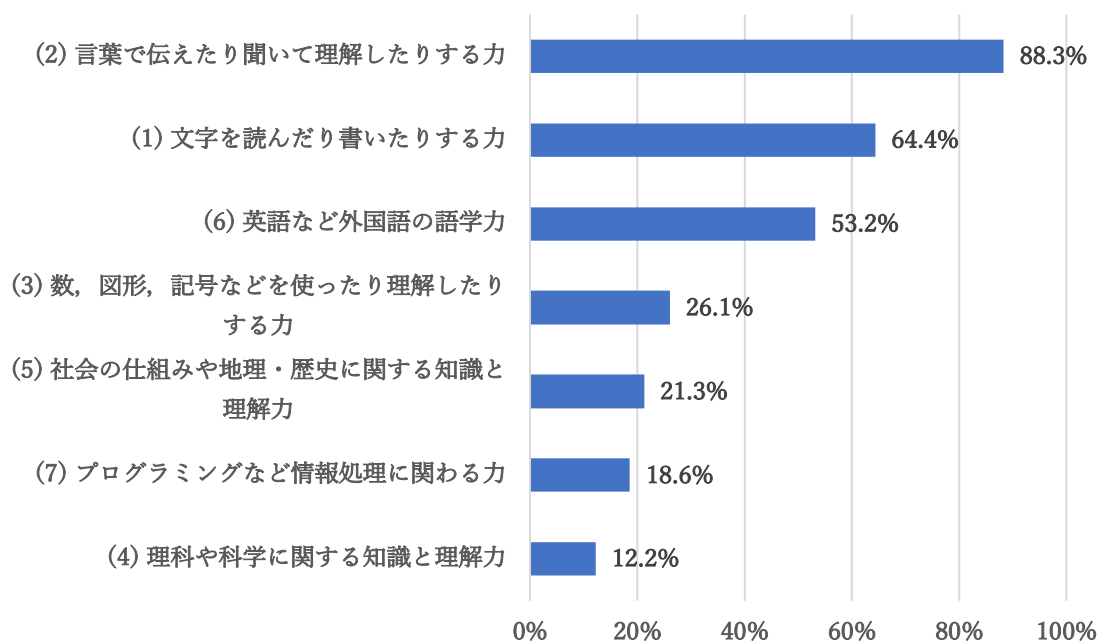


図 36. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率 (%)） 【1 歳】

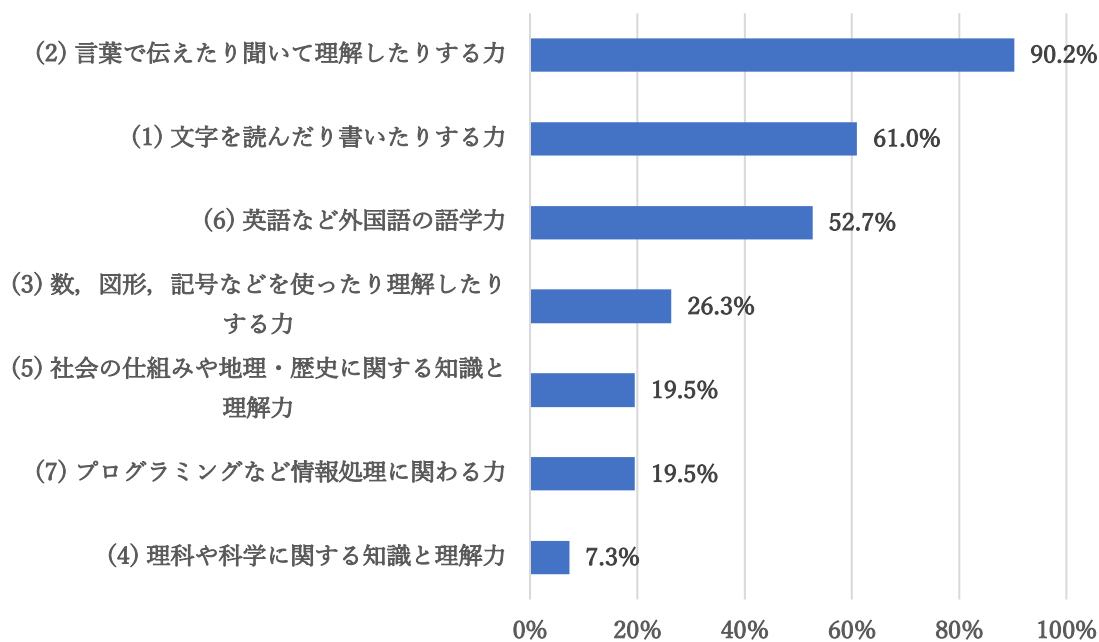


図 37. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【2 歳】

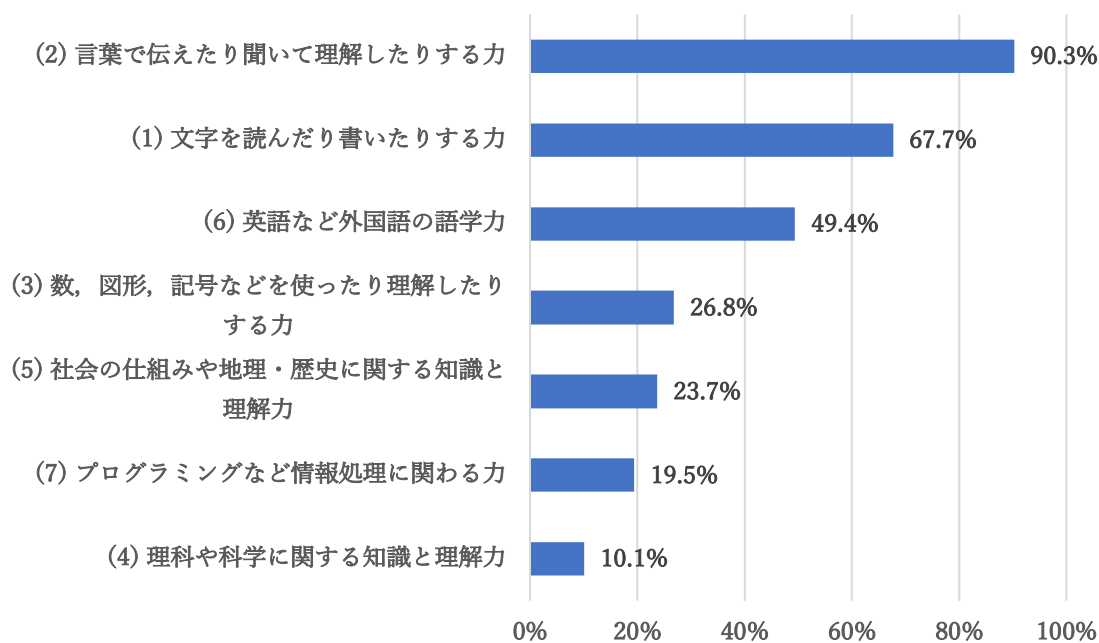


図 38. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【3 歳】

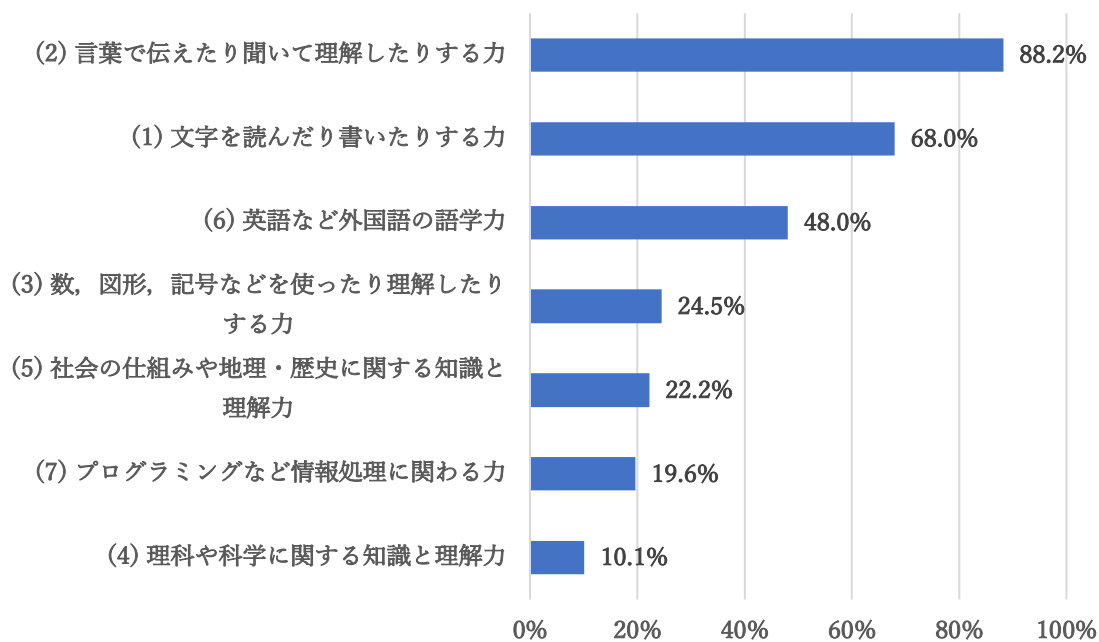


図 39. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【4 歳】

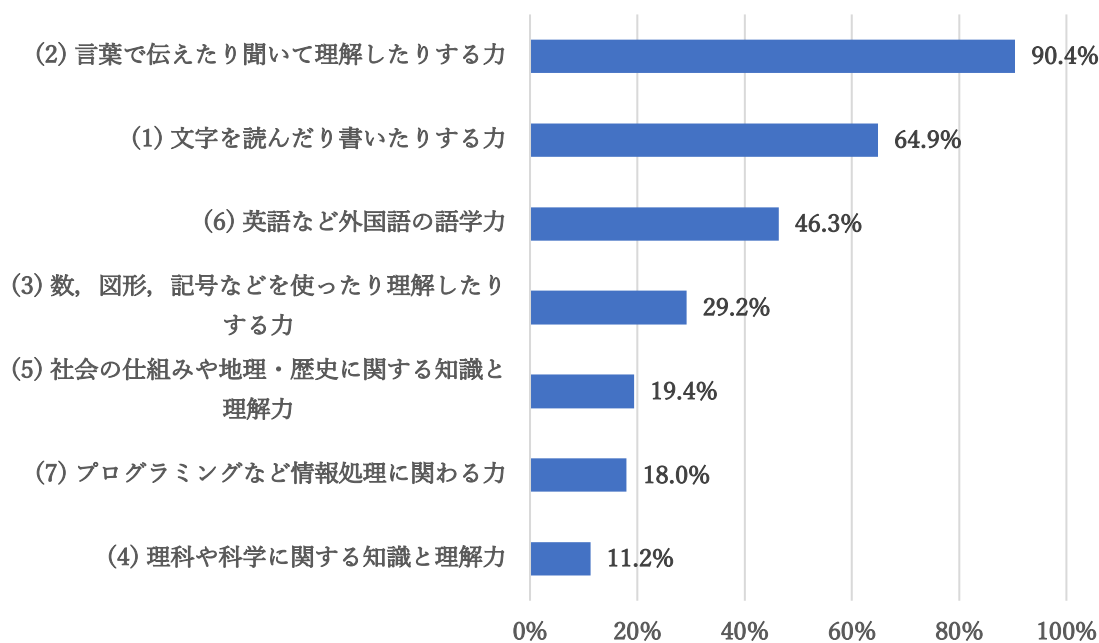


図 40. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【5 歳】

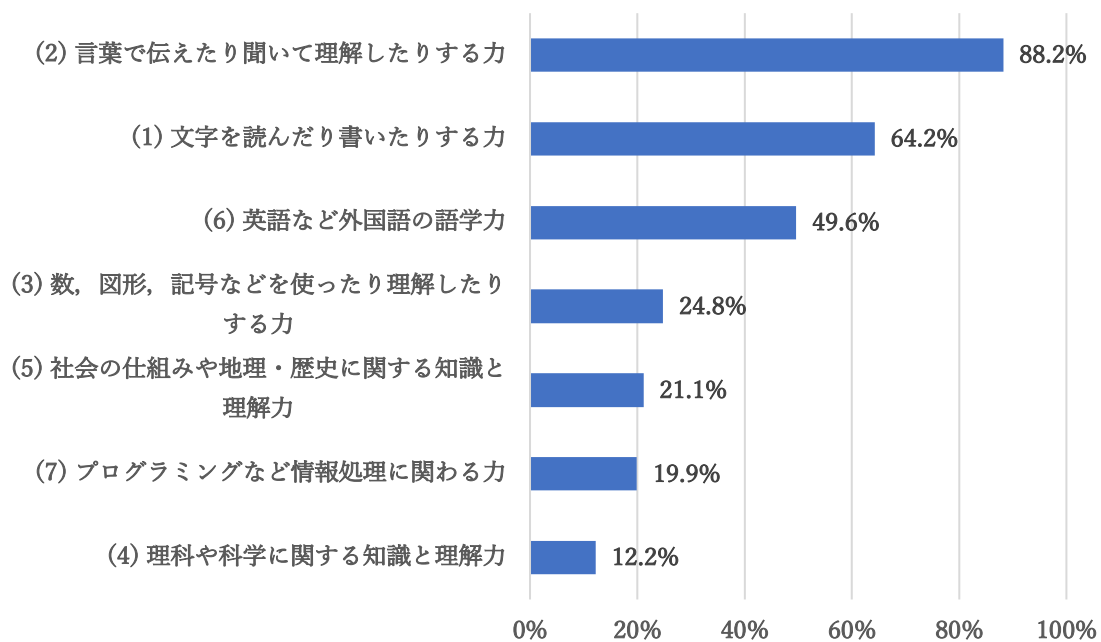


図 41. 「認知能力」と関連する 7 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【6 歳】

7.5.3. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力

Q18. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 3 つ】までお選びください。

資質・能力のうち、「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力【上位 3 つ】をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 42・表 21 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 43～図 49 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 42）に準じます）。

「Q18. お子さんについて、次の資質・能力の中で、特に大切にしたい力を【上位 3 つ】までお選びください。」への回答で「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が最も多いのは、「(1) 自分自身を好きだと思える心」（60.9%），2 番目は「(5) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力」（46.6%），3 番目は「(6) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」（43.1%）でした。

お子さんの年齢別（図 43～図 49）に見ても、これらの「(1) 自分自身を好きだと思える心」（58.0～64.9%），「(5) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力」（42.7～53.2%），「(6) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」（36.2～45.6%）は、お子さんの年齢によらず、「1.特に大切にしたい」と選択した人の割合が多く見られました。

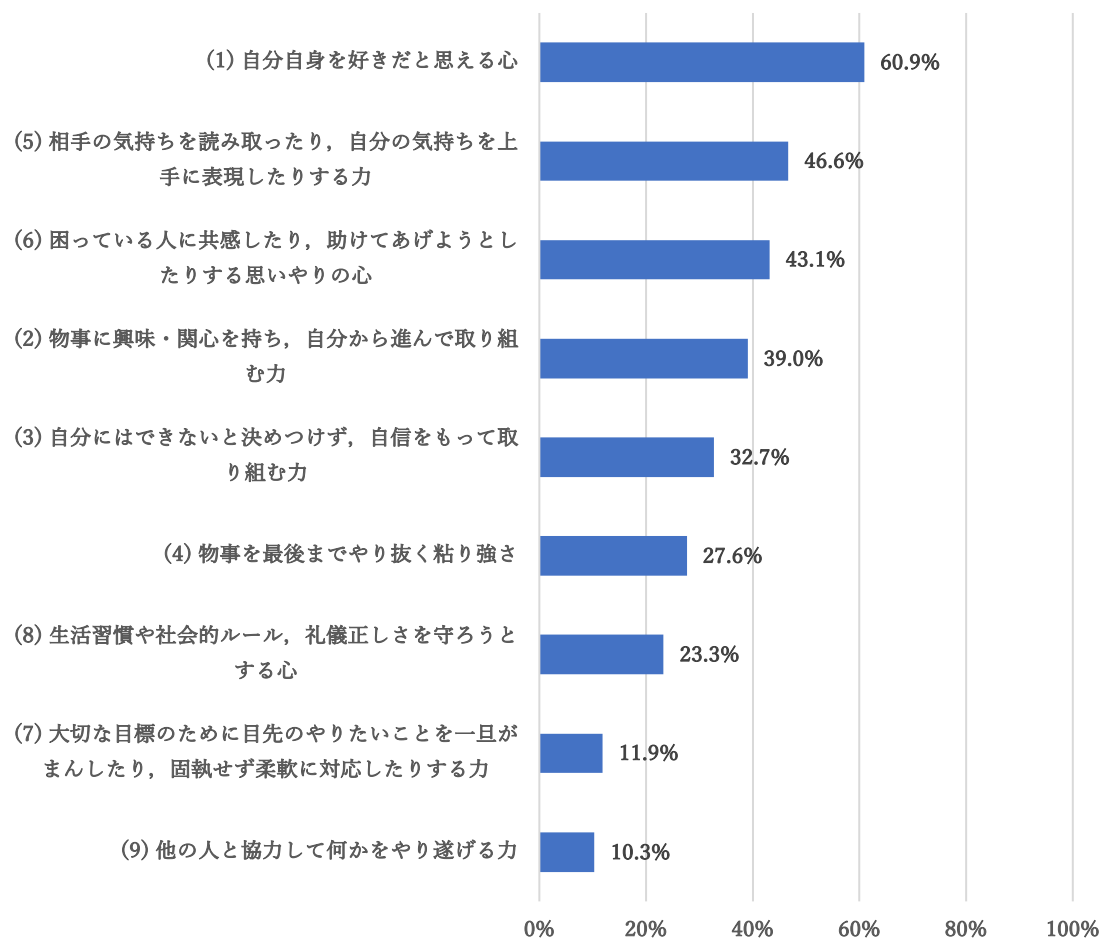


図 42. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））

表 21. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（集計値）

	選択者 数	%
(1) 自分自身を好きだと思える心	1025	60.9%
(2) 物事に興味・関心を持ち，自分から進んで取り組む力	657	39.0%
(3) 自分にはできないと決めつけず，自信をもって取り組む力	551	32.7%
(4) 物事を最後までやり抜く粘り強さ	465	27.6%
(5) 相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力	785	46.6%
(6) 困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心	726	43.1%
(7) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力	200	11.9%
(8) 生活習慣や社会的ルール，礼儀正しさを守ろうとする心	392	23.3%
(9) 他の人と協力して何かをやり遂げる力	174	10.3%

注 1) 9 つの資質・能力の中で，特に大切にしたい力を【上位 3 つ】まで選択してもらいました。

注 2) %は回答者の総数（ $N=1,683$ ）に対する選択者数の割合を示します。

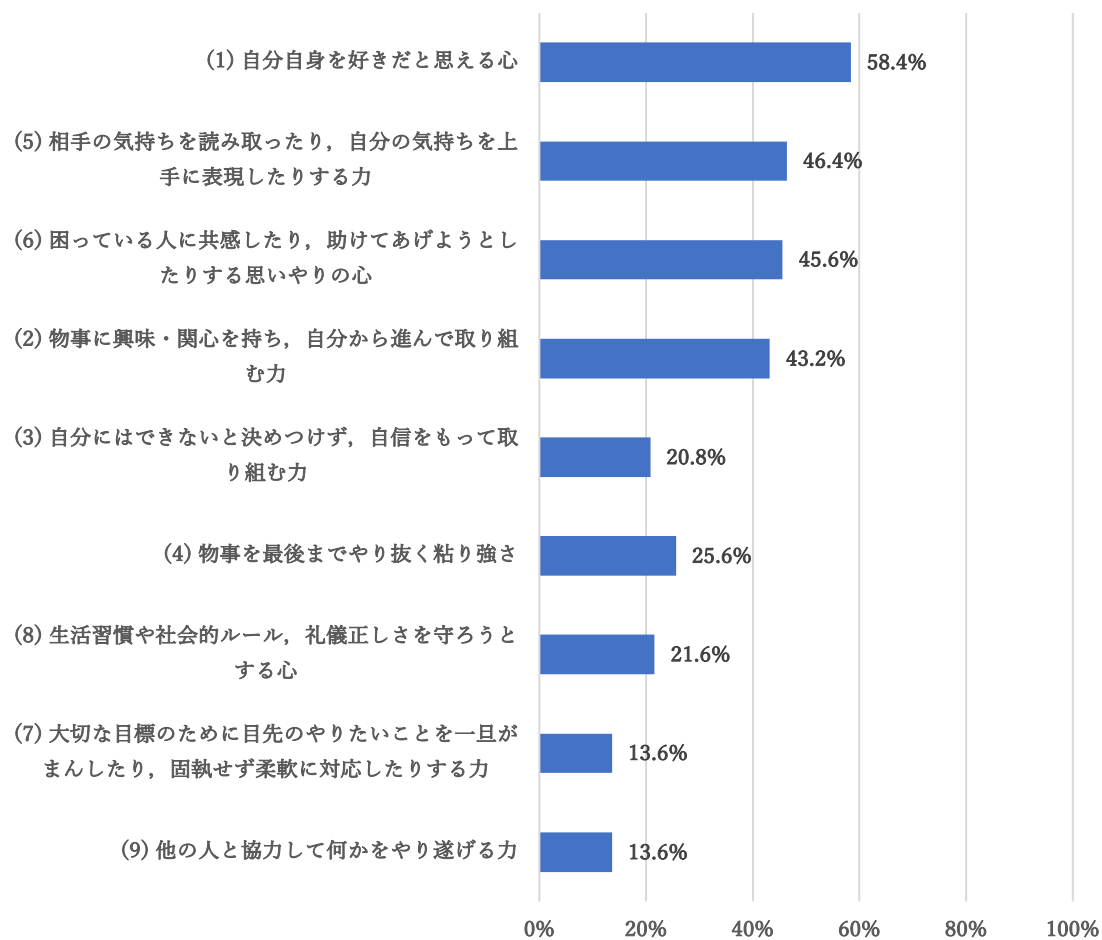


図 43. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【0 歳】

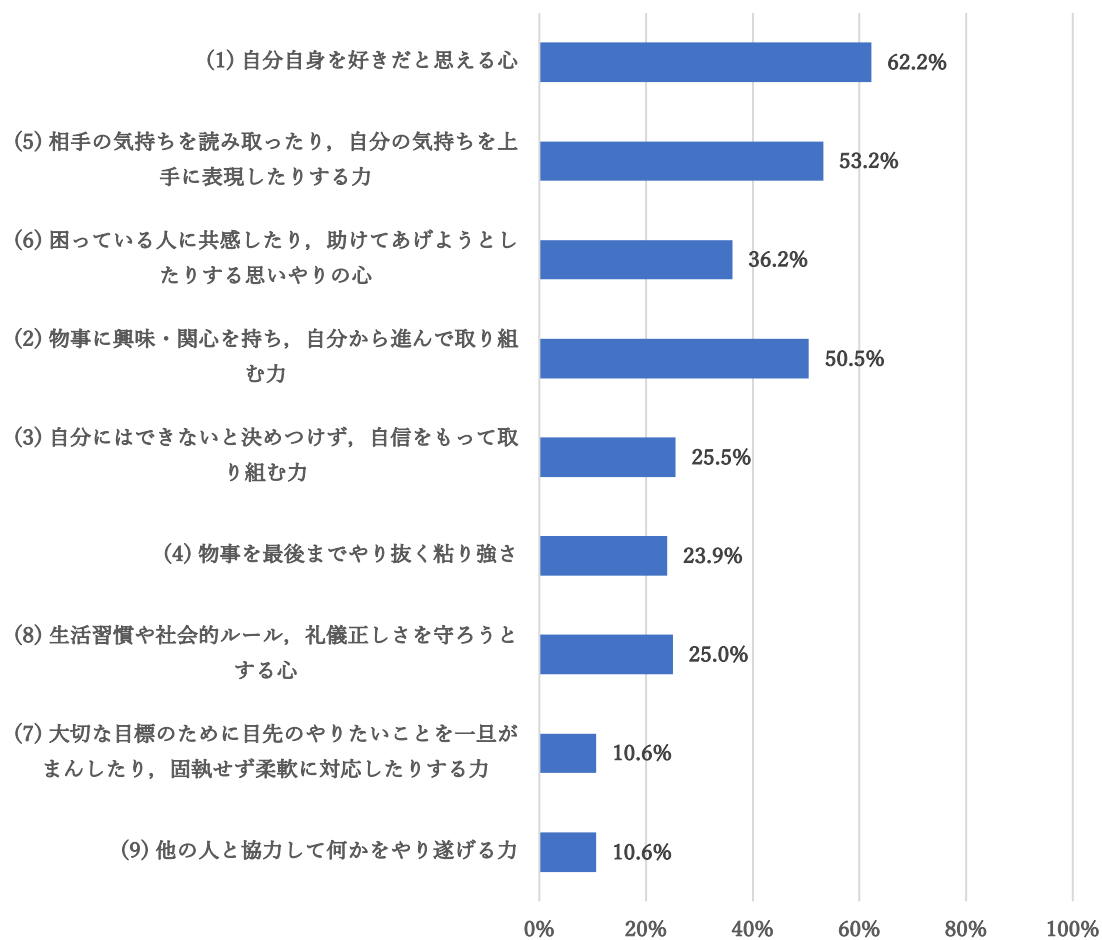


図 44. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【1 歳】

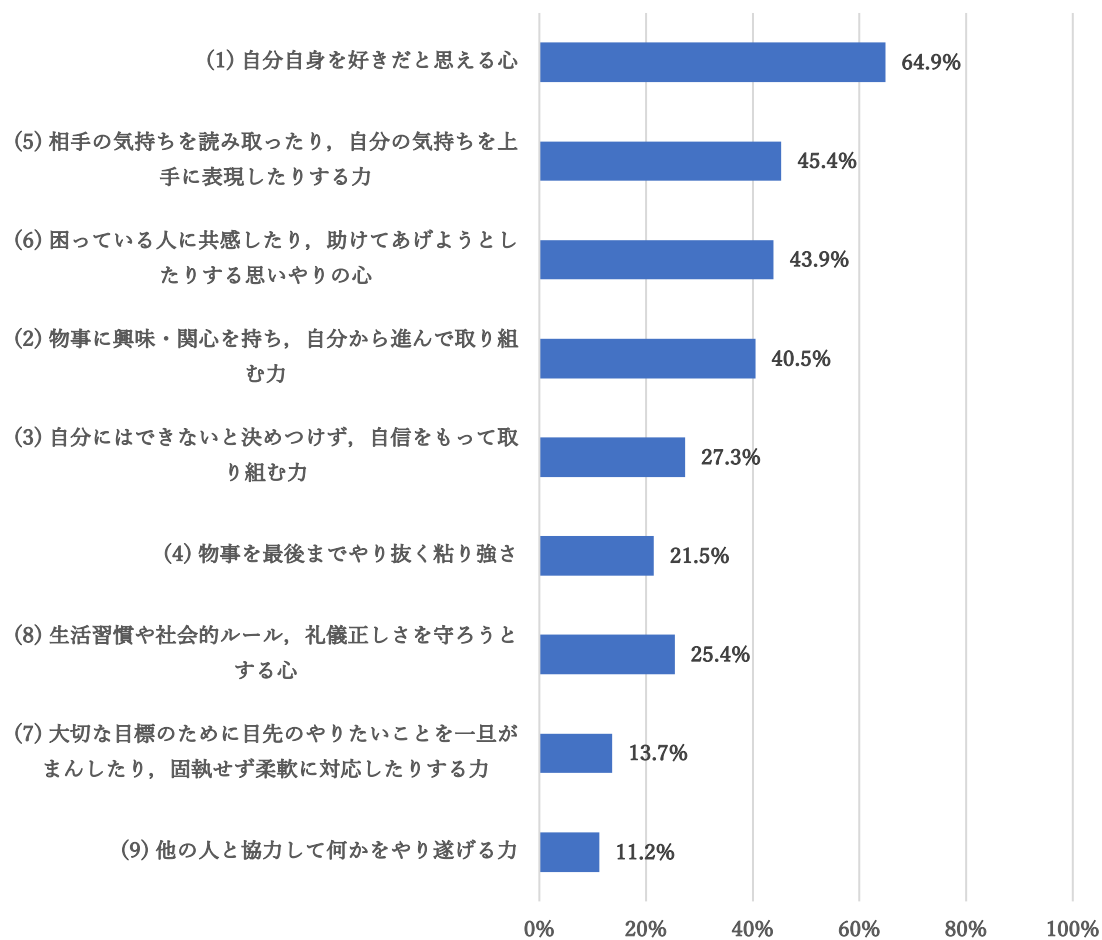


図 45. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【2 歳】

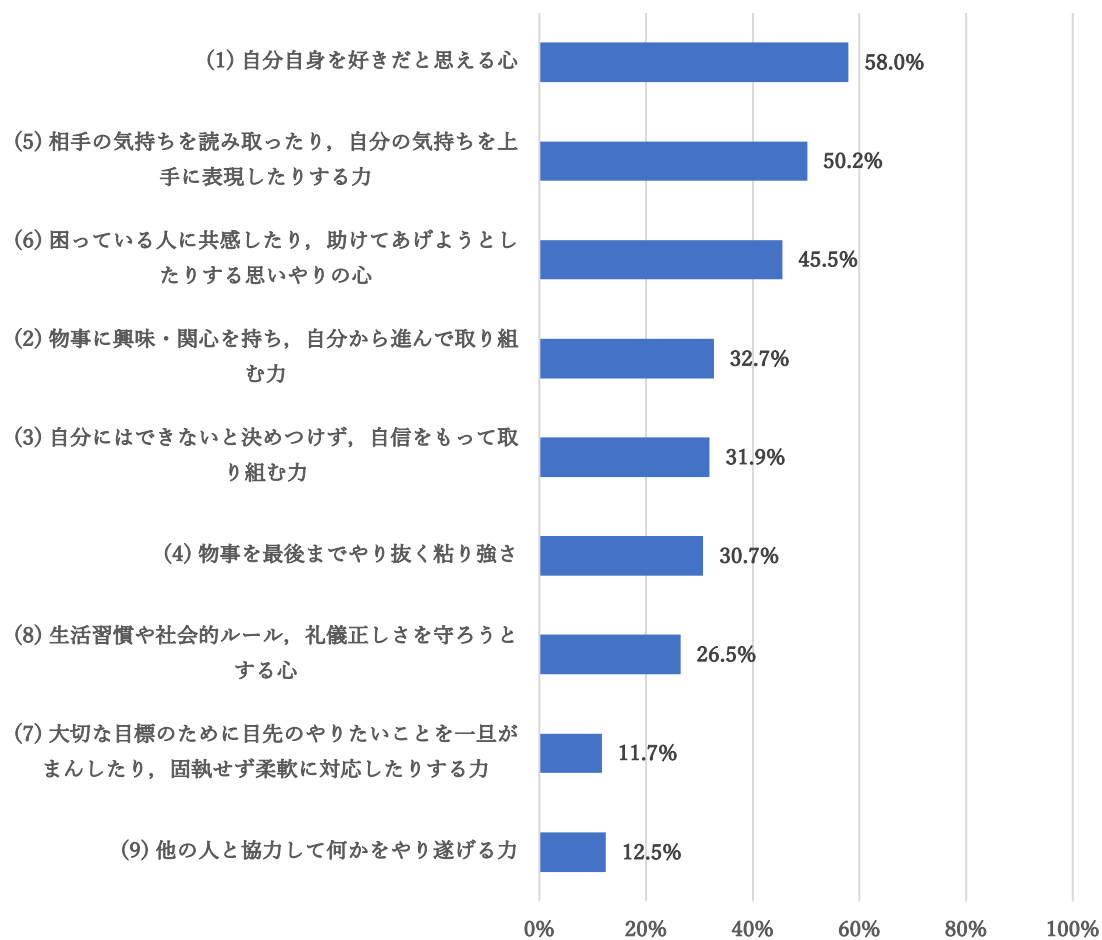


図 46. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【3 歳】

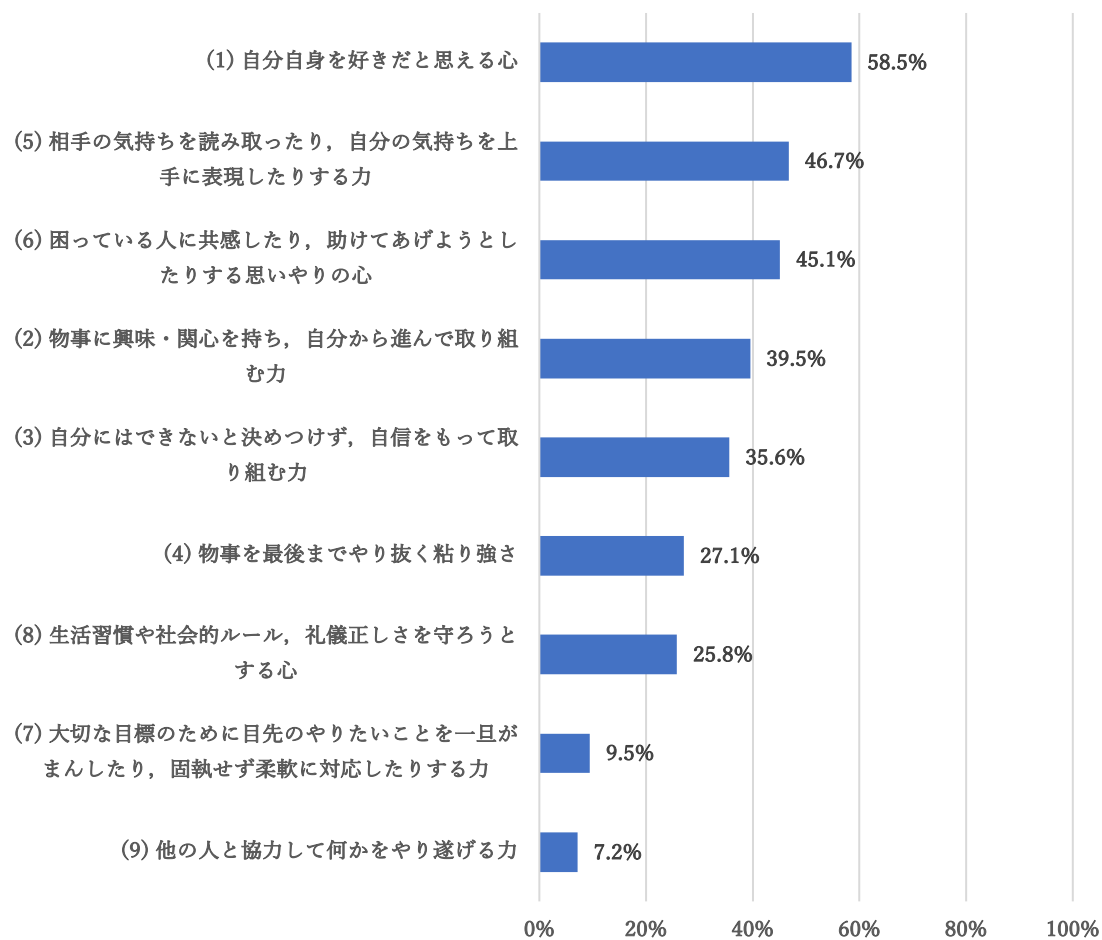


図 47. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【4 歳】

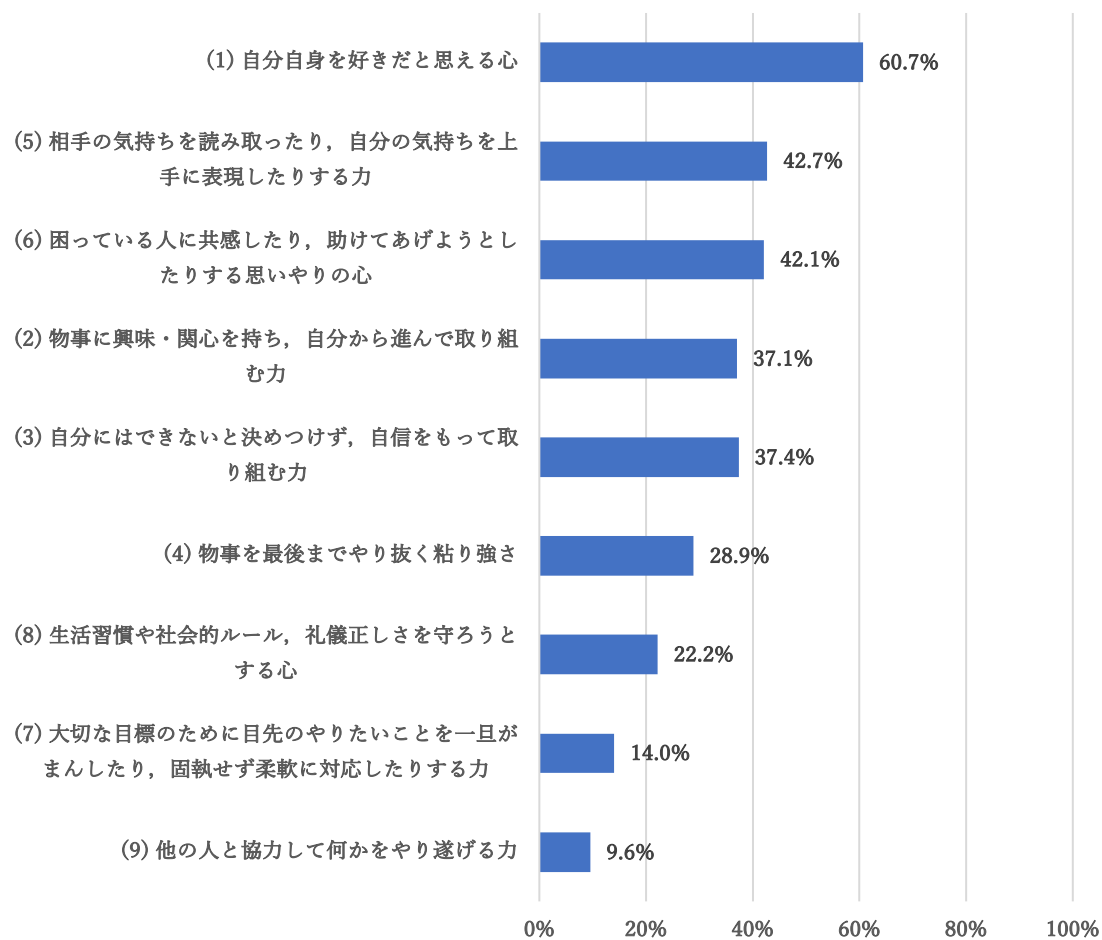


図 48. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【5 歳】

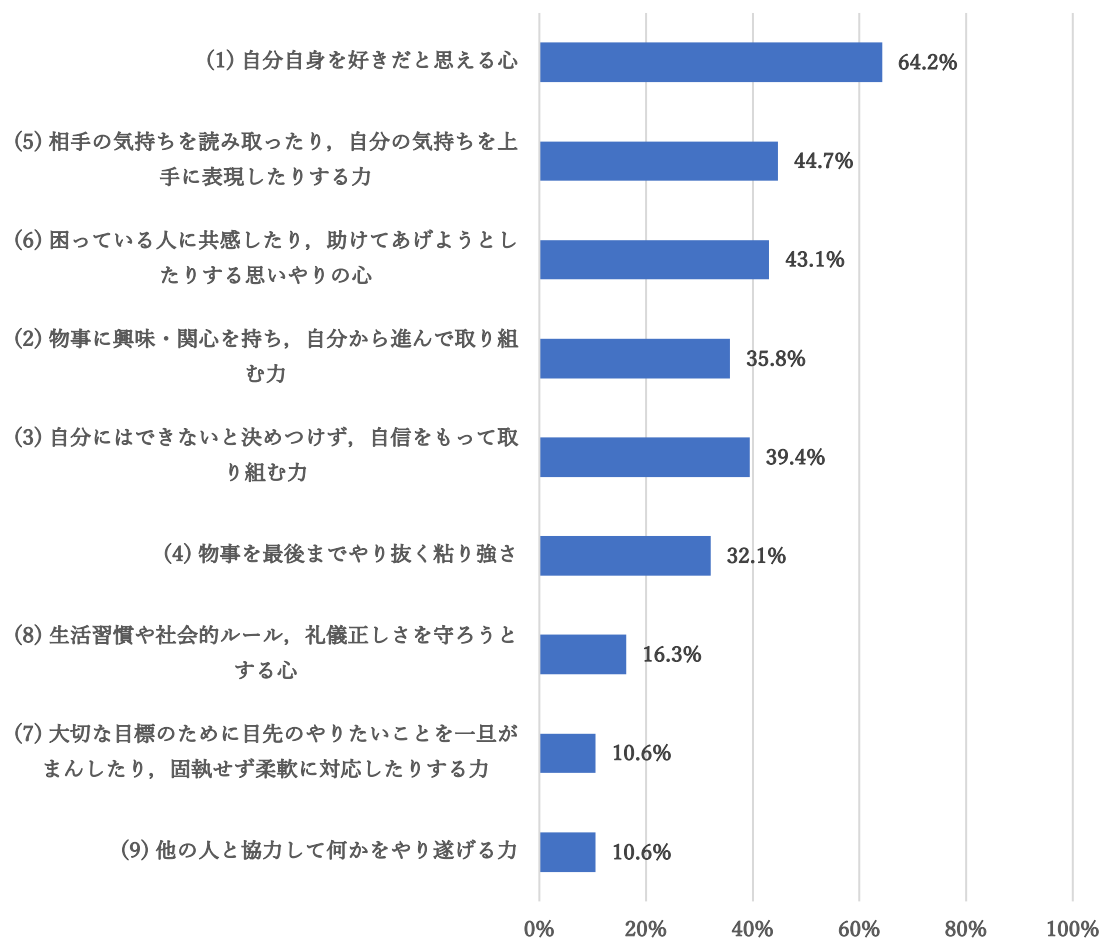


図 49. 「非認知能力」と関連する 9 つの資質・能力の中で特に大切にしたい力（選択率（%））【6 歳】

7.6. 園への期待

7.6.1. 園を選ぶ際に重視すること

Q19. お子さんを通わせる園を選ぶ際に何を重視しましたか（重視しますか）？【上位3つ】までお選びください。

園を選ぶ際に重視したこと（これから選ぶときに重視すること）についてお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 50・表 22 に示します。

「Q19. お子さんを通わせる園を選ぶ際に何を重視しましたか（重視しますか）？【上位3つ】までお選びください。」への回答で「1. 重視した・重視する」と回答した人の割合が最も多いのは、「(1) 立地の良さ（自宅や職場や駅から近い）」（72.1%）、2 番目は「(9) 園に通っている子どもたちの雰囲気の良いさ」（49.3%）、3 番目は「(8) 園や先生の方針への共感」（48.8%）でした。

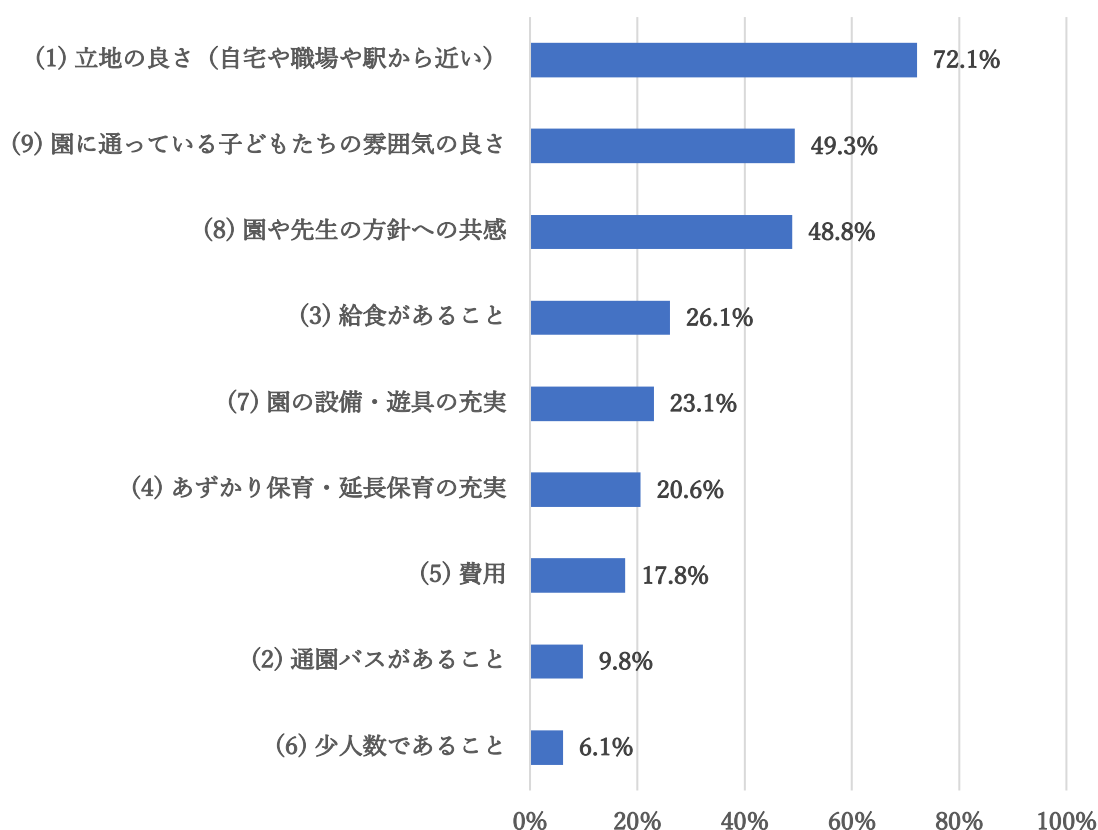


図 50. 園を選ぶ際に重視すること（選択率（%））

表 22. 園を選ぶ際に重視すること（集計値）

	選択者数	%
(1) 立地の良さ（自宅や職場や駅から近い）	1214	72.1%
(2) 通園バスがあること	165	9.8%
(3) 給食があること	439	26.1%
(4) あずかり保育・延長保育の充実	347	20.6%
(5) 費用	299	17.8%
(6) 少人数であること	103	6.1%
(7) 園の設備・遊具の充実	388	23.1%
(8) 園や先生の方針への共感	822	48.8%
(9) 園に通っている子どもたちの雰囲気の良さ	830	49.3%

注 1) お子さんを通わせる園を選ぶ際に重視したこと（これから選ぶとき重視すること）【上位 3 つ】まで選んでいただきました。

注 2) %は回答者の総数（ $N=1,683$ ）に対する選択者数の割合を示します。

7.6.2. 園の中で特に伸ばしてほしい資質・能力

Q20. お子さんのどういう力を伸ばしてくれることを期待して園を選びましたか（選びますか）？【上位5つ】までお選びください。

18の資質・能力の中で、園で伸ばしてほしい力【上位5つ】をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 51・表 23 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 52～図 58 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 51）に準じます）。

「Q20. お子さんのどういう力を伸ばしてくれることを期待して園を選びましたか（選びますか）？【上位5つ】までお選びください。」への回答で「1. 特に伸ばしてほしい」と回答した人の割合が最も多いのは、「(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力」（47.8%）、2 番目は「(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力」（43.8%）、3 番目は「(17) 生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心」（43.7%）、4 番目は「(14) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力」（42.7%）、5 番目は「(15) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心」（39.6%）でした。

お子さんの年齢別（図 52～図 58）に見ても、回答傾向はほとんど変わらず、上位5つの資質・能力は、年齢によらず、「1. 特に伸ばしてほしい」と選択した人の割合が多く見られました。

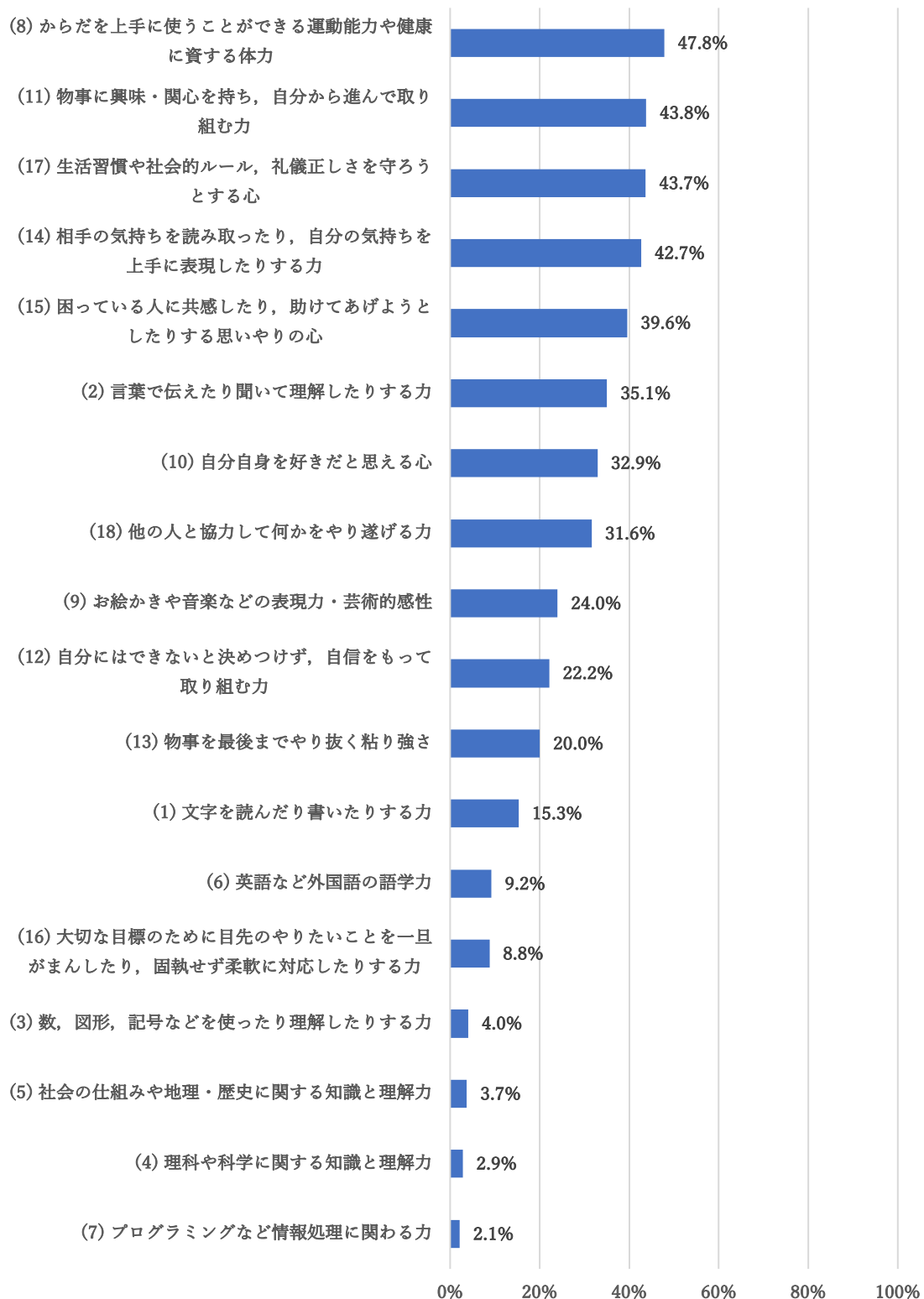


図 51. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））

表 23. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（集計値）

	選択者 数	%
(1) 文字を読んだり書いたりする力	257	15.3%
(2) 言葉で伝えたり聞いて理解したりする力	590	35.1%
(3) 数、図形、記号などを使ったり理解したりする力	68	4.0%
(4) 理科や科学に関する知識と理解力	48	2.9%
(5) 社会の仕組みや地理・歴史に関する知識と理解力	63	3.7%
(6) 英語など外国語の語学力	155	9.2%
(7) プログラミングなど情報処理に関わる力	36	2.1%
(8) からだを上手に使うことができる運動能力や健康に資する体力	805	47.8%
(9) お絵かきや音楽などの表現力・芸術的感性	404	24.0%
(10) 自分自身を好きだと思える心	554	32.9%
(11) 物事に興味・関心を持ち、自分から進んで取り組む力	737	43.8%
(12) 自分にはできないと決めつけず、自信をもって取り組む力	373	22.2%
(13) 物事を最後までやり抜く粘り強さ	337	20.0%
(14) 相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力	718	42.7%
(15) 困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心	666	39.6%
(16) 大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力	148	8.8%
(17) 生活習慣や社会的ルール、礼儀正しさを守ろうとする心	735	43.7%
(18) 他の人と協力して何かをやり遂げる力	532	31.6%

注 1) お子さんのどういう力を伸ばしてくれることを期待して園を選んだ（これから選ぶ）か、特に伸ばしてほしい力【上位 5 つ】まで選んでいただきました。

注 2) %は回答者の総数（ $N=1,683$ ）に対する選択者数の割合を示します。

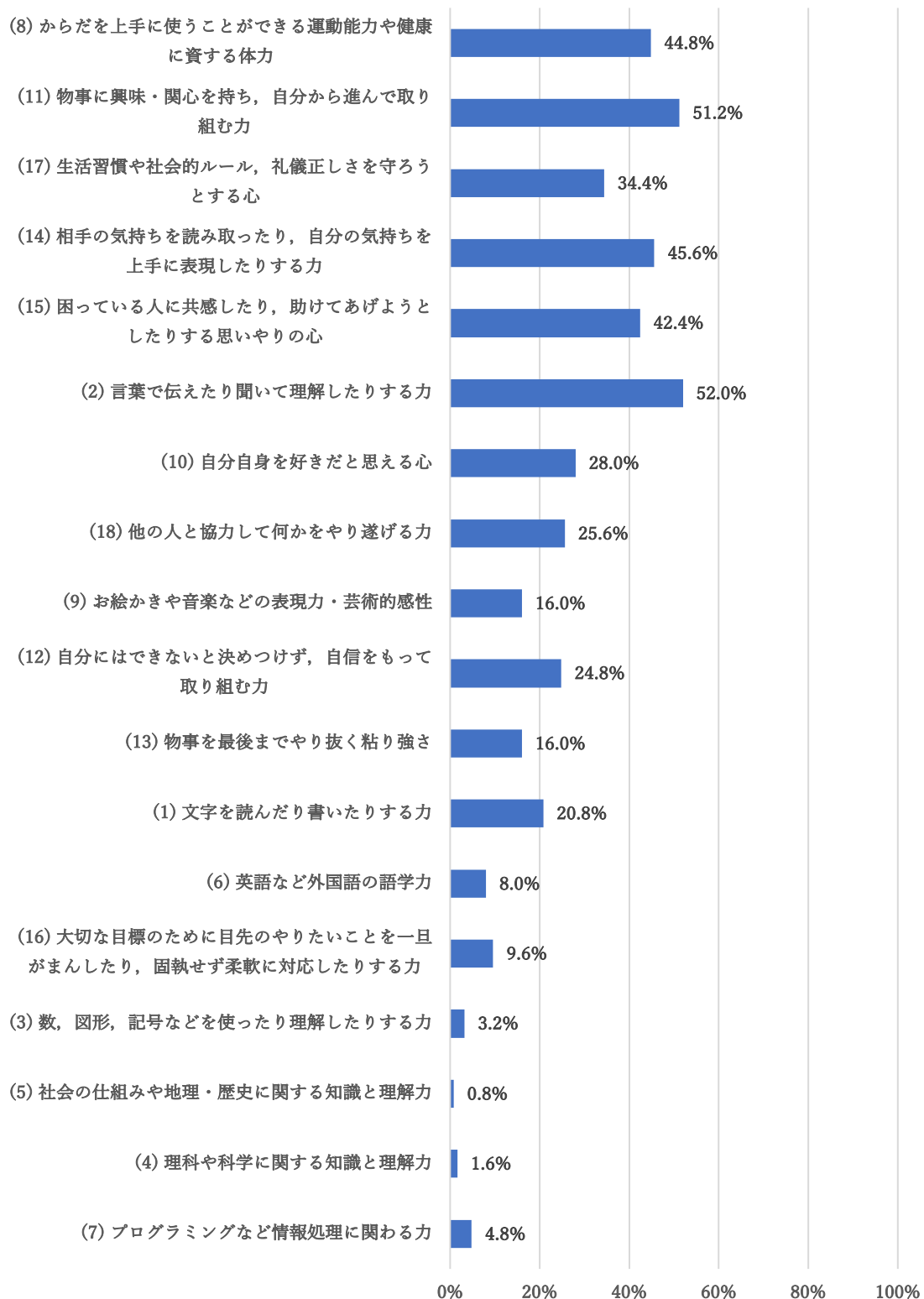


図 52.18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【0 歳】

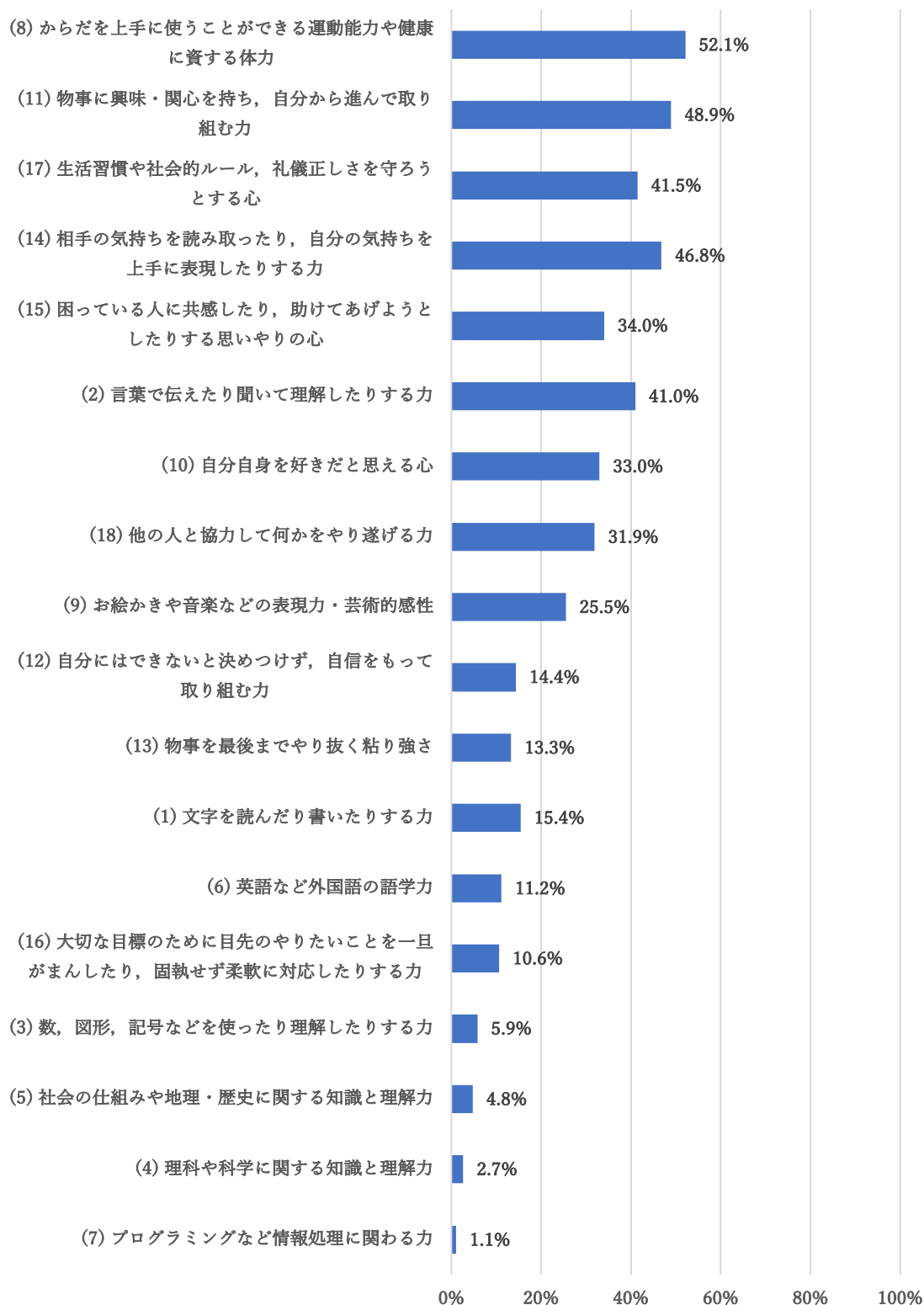


図 53. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【1 歳】

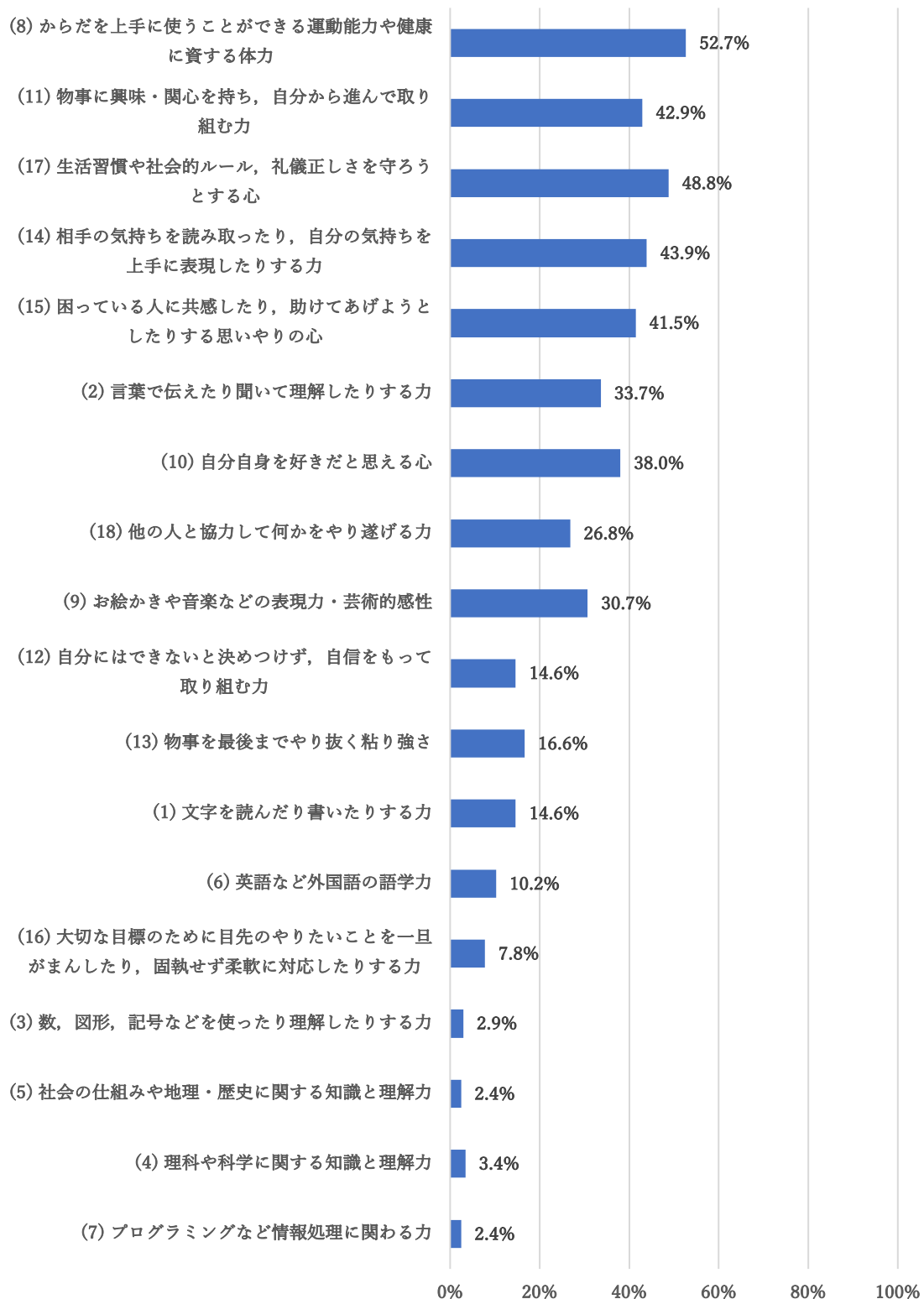


図 54. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【2 歳】

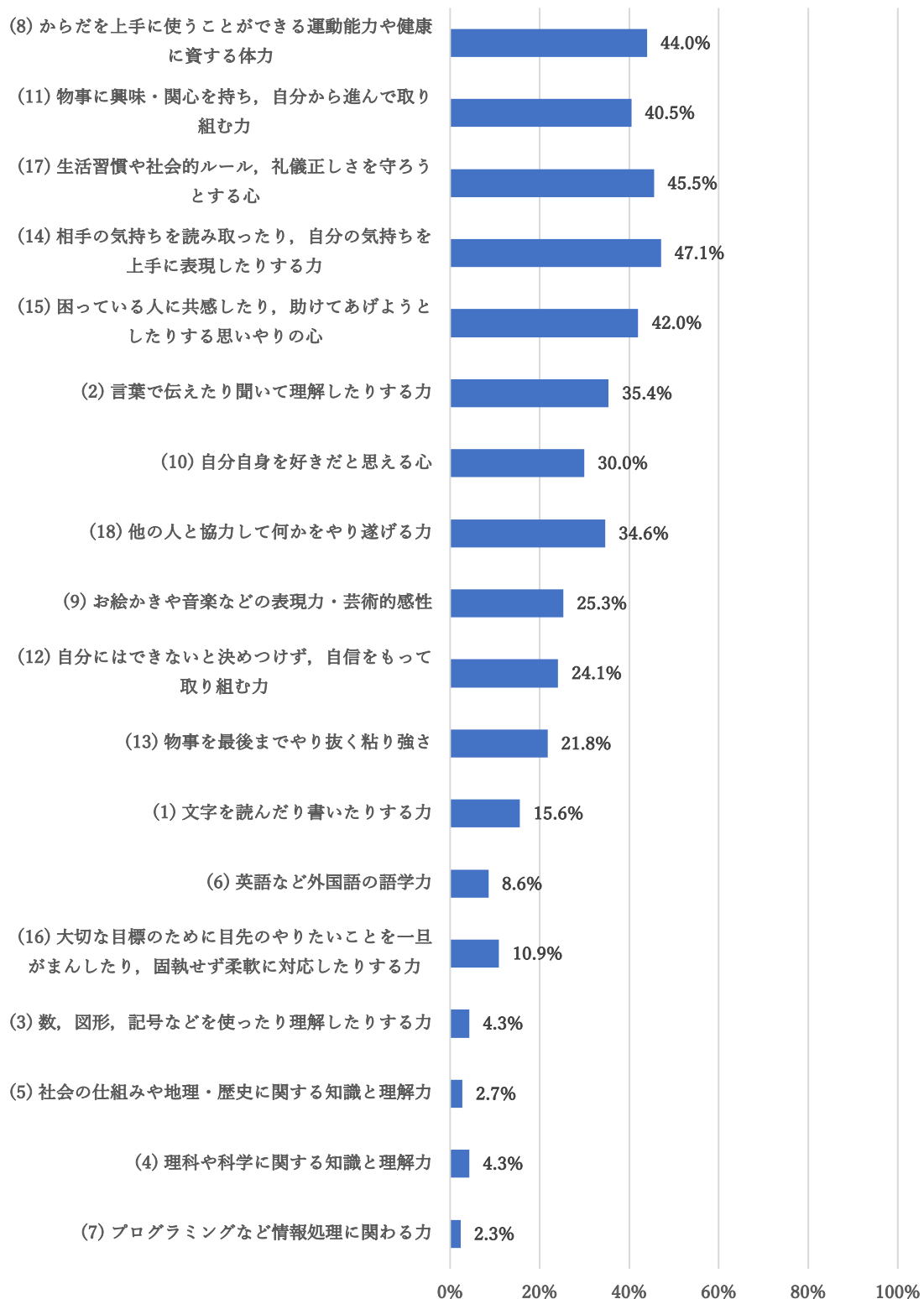


図 55.18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【3 歳】

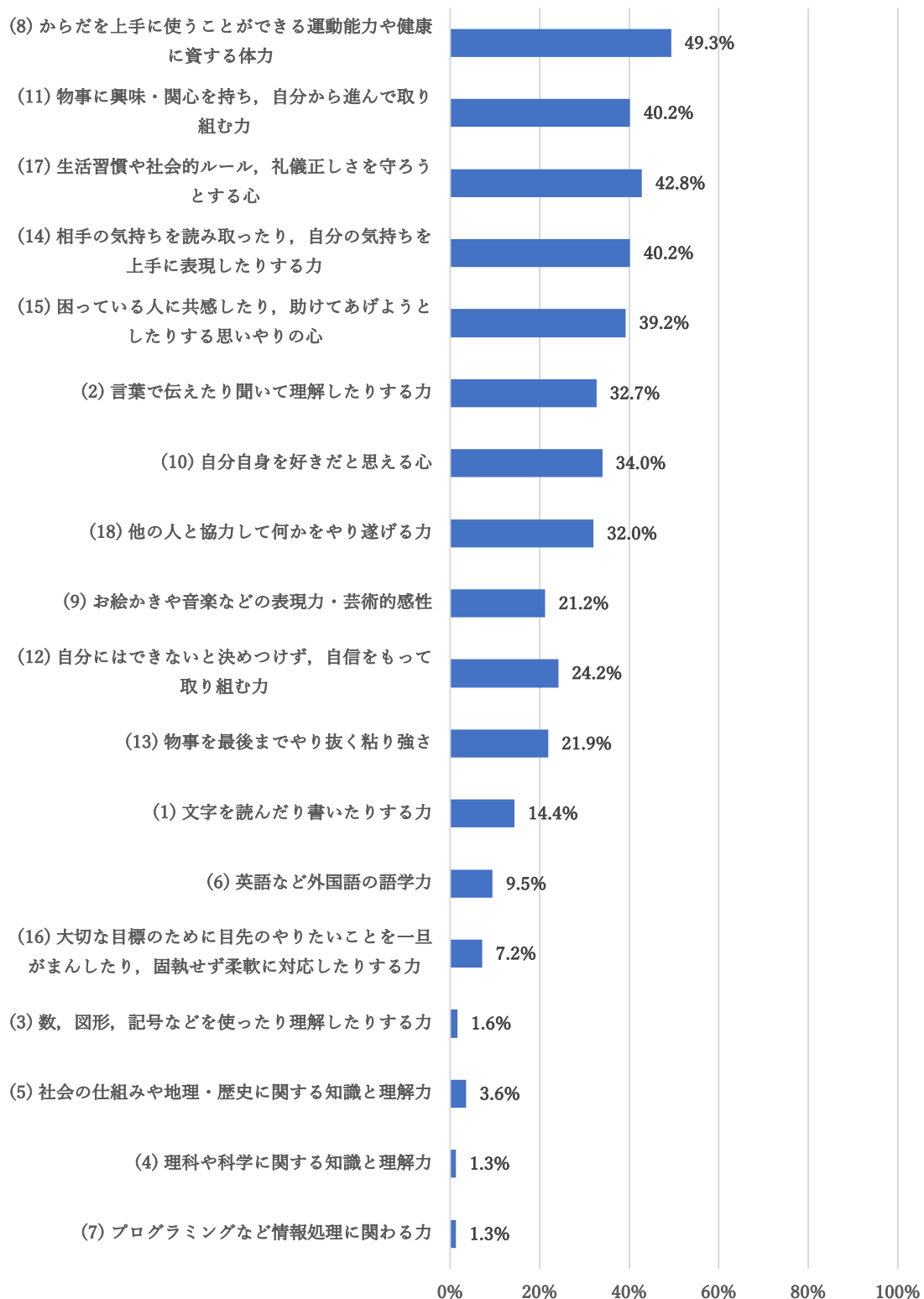


図 56. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【4 歳】

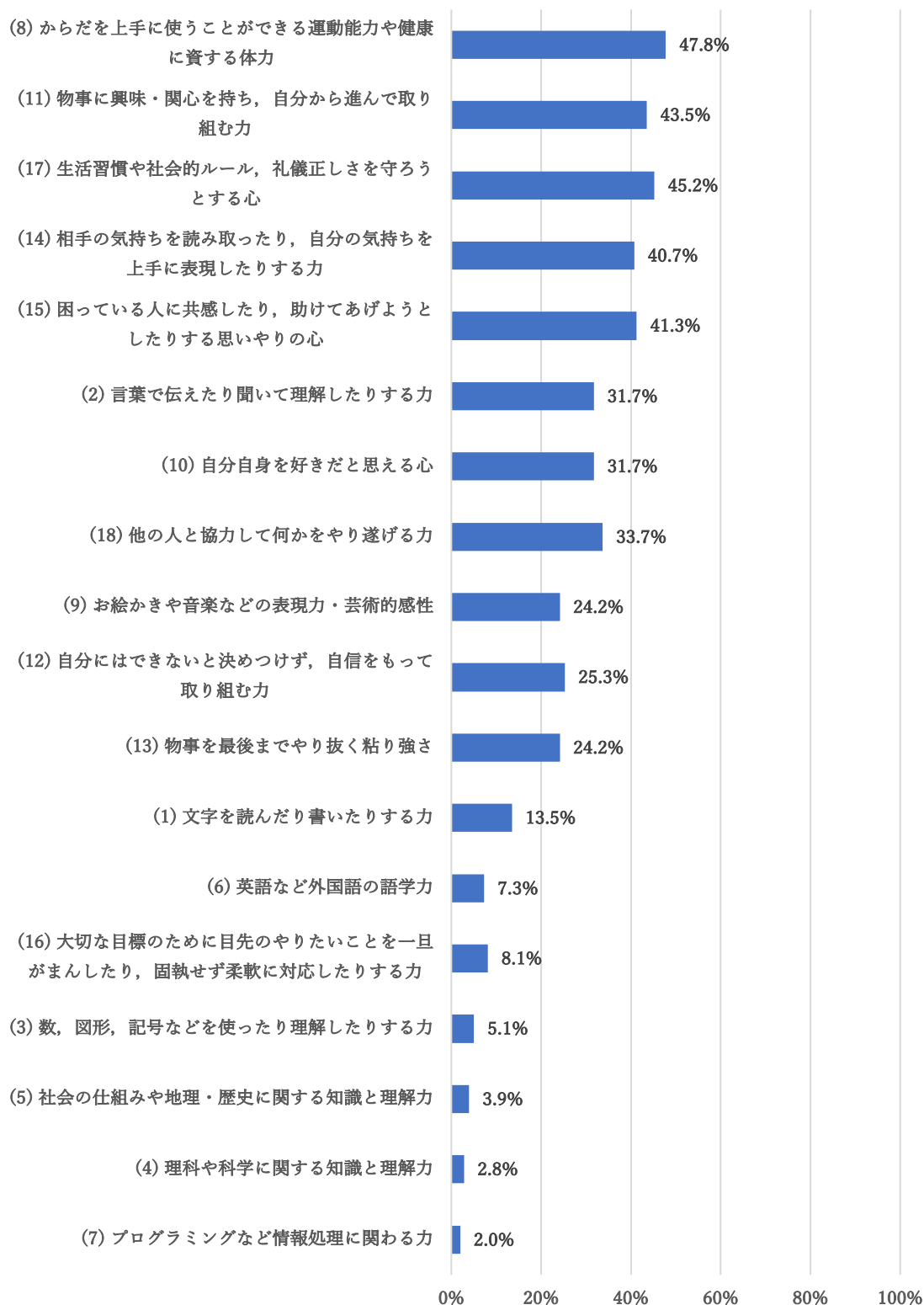


図 57. 18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【5 歳】

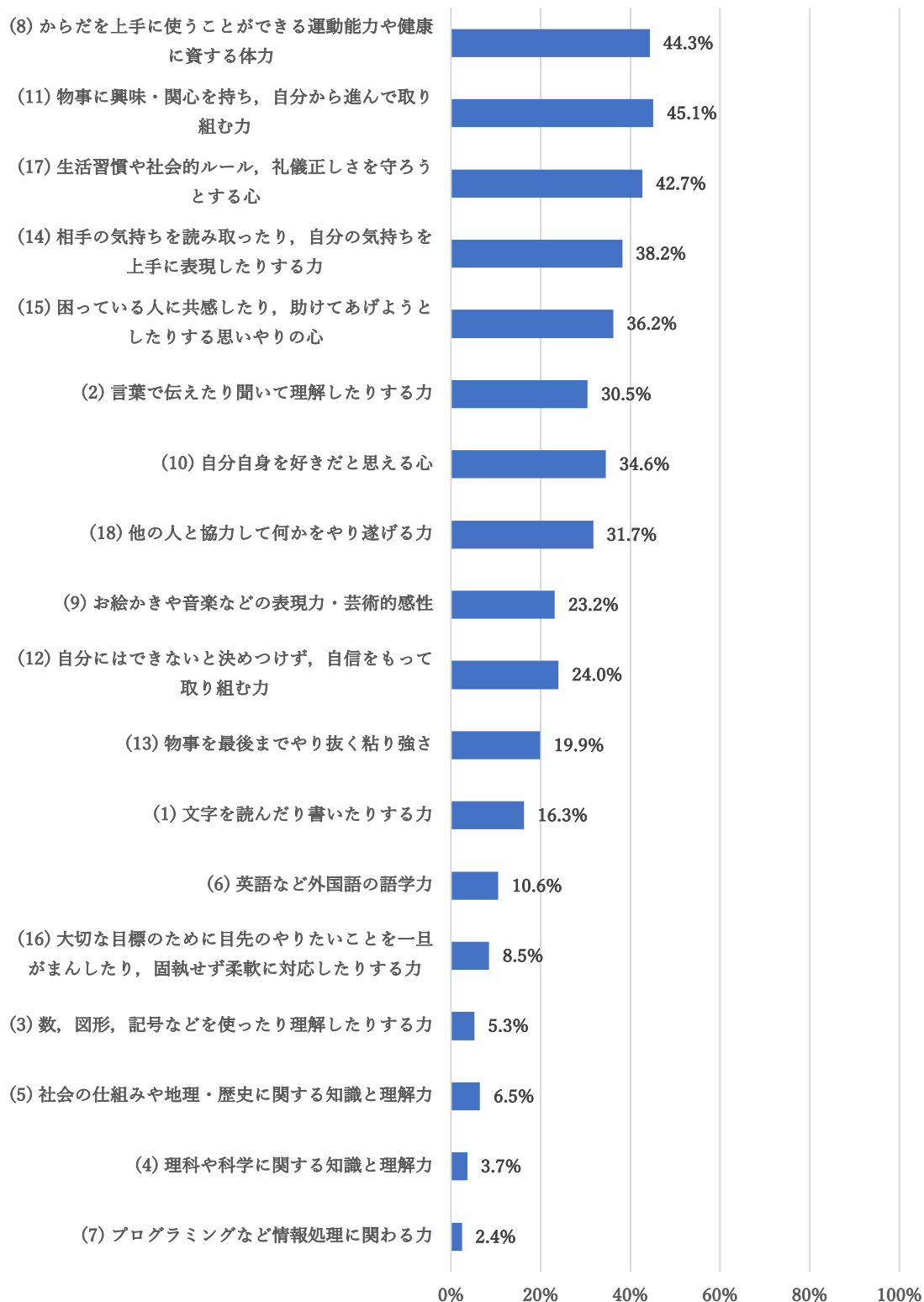


図 58.18 の資質・能力のうち園の中で特に伸ばしてほしい力（選択率（％））【6 歳】

7.7. 個々の「非認知能力」の重視度・プログラムや教材へのニーズ

「非認知能力」に含まれる資質・能力のうち、(1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）、(2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず、自信をもって物事に取り組む力）、(3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力）、(4)向社会性（困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心）、(5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力）の5つについて、それぞれの①重視度、②その力を伸ばすためのご家庭での働きかけや工夫の有無、③（働きかけや工夫をしている場合）具体的な内容、④こうした力を伸ばす取り組みが園で行われることへの期待、⑤（園に期待しない場合）その理由、⑥その力の育成をサポートする教材やプログラムに対するニーズ、⑦（教材やプログラムを利用したいと思わない場合）その理由についてお尋ねしました。

● 特に取り上げた5つの「非認知能力」

- (1) 内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）
- (2) 自己効力感（自分にはできないと決めつけず、自信をもって物事に取り組む力）
- (3) 感情知性（相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力）
- (4) 向社会性（困っている人に共感したり、助けてあげようとしたりする思いやりの心）
- (5) セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり、固執せず柔軟に対応したりする力）

以下では、この5つの「非認知能力」の(1)重視度、(2)ご家庭での働きかけや工夫、(3)園への期待、(4)教材やプログラムに対するニーズについての回答の集計結果をご報告します。

7.7.1. 5つの「非認知能力」の重視度

Q21～25-1. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？

5つの「非認知能力」について、それぞれの力をどのくらい大切だと感じるか、お尋ねしました。回答者全体の集計結果を図 59・表 24 に示します。

「Q21～25-1. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？」への回答として、いずれも、「5. とても大切だと思う」を選択した人が最も多く（(5)セルフコントロール 50.6%～(1)感情知性 79.6%），次いで「4. やや大切だと思う」（(1)感情知性 14.2%～(5)セルフコントロール 34.9%）を選択した人が多いという結果でした。

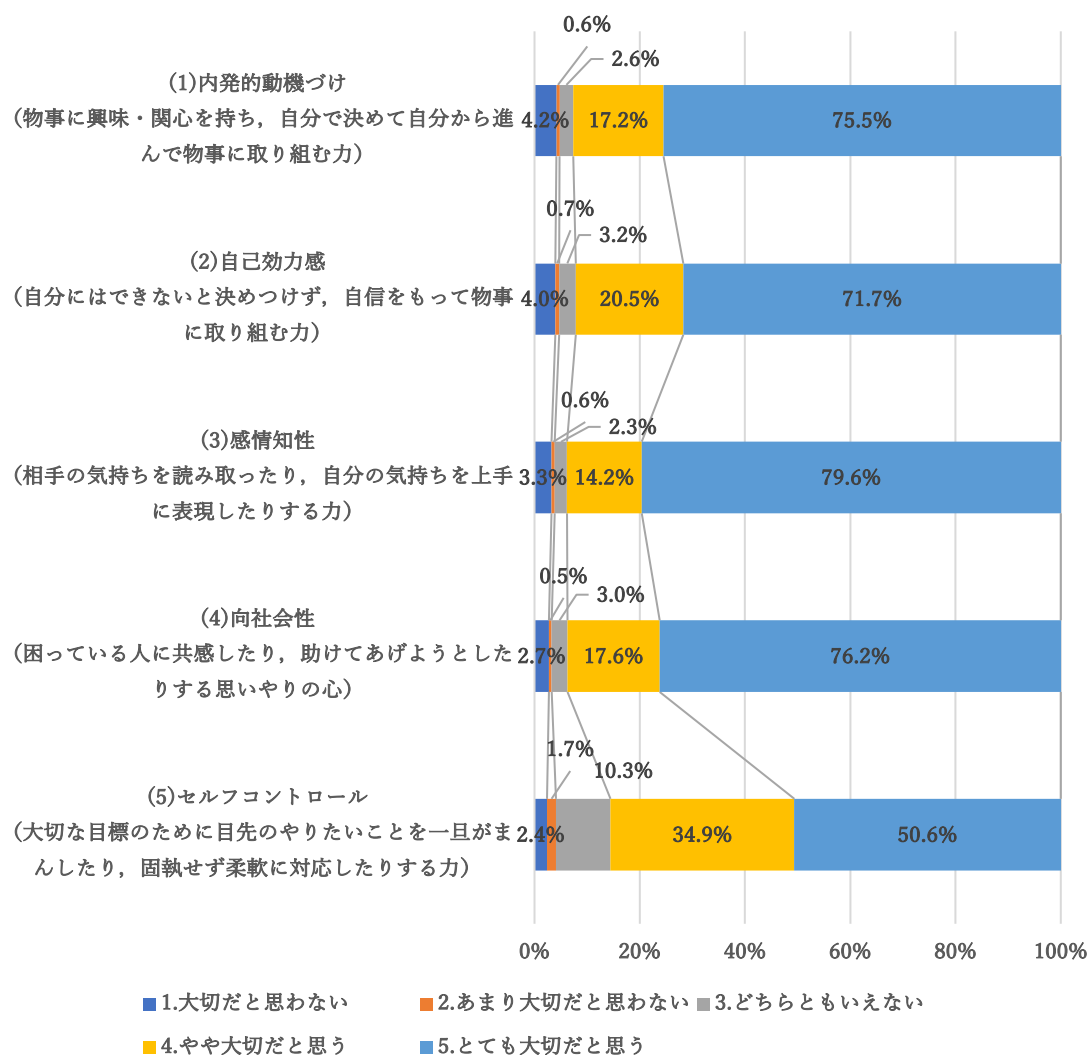


図 59. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？ (%)

表 24. お子さんにとって、この力はどのくらい大切だと感じますか？（集計値）

		1. 大切 だと思 わない	2. あま り大切 だと思 わない	3. どち らとも いえな い	4. やや 大切だ と思う	5. とて も大切 だと思 う	計
(1)内発的動機づけ	回答数	70	10	44	289	1270	1683
	%	4.2%	0.6%	2.6%	17.2%	75.5%	100%
(2)自己効力感	回答数	67	11	54	345	1206	1683
	%	4.0%	0.7%	3.2%	20.5%	71.7%	100%
(3)感情知性	回答数	55	10	39	239	1340	1683
	%	3.3%	0.6%	2.3%	14.2%	79.6%	100%
(4)向社会性	回答数	46	9	50	296	1282	1683
	%	2.7%	0.5%	3.0%	17.6%	76.2%	100%
(5)セルフコントロール	回答数	40	29	174	588	852	1683
	%	2.4%	1.7%	10.3%	34.9%	50.6%	100%

7.7.2. ご家庭での働きかけや工夫

Q21～25-2. お子さんのこうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭で
されていますか？

5つの「非認知能力」について、それぞれの力を伸ばすための働きかけや工夫をご家庭でしているか、お尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 60・表 25 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 61～図 65 に示します。

「Q21～25-2. お子さんのこうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？」への回答として「1.している」と選択した人の割合が最も多いのは、「(3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力）」（48.8%）、2番目は「(1) 内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）」（44.5%）、3番目は「(2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず、自信をもって物事に取り組む力）」（43.7%）でした。

お子さんの年齢別に見ると、いずれの力についても、0歳から2・3歳にかけて、お子さんの年齢が上がるにつれ具体的な働きかけや工夫を「1.している」と選択した人の割合が増加していました。3歳以降も、(1) 内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）を除き、お子さんの年齢が上がると緩やかに「1.している」と選択した人の割合が増加する傾向が見られました（図 61～図 65）。

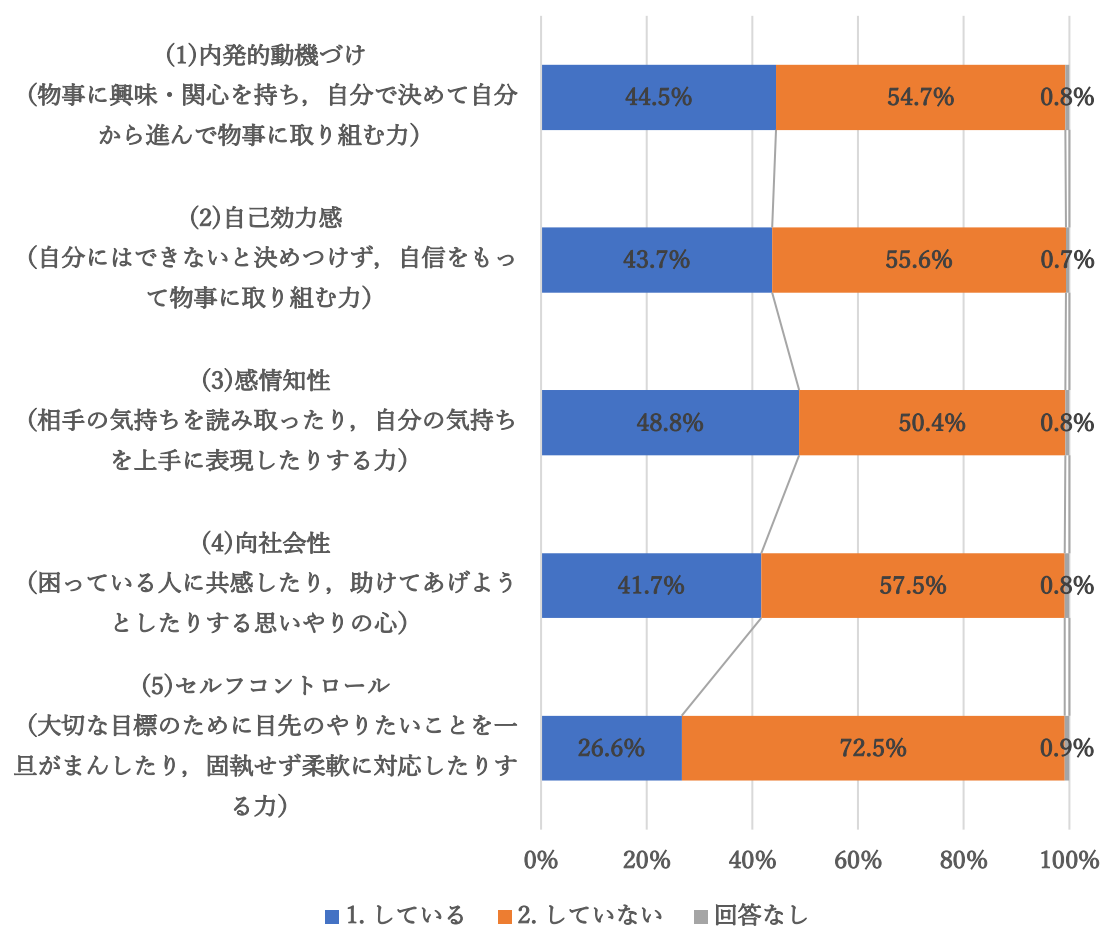


図 60. こうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？
(%)

表 25. こうした力を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（集計値）

		1. している	2. していない	回答なし	計
(1)内発的動機づけ	回答数	749	921	13	1683
	%	44.5%	54.7%	0.8%	100%
(2)自己効力感	回答数	736	936	11	1683
	%	43.7%	55.6%	0.7%	100%
(3)感情知性	回答数	822	848	13	1683
	%	48.8%	50.4%	0.8%	100%
(4)向社会性	回答数	701	968	14	1683
	%	41.7%	57.5%	0.8%	100%
(5)セルフコントロール	回答数	448	1220	15	1683
	%	26.6%	72.5%	0.9%	100%

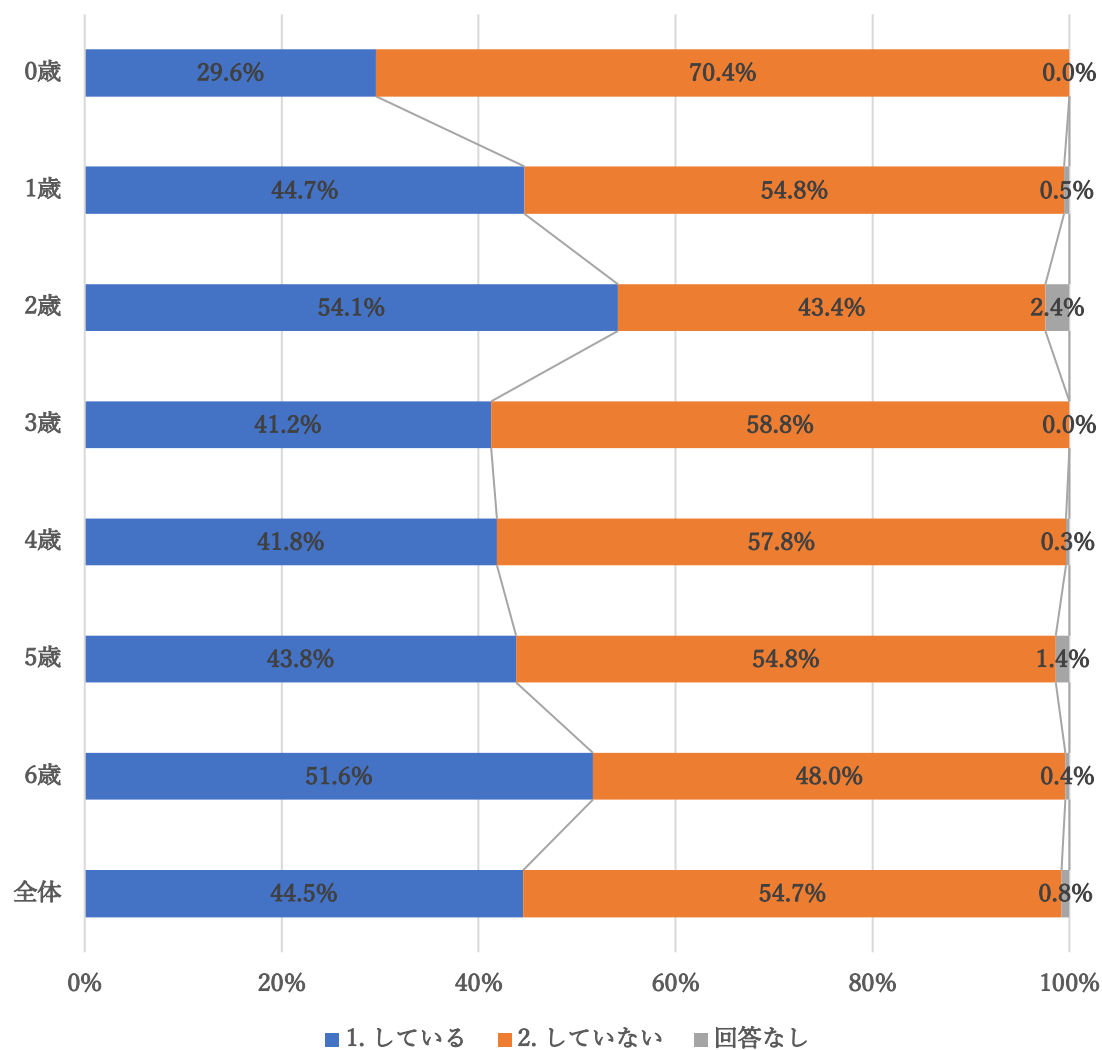


図 61. (1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち，自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）
【年齢別】

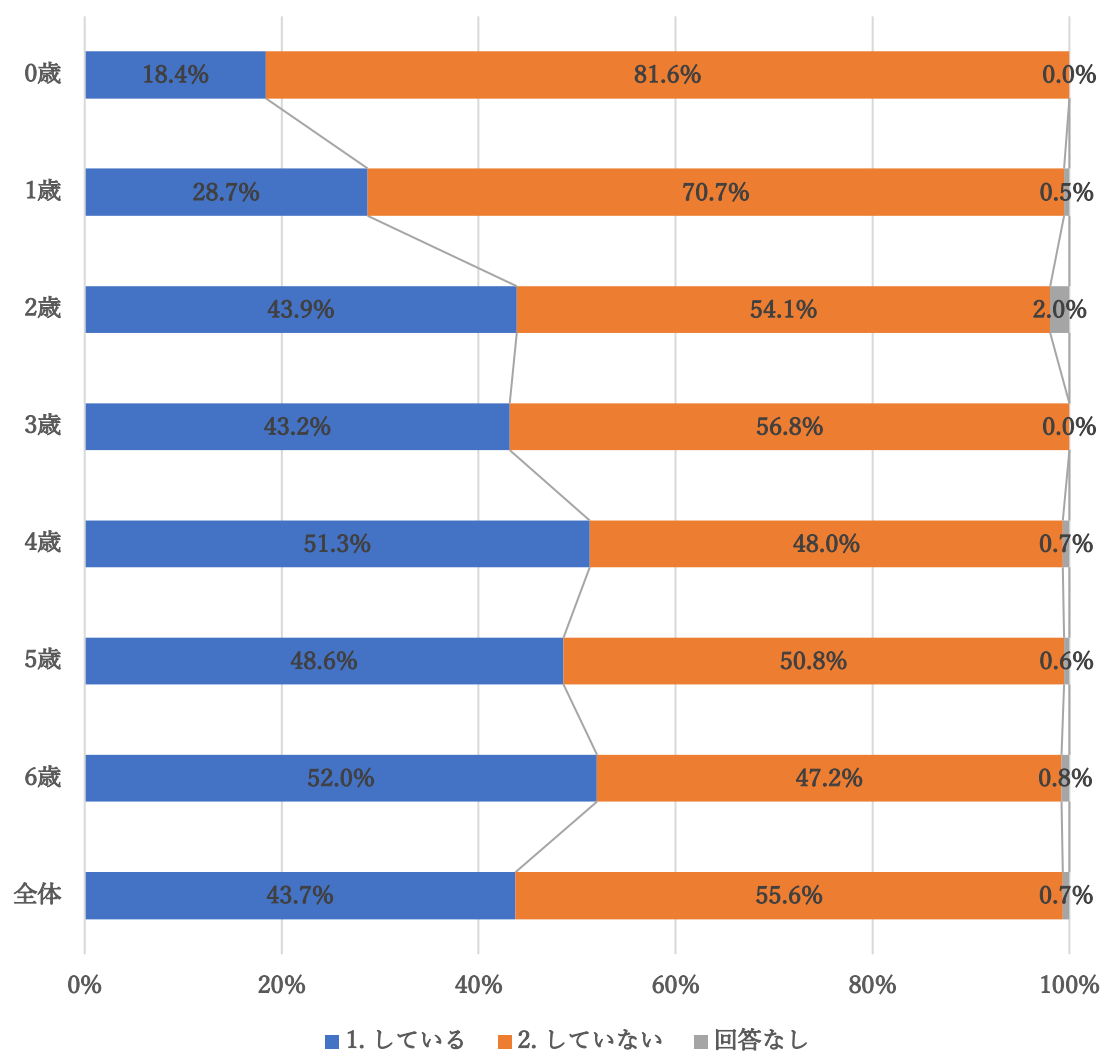


図 62. (2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず，自信をもって物事に取り組む力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】

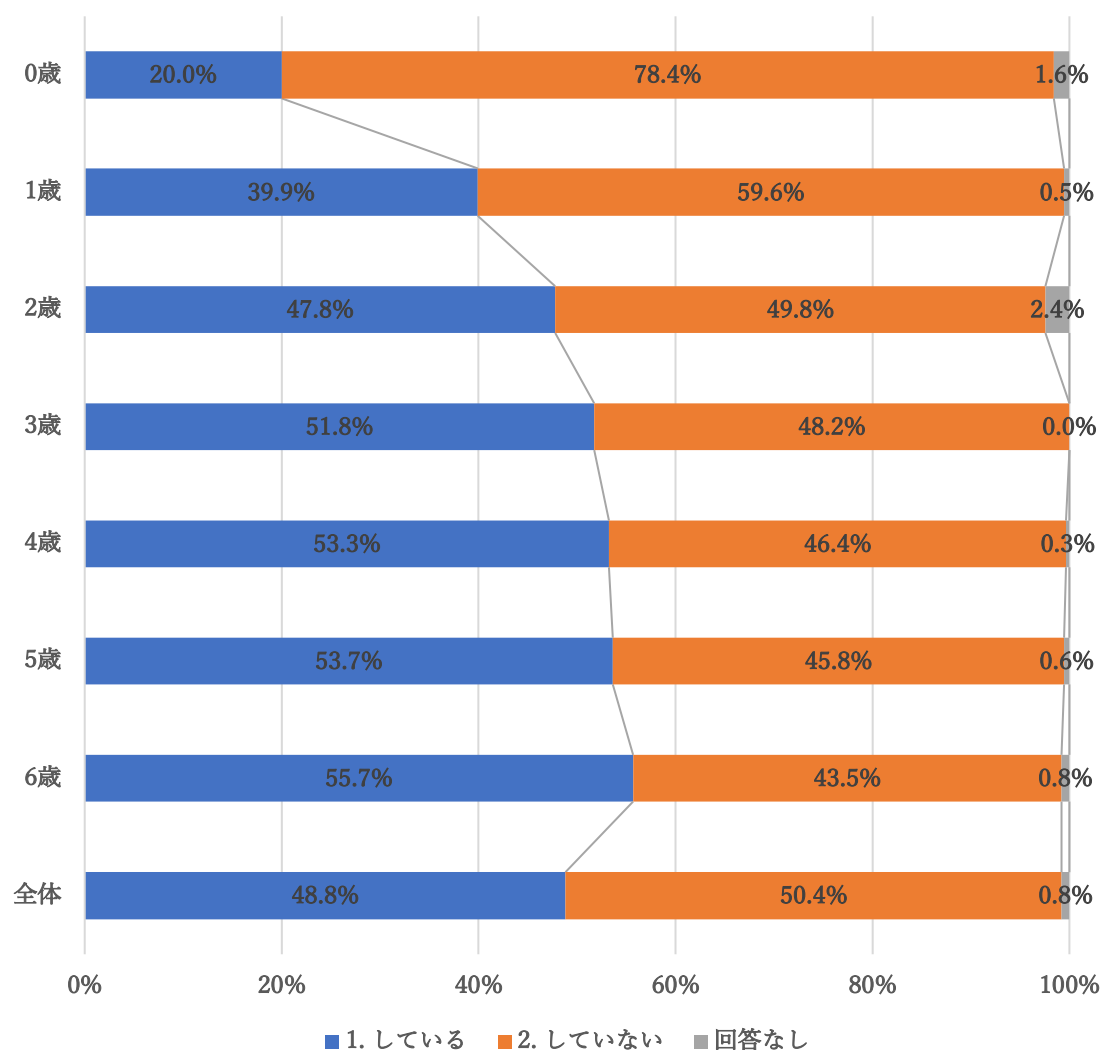


図 63. (3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】

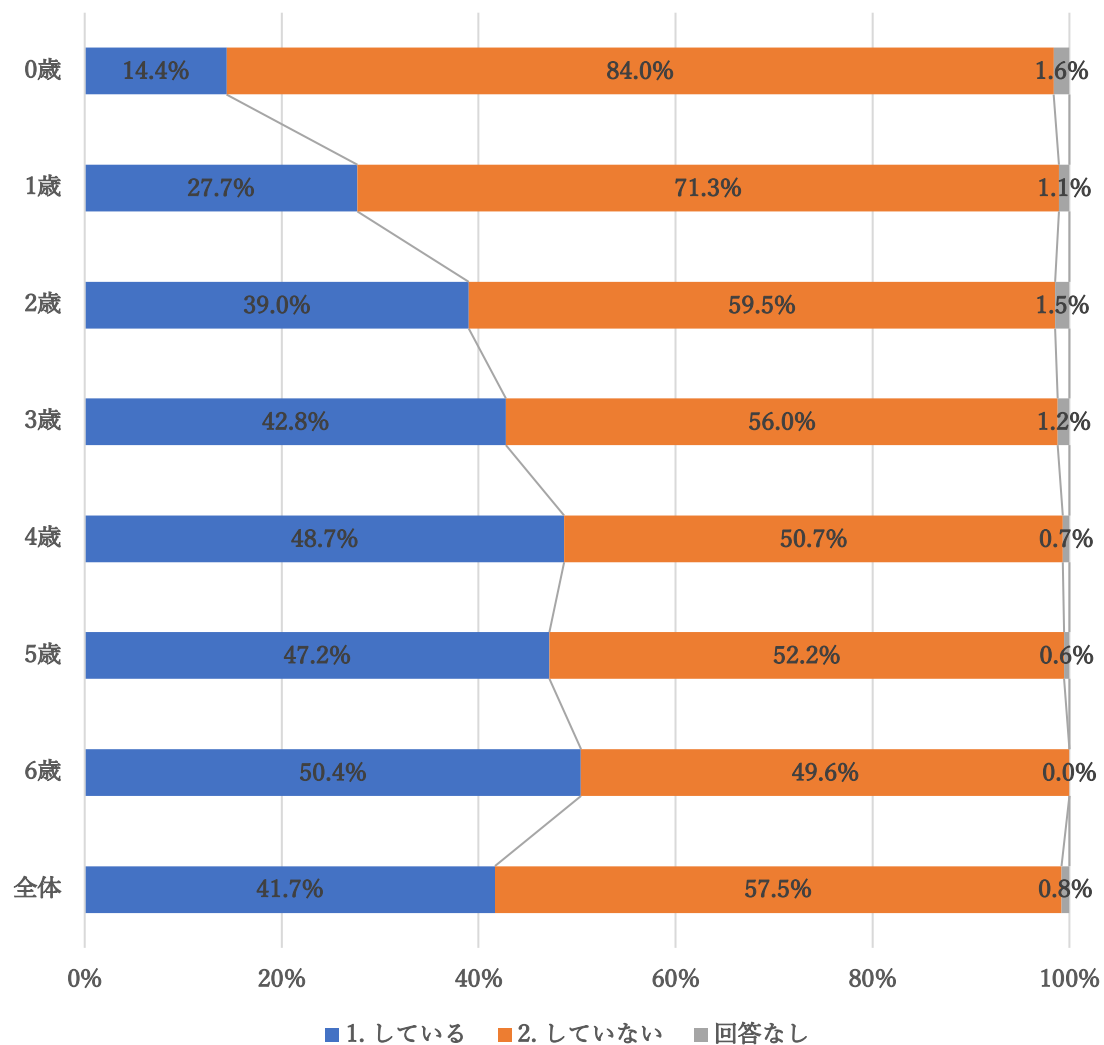


図 64. (4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】

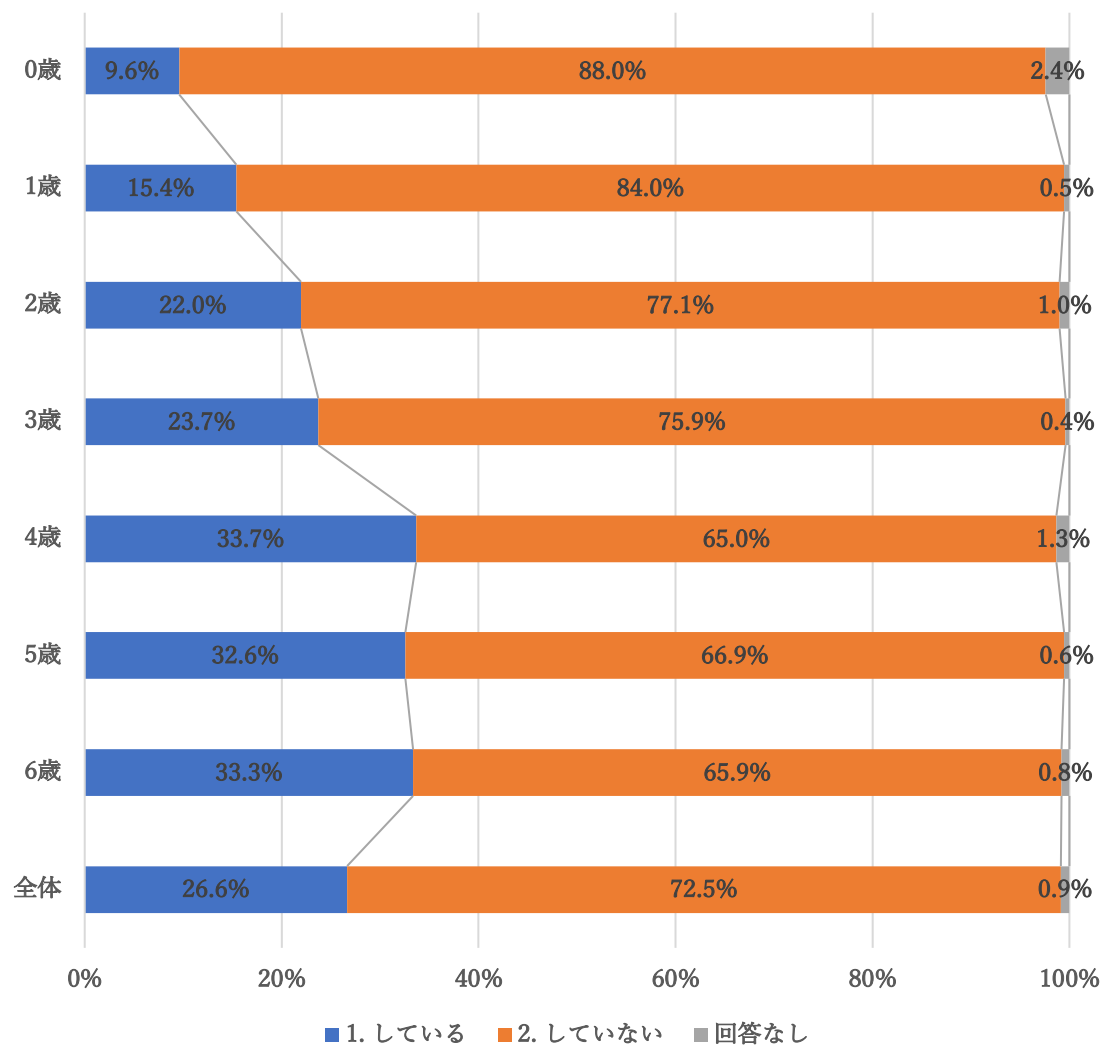


図 65. (5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力）を育むための具体的な働きかけや工夫をご家庭でされていますか？（％）【年齢別】

7.7.3. 園への期待

Q21～Q25_4. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？

5つの「非認知能力」について、それぞれの力を伸ばすための取り組みが園で行われることを期待するか、お尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 66・表 26 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 67～図 71 に示します。

「Q21～Q25_4. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？」への回答として、いずれの力についても、「1.期待する」と選択した人の割合が80%以上を占め、「1.期待する」と選択した人の割合が最も多いのは、「(1) 内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）」（95.2%）と「(3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力）」（95.2%），次いで「(2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず、自信をもって物事に取り組む力）」（94.1%）と「(4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）」（94.1%）でした。

お子さんの年齢別に見ても，年齢によらず同様の傾向が見られました（図 67～図 71）。

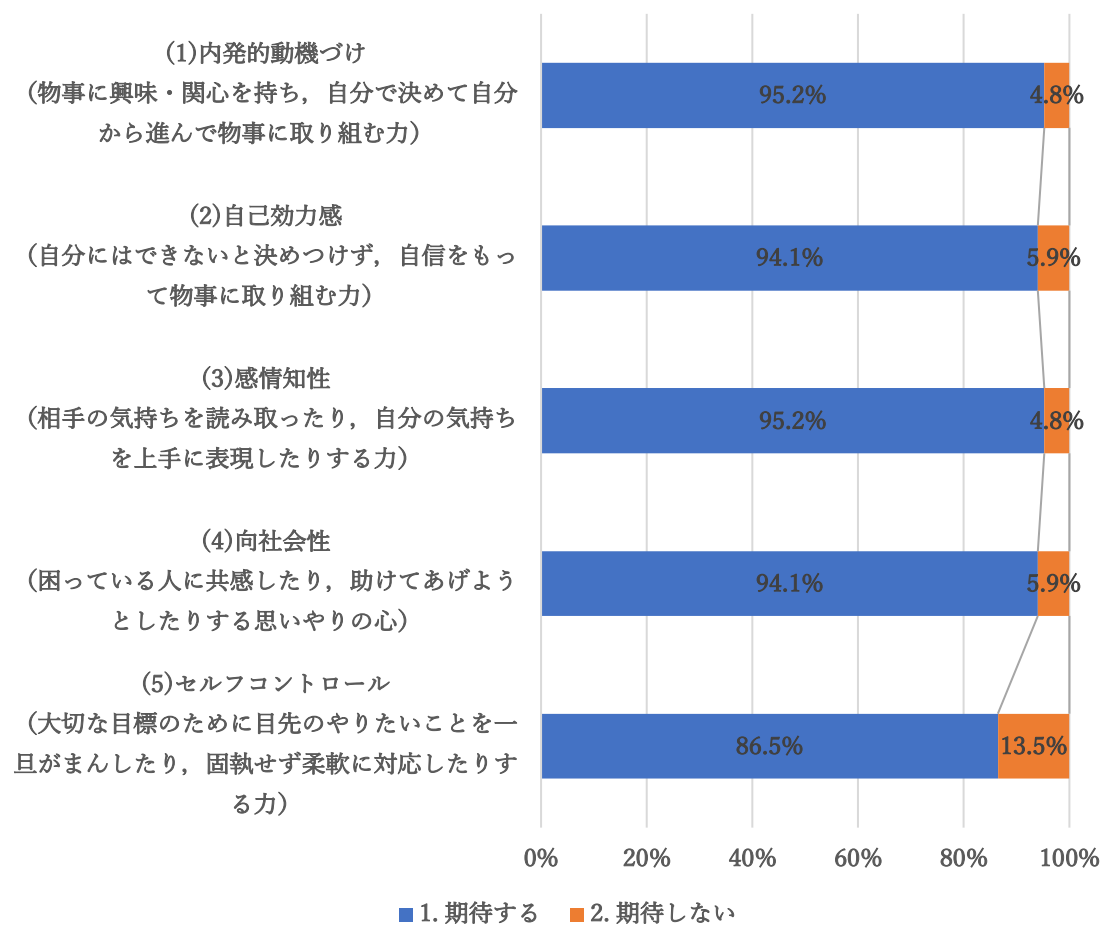


図 66. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？ (%)

表 26. こうした力を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（集計値）

		1. 期待する	2. 期待しない	計
(1)内発的動機づけ	回答数	1603	80	1683
	%	95.2%	4.8%	100%
(2)自己効力感	回答数	1583	100	1683
	%	94.1%	5.9%	100%
(3)感情知性	回答数	1603	80	1683
	%	95.2%	4.8%	100%
(4)向社会性	回答数	1583	100	1683
	%	94.1%	5.9%	100%
(5)セルフコントロール	回答数	1455	228	1683
	%	86.5%	13.5%	100%

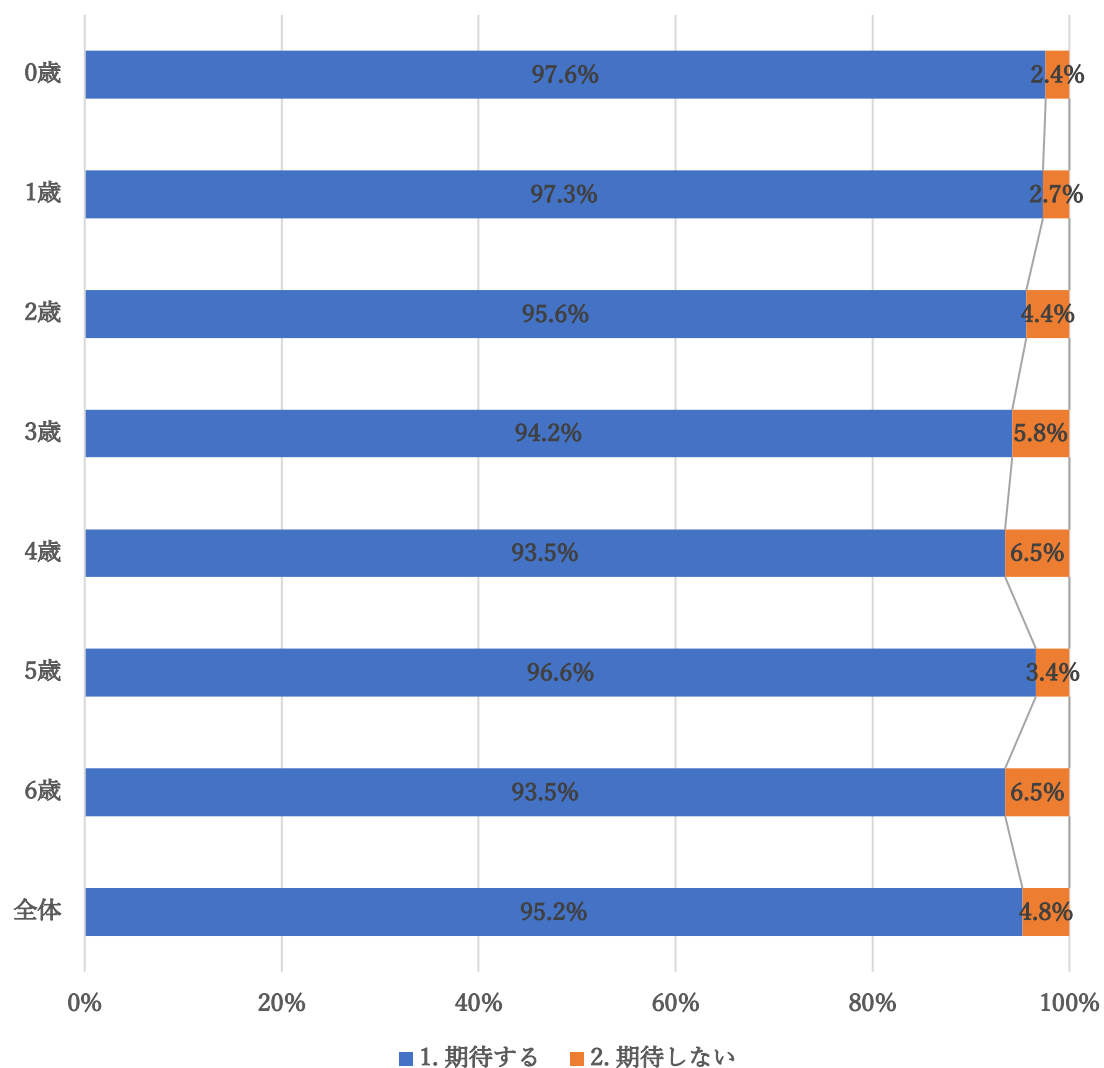


図 67. (1)内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち，自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（%）【年齢別】

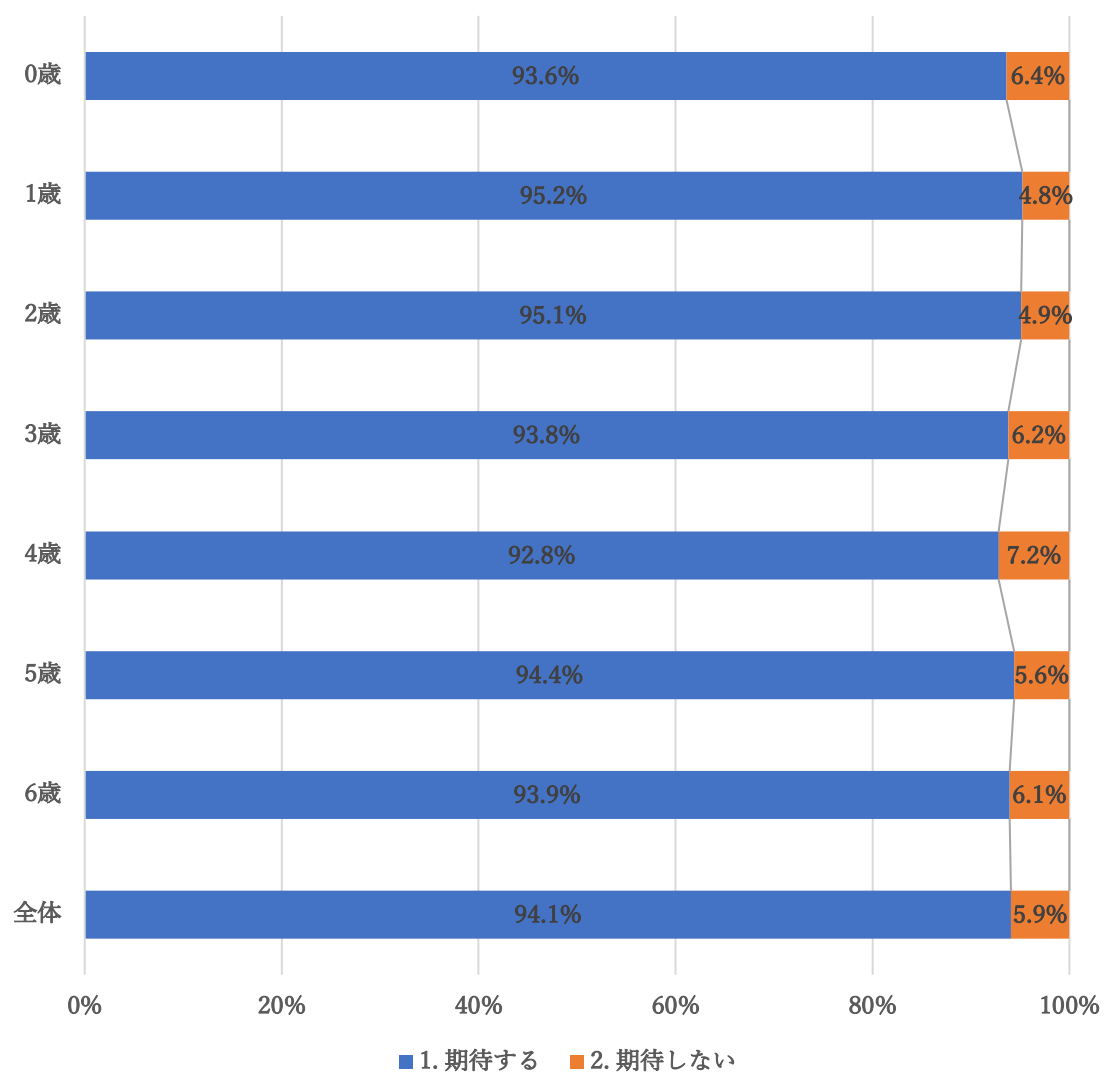


図 68. (2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず，自信をもって物事に取り組む力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（%）【年齢別】

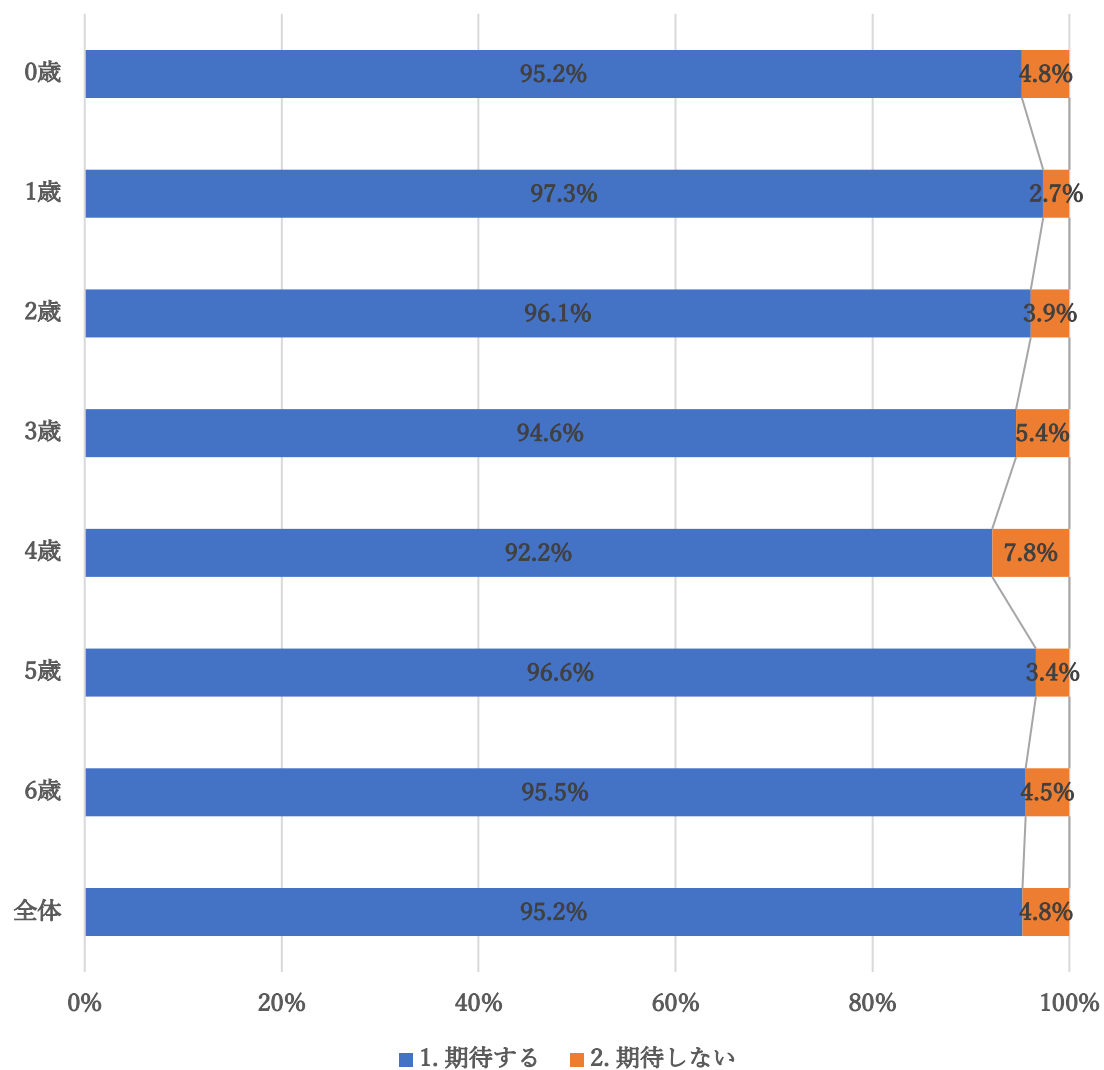


図 69. (3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり，自分の気持ちを上手に表現したりする力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】

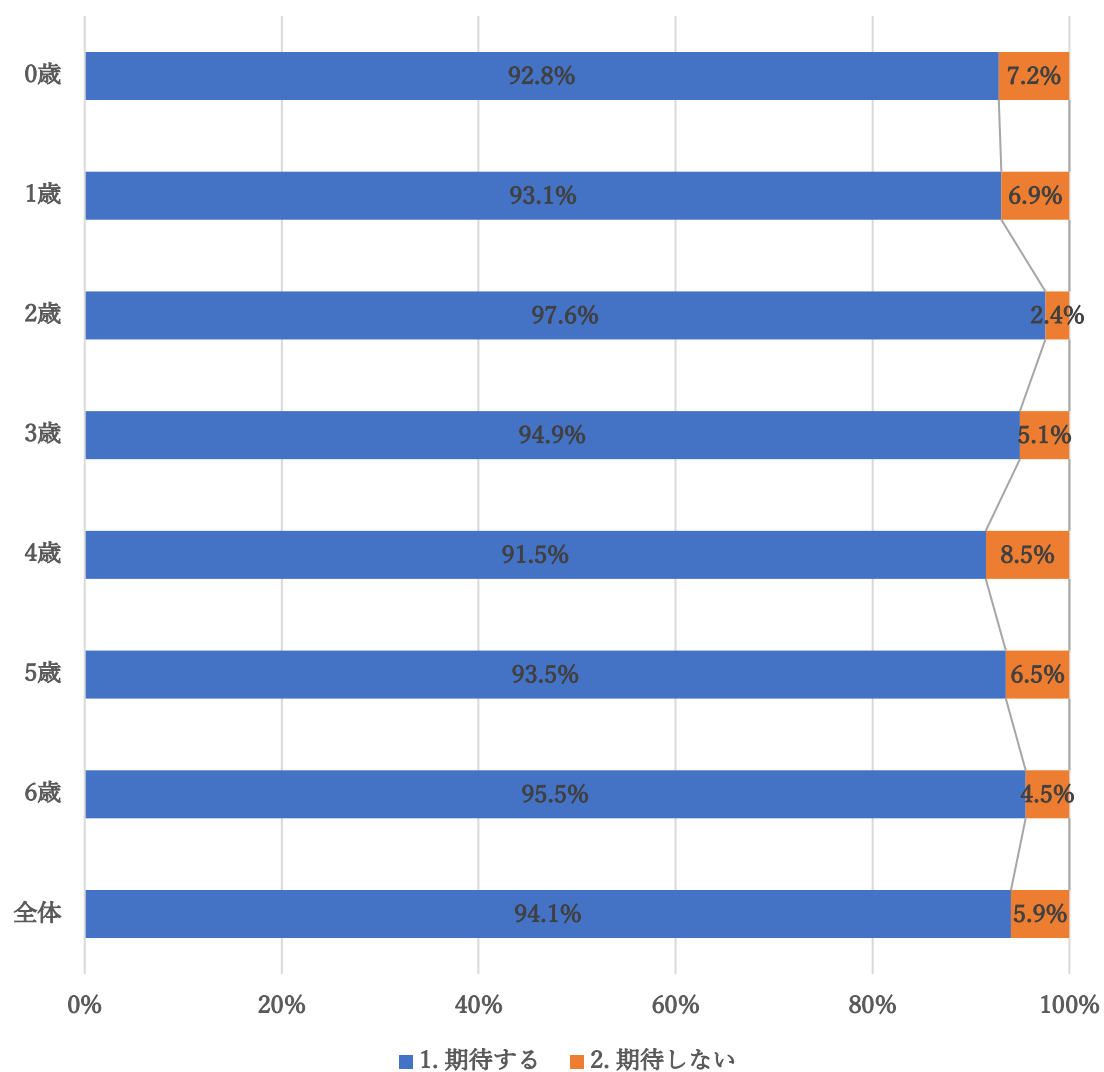


図 70. (4)向社会性（困っている人に共感したり，助けてあげようとしたりする思いやりの心）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】

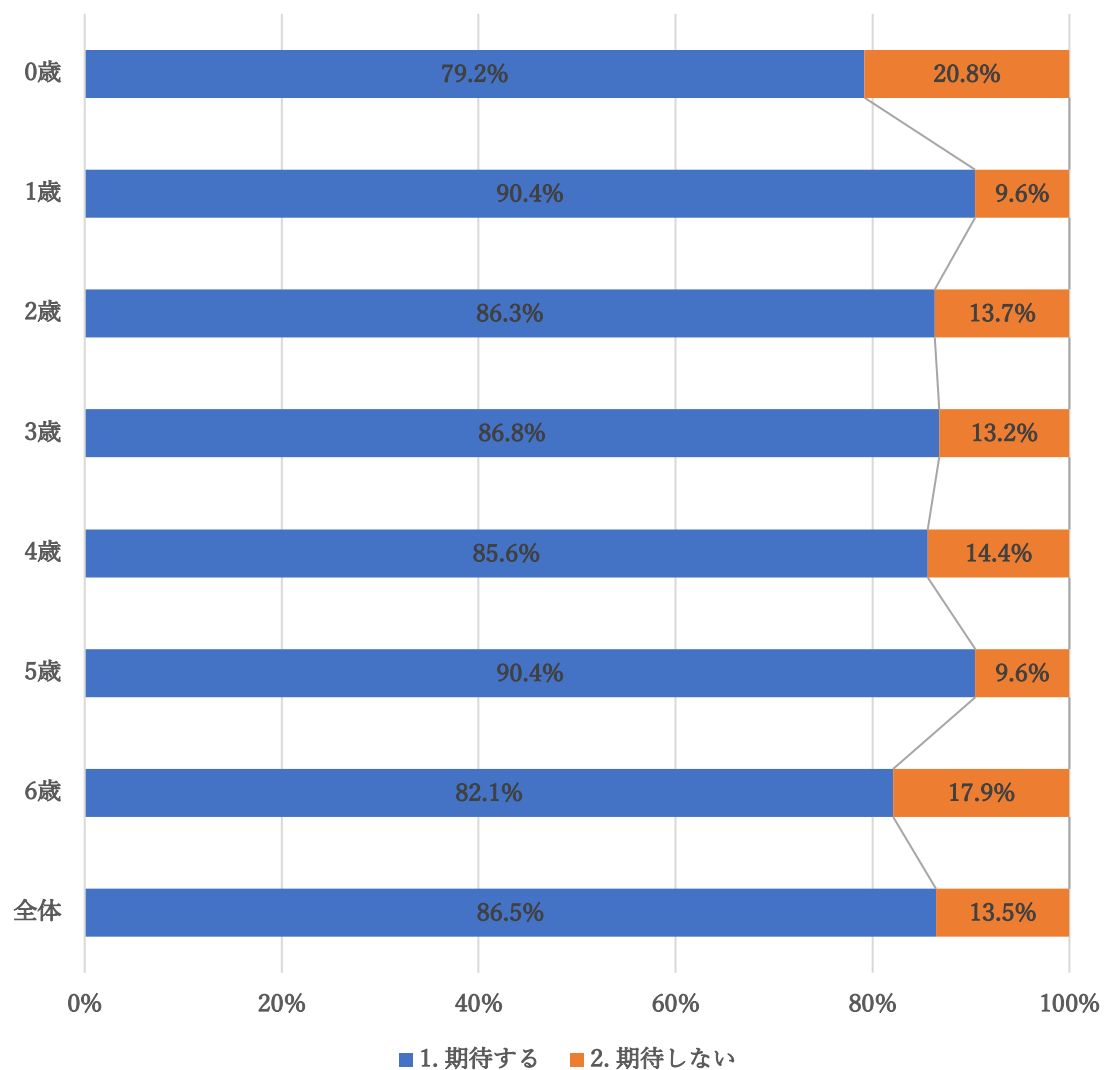


図 71. (5)セルフコントロール（大切な目標のために目先のやりたいことを一旦がまんしたり，固執せず柔軟に対応したりする力）を伸ばす取り組みが行われることを園に期待しますか？（％）【年齢別】

7.7.4. 教材やプログラムに対するニーズ

Q21～Q25-6. こうした力をご家庭で伸ばすための教材やプログラムがあったら利用
したいと思いますか？

5つの「非認知能力」について、それぞれの力をご家庭で伸ばすための教材やプログラムを利用したいか、お尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 72・表 27 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 73～図 79 に示します。

「Q21～Q25_6. こうした力をご家庭で伸ばすための教材やプログラムがあったら利用したいと思いますか？」への回答として「1.使いたいと思う」と選択した人の割合が最も多いのは、「(1) 内発的動機づけ（物事に興味・関心を持ち、自分で決めて自分から進んで物事に取り組む力）」（71.8%），2 番目は「(2)自己効力感（自分にはできないと決めつけず、自信をもって物事に取り組む力）」（69.3%），3 番目は「(3)感情知性（相手の気持ちを読み取ったり、自分の気持ちを上手に表現したりする力）」（66.9%）でした。

お子さんの年齢別に見ても、年齢によらず同様の傾向が見られました（図 73～図 79）。

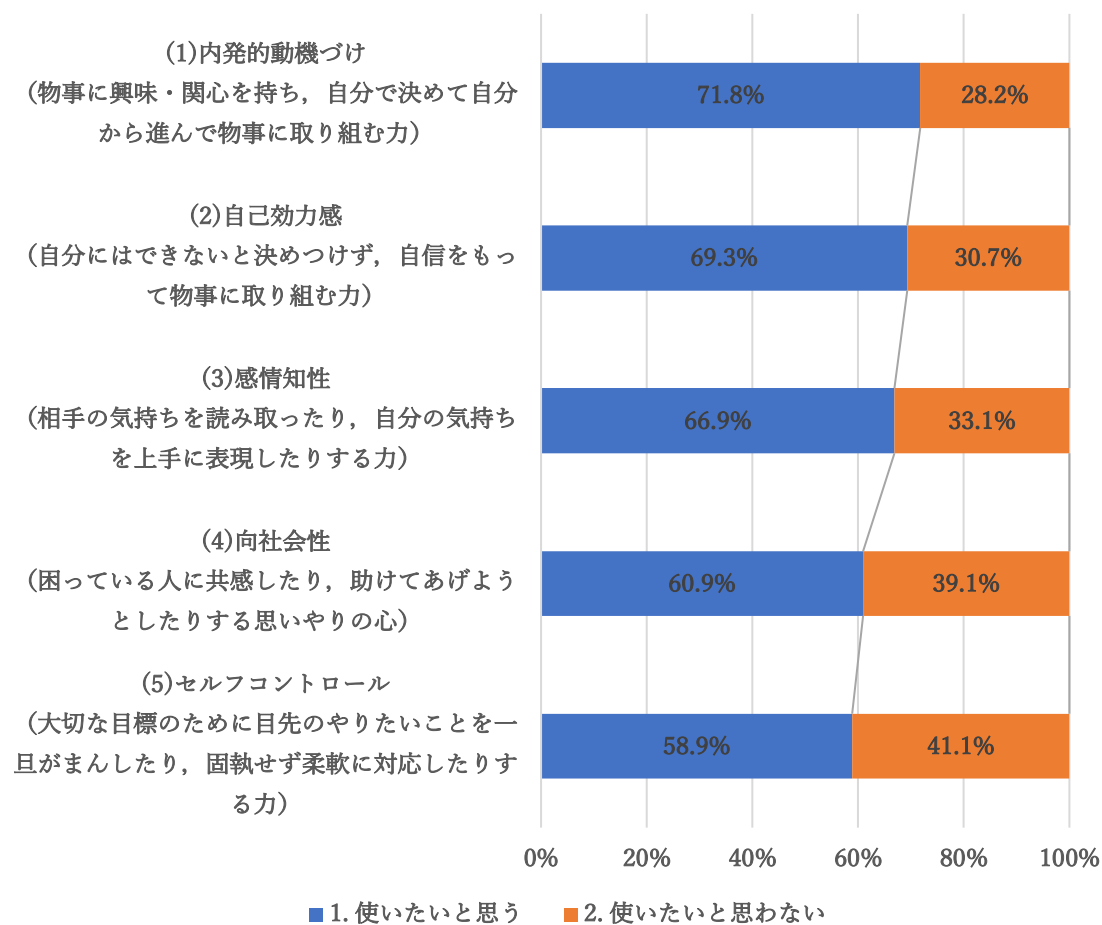


図 72. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)

表 27. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？（集計値）

		1. 使いたいと思う	2. 使いたいと思わない	計
(1)内発的動機づけ	回答数	1208	475	1683
	%	71.8%	28.2%	100%
(2)自己効力感	回答数	1166	517	1683
	%	69.3%	30.7%	100%
(3)感情知性	回答数	1126	557	1683
	%	66.9%	33.1%	100%
(4)向社会性	回答数	1025	658	1683
	%	60.9%	39.1%	100%
(5)セルフコントロール	回答数	991	692	1683
	%	58.9%	41.1%	100%

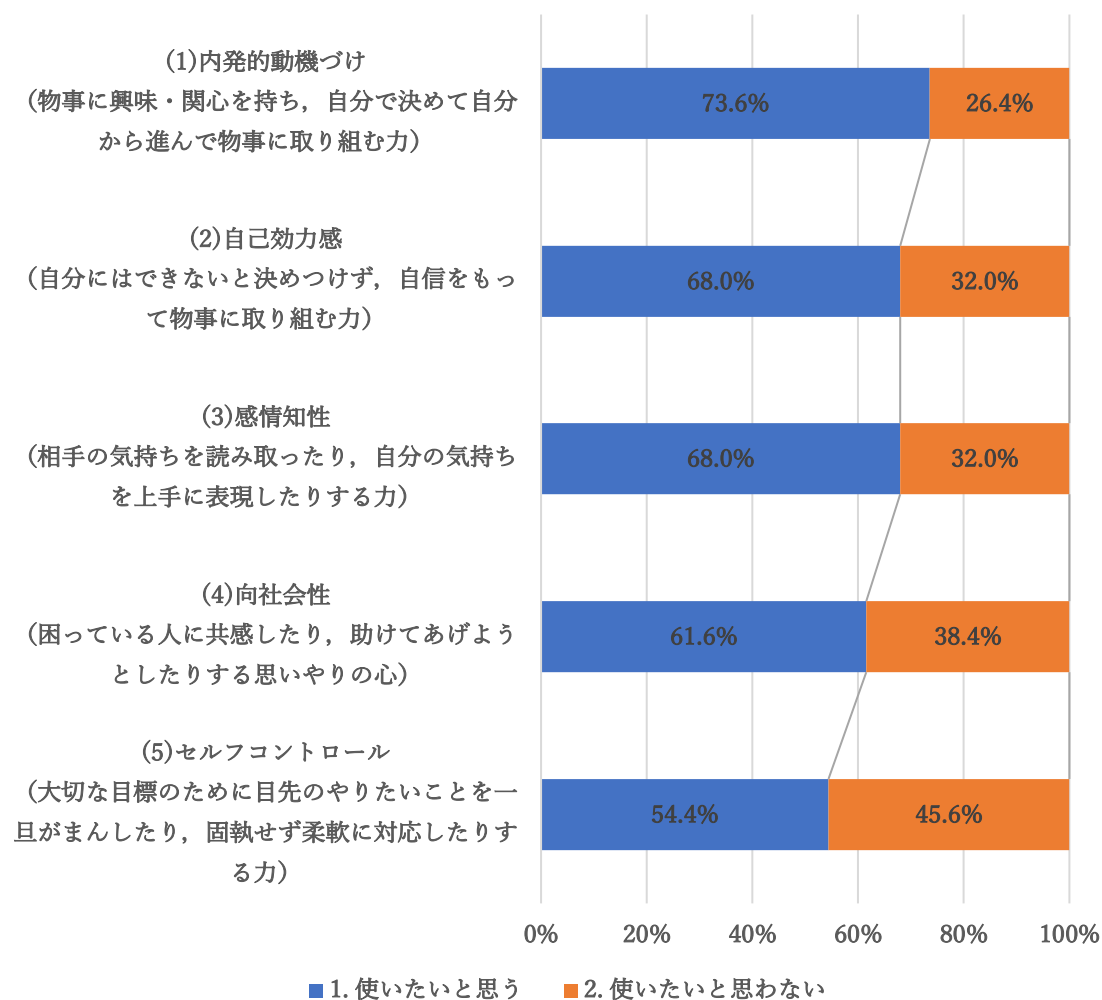


図 73. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【0 歳】

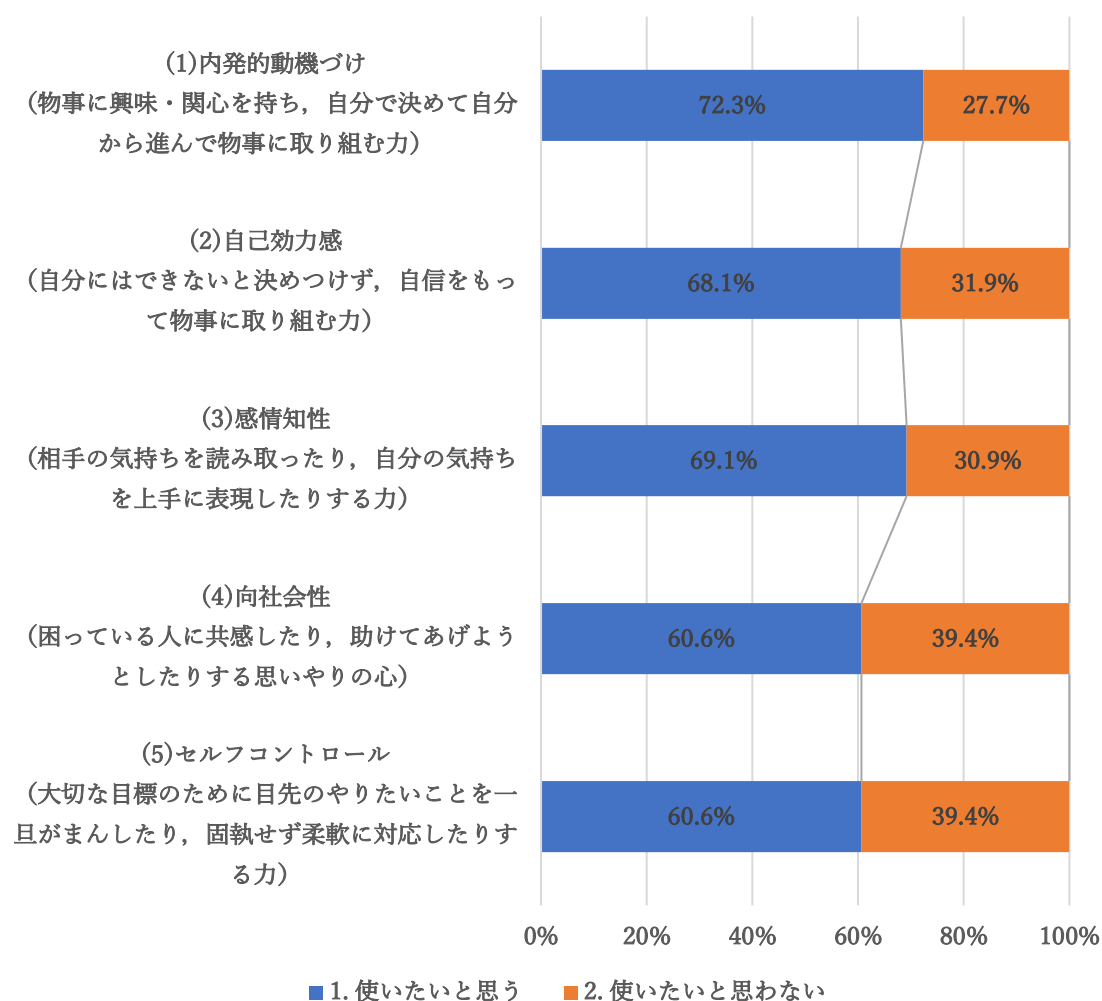


図 74. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【1 歳】

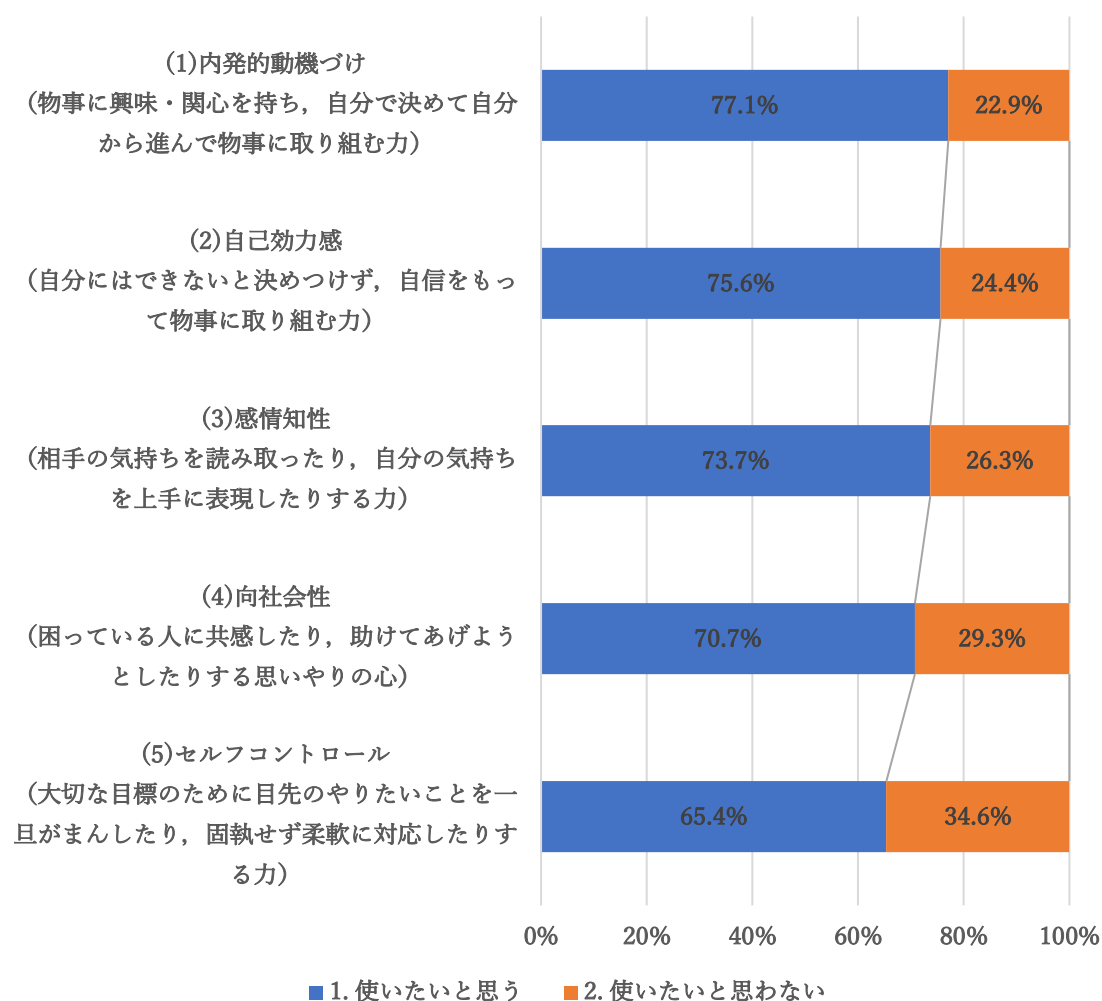


図 75. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【2 歳】

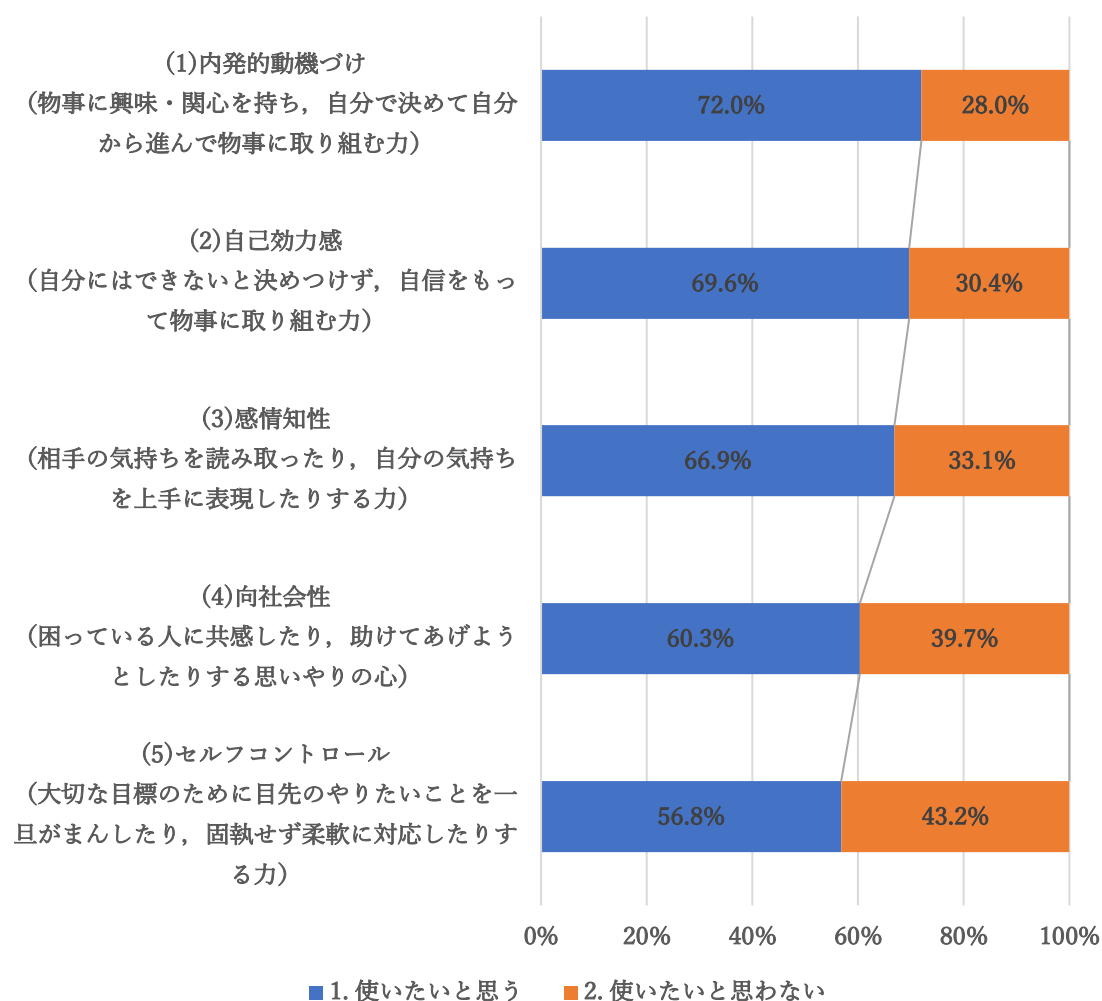


図 76. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【3 歳】

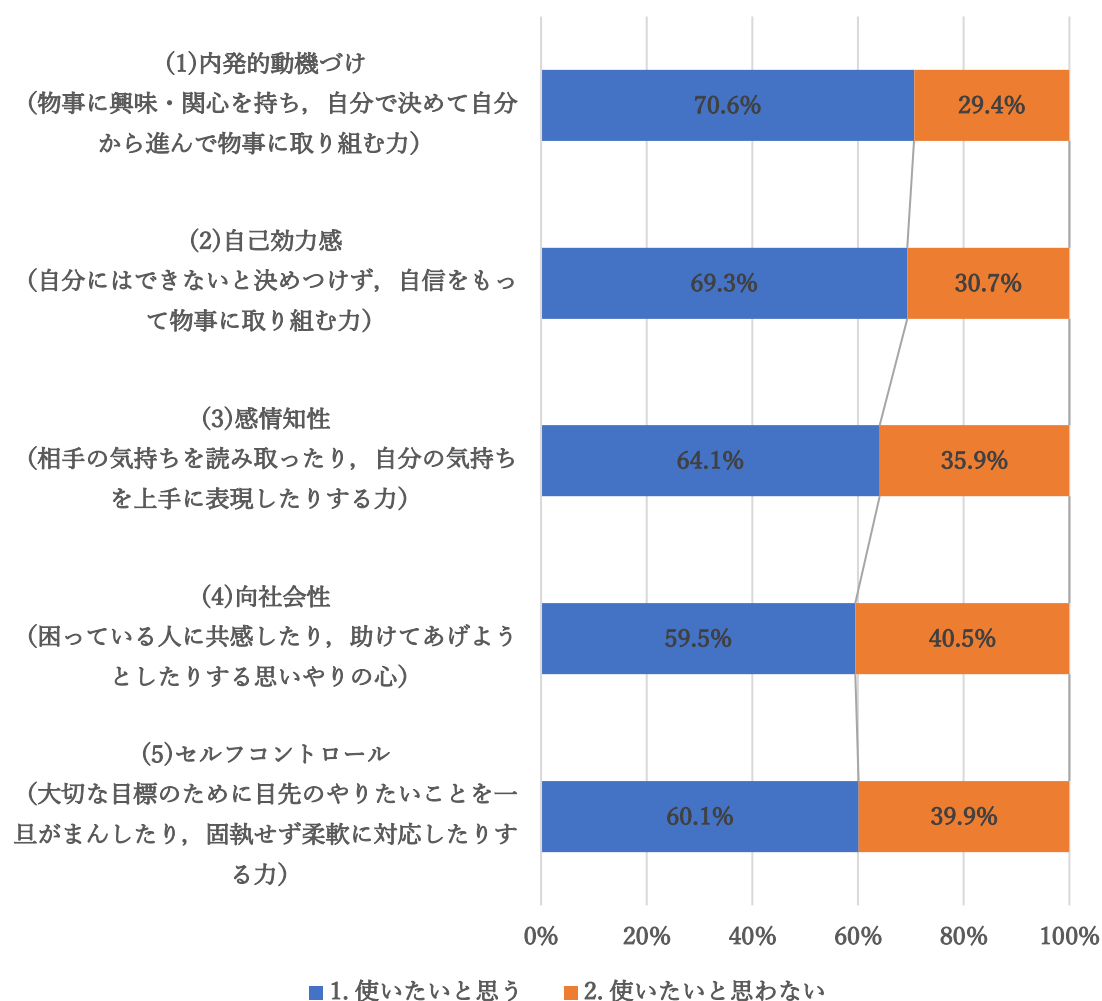


図 77. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【4 歳】

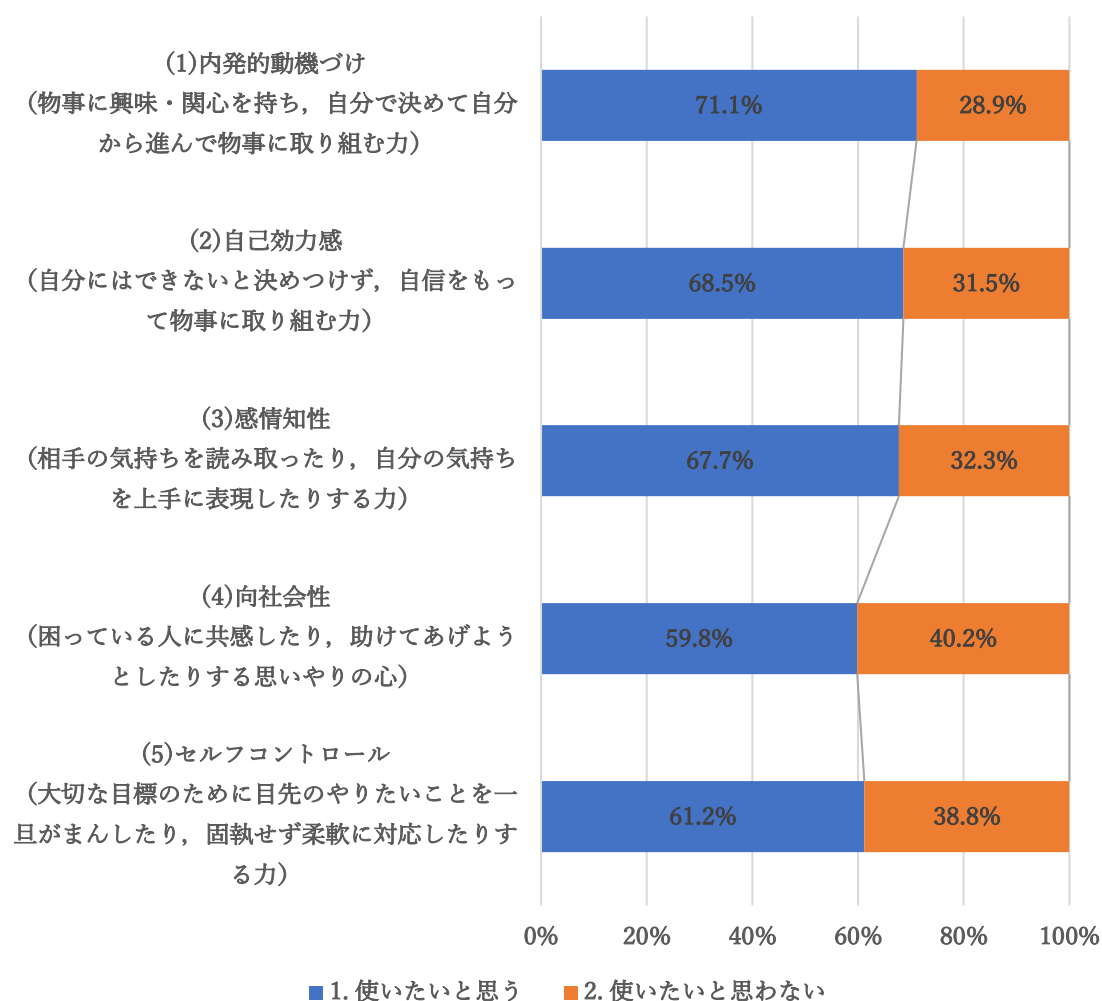


図 78. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【5 歳】

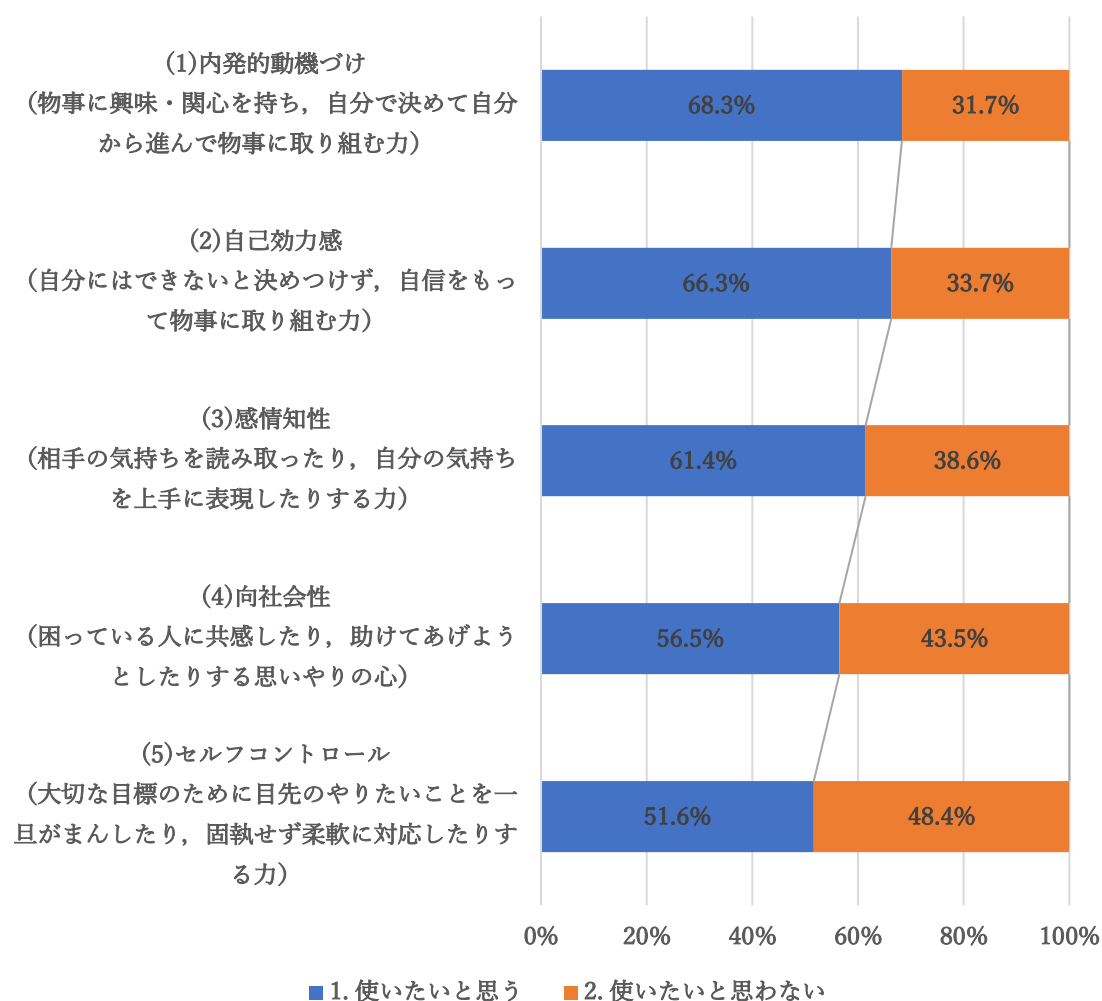


図 79. こうした力をご家庭で伸ばす教材やプログラムを利用したいと思いますか？ (%)
【6 歳】

7.8. お子さんの習い事，家庭での学習・教材等の利用，ICT 環境

7.8.1. 習い事の有無

Q13-1. この1年間で，お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？

お子さんの習い事についてお尋ねしました。

回答の集計結果を図 80・表 28 に示します。

「Q13-1. この1年間で，お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？」への回答として「1.ある」と選択した人の割合は，回答者全体の 32.9%，「2.ない」と選択した人の割合は，回答者全体の 67.1%でした。

年齢別に見ると，定期的に通っている習い事が「1.ある」と選択した人の割合は0歳から6歳にかけて年齢が上がるにつれて多くなり，最も多いのは，6歳（60.6%），次いで5歳（52.0%），4歳（37.9%）でした。

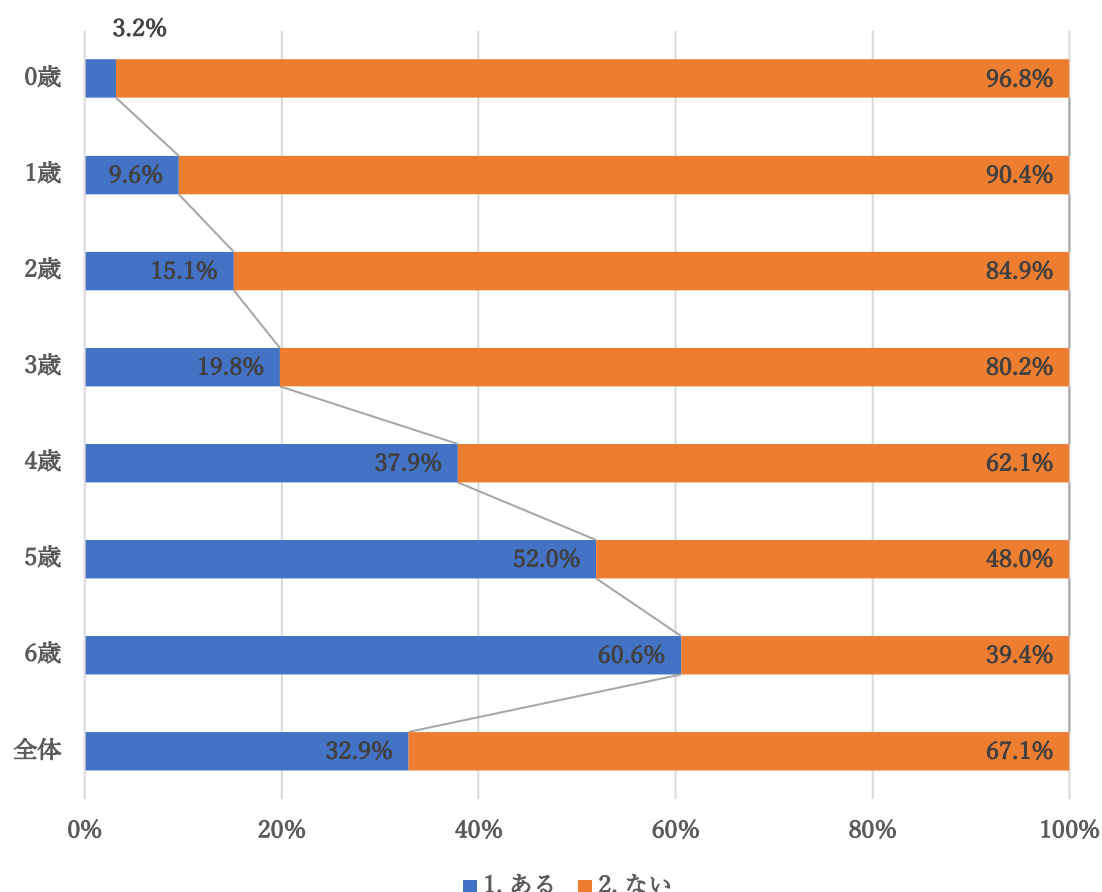


図 80. お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？ (%)

表 28. お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？（集計値）

	回答数			%		
	1. ある	2. ない	計	1. ある	2. ない	計
0 歳	4	121	125	3.2%	96.8%	100%
1 歳	18	170	188	9.6%	90.4%	100%
2 歳	31	174	205	15.1%	84.9%	100%
3 歳	51	206	257	19.8%	80.2%	100%
4 歳	116	190	306	37.9%	62.1%	100%
5 歳	185	171	356	52.0%	48.0%	100%
6 歳	149	97	246	60.6%	39.4%	100%
全体	554	1129	1683	32.9%	67.1%	100%

7.8.2. 習い事の内容

Q13-2～4. 習い事の内容

「Q13-1. この1年間で、お子さんが定期的に通っている習い事がありますか？」への回答として「1.ある」と選択した人を対象に、習い事の内容をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 81・表 29～表 31 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 82～図 88 に示します。

習い事の内容は、「Q13-2.【スポーツ活動】」(1)～(14),「Q13-3.【文化・芸術活動】」(1)～(7),「Q13-4.【知育・学習活動】」(1)～(10)に分けてお尋ねしました。

全体の中で最も「1.習っている」と回答した人の割合が多いのは、【スポーツ活動】の「(1) スイミング」(12.9%)、2 番目は【スポーツ活動】の「(2) 体操教室・運動遊び」(8.7%)、3 番目は【文化・芸術活動】の「(1) 楽器（ピアノやバイオリンなど）のレッスン」(7.7%)、4 番目は【知育・学習活動】の「(4) 英語などの外国語教室」(7.4%)でした。

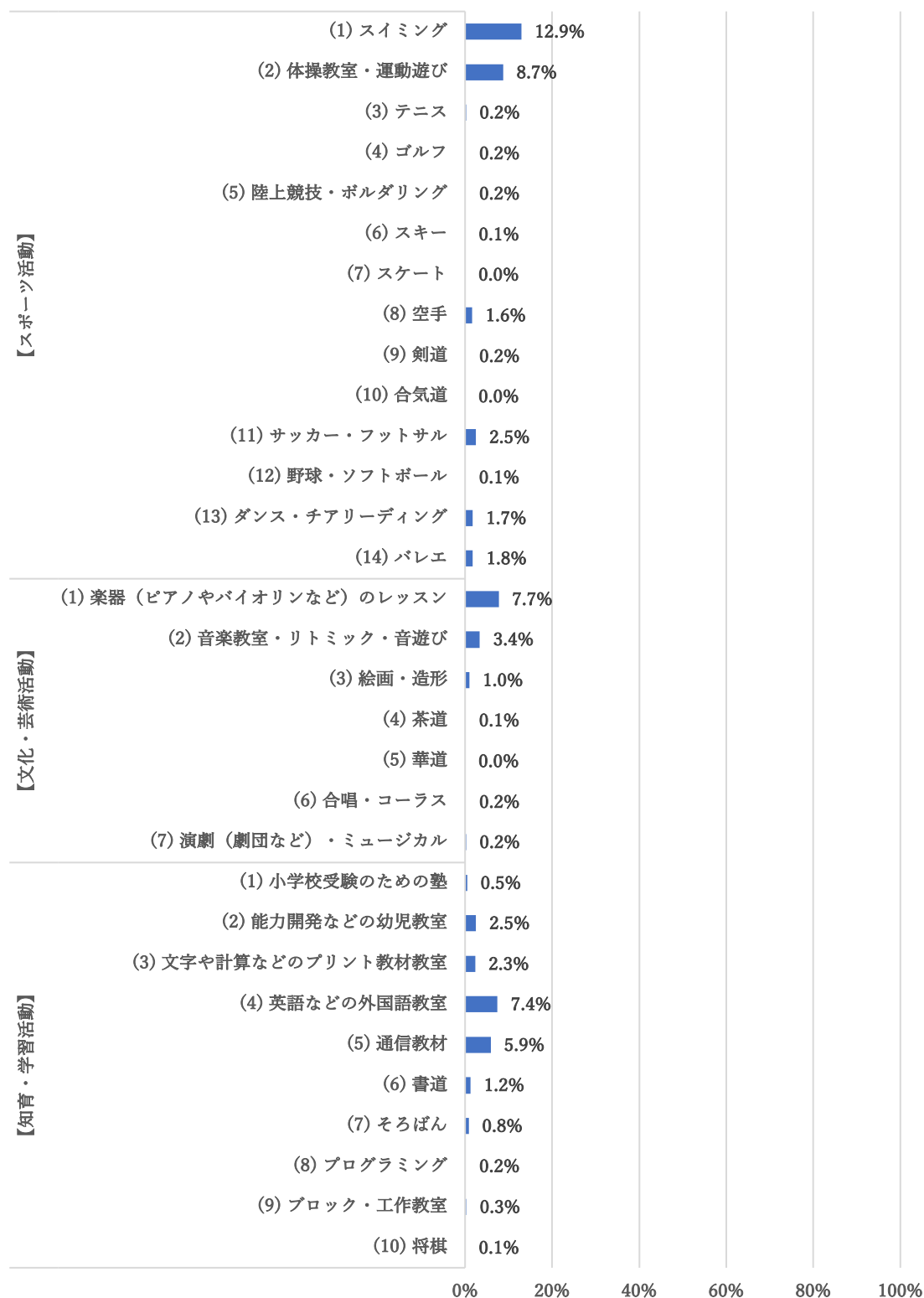


図 81. 習い事の内容 (%)

表 29. 習い事の内容【スポーツ活動】（集計値）

	回答数			%		
	0. 選択なし	1. 習っている	計	0. 選択なし	1. 習っている	計
(1) スイミング	1466	217	1683	87.1%	12.9%	100%
(2) 体操教室・ 運動遊び	1536	147	1683	91.3%	8.7%	100%
(3) テニス	1679	4	1683	99.8%	0.2%	100%
(4) ゴルフ	1680	3	1683	99.8%	0.2%	100%
(5) 陸上競技・ ボルダリング	1680	3	1683	99.8%	0.2%	100%
(6) スキー	1682	1	1683	99.9%	0.1%	100%
(7) スケート	1683	0	1683	100.0%	0.0%	100%
(8) 空手	1656	27	1683	98.4%	1.6%	100%
(9) 剣道	1680	3	1683	99.8%	0.2%	100%
(10) 合気道	1683	0	1683	100.0%	0.0%	100%
(11) サッカー・フットサル	1641	42	1683	97.5%	2.5%	100%
(12) 野球・ソフトボール	1681	2	1683	99.9%	0.1%	100%
(13) ダンス・チアリーディング	1654	29	1683	98.3%	1.7%	100%
(14) バレエ	1653	30	1683	98.2%	1.8%	100%

表 30. 習い事の内容【文化・芸術活動】（集計値）

	回答数			%		
	0. 選択なし	1. 習っている	計	0. 選択なし	1. 習っている	計
(1) 楽器（ピアノやバイオリンなど）のレッスン	1553	130	1683	92.3%	7.7%	100%
(2) 音楽教室・リトミック・音遊び	1626	57	1683	96.6%	3.4%	100%
(3) 絵画・造形	1667	16	1683	99.0%	1.0%	100%
(4) 茶道	1681	2	1683	99.9%	0.1%	100%
(5) 華道	1683	0	1683	100.0%	0.0%	100%
(6) 合唱・コーラス	1680	3	1683	99.8%	0.2%	100%
(7) 演劇（劇団など）・ミュージカル	1679	4	1683	99.8%	0.2%	100%

表 31. 習い事の内容【知育・学習活動】（集計値）

	回答数			%		
	0. 選択なし	1. 習っている	計	0. 選択なし	1. 習っている	計
(1) 小学校受験のための塾	1675	8	1683	99.5%	0.5%	100%
(2) 能力開発などの幼児教室	1641	42	1683	97.5%	2.5%	100%
(3) 文字や計算などのプリント教材教室	1644	39	1683	97.7%	2.3%	100%
(4) 英語などの外国語教室	1558	125	1683	92.6%	7.4%	100%
(5) 通信教材	1584	99	1683	94.1%	5.9%	100%
(6) 書道	1662	21	1683	98.8%	1.2%	100%
(7) そろばん	1669	14	1683	99.2%	0.8%	100%
(8) プログラミング	1680	3	1683	99.8%	0.2%	100%
(9) ブロック・工作教室	1678	5	1683	99.7%	0.3%	100%
(10) 将棋	1682	1	1683	99.9%	0.1%	100%

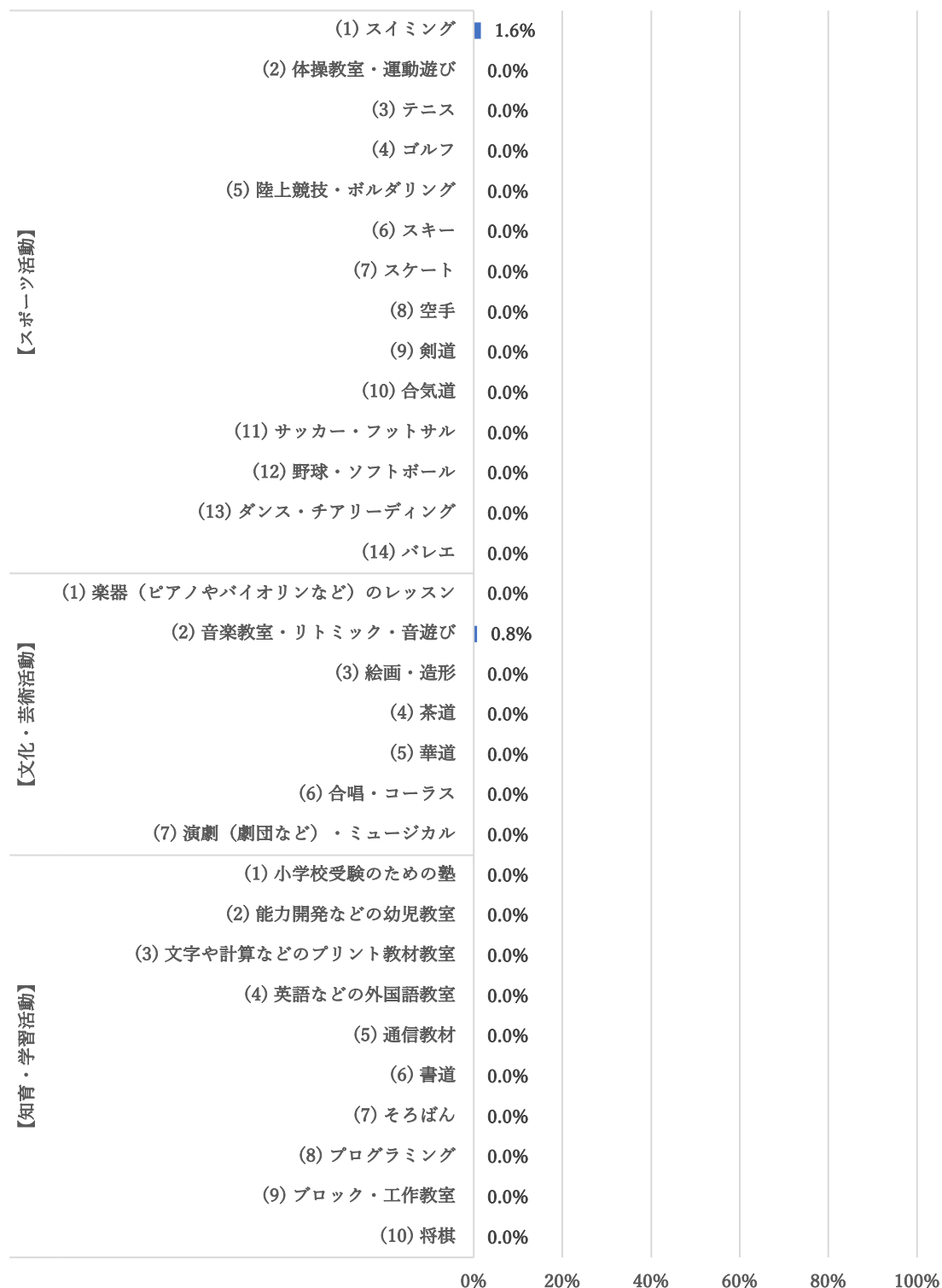


図 82. 習い事の内容 (%) 【0 歳】

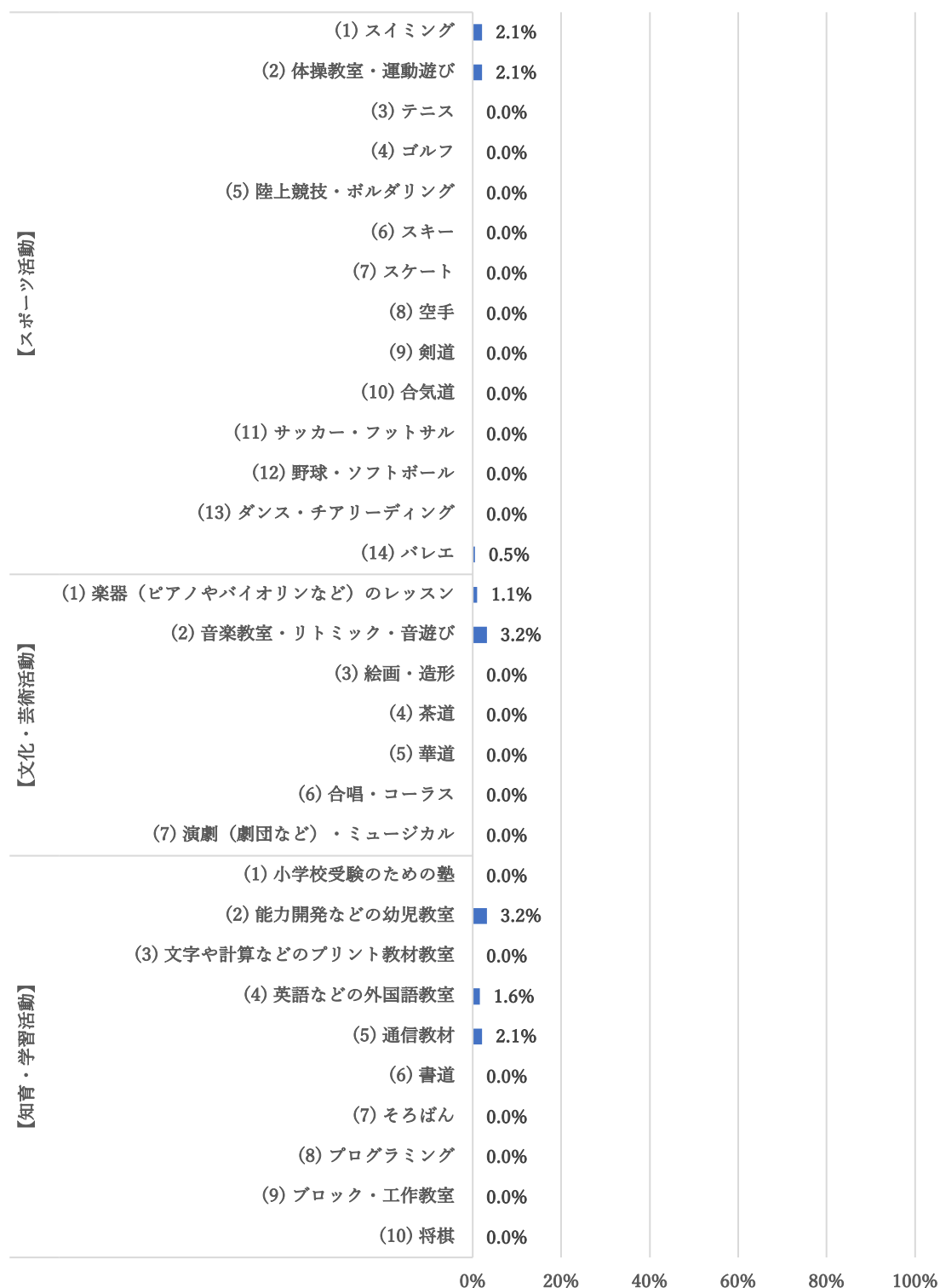


図 83. 習い事の内容（％） 【1 歳】

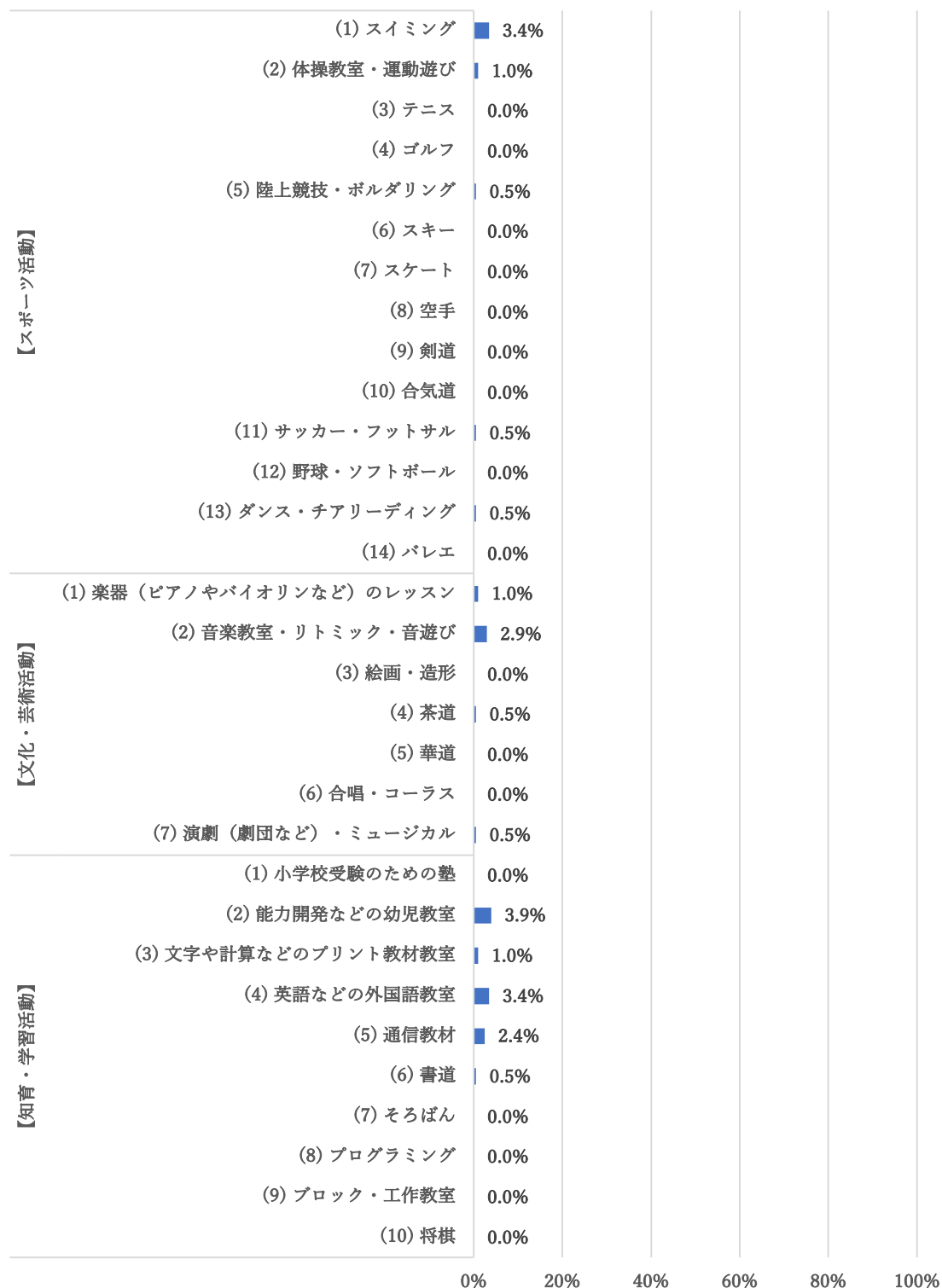


図 84. 習い事の内容（％）【2歳】

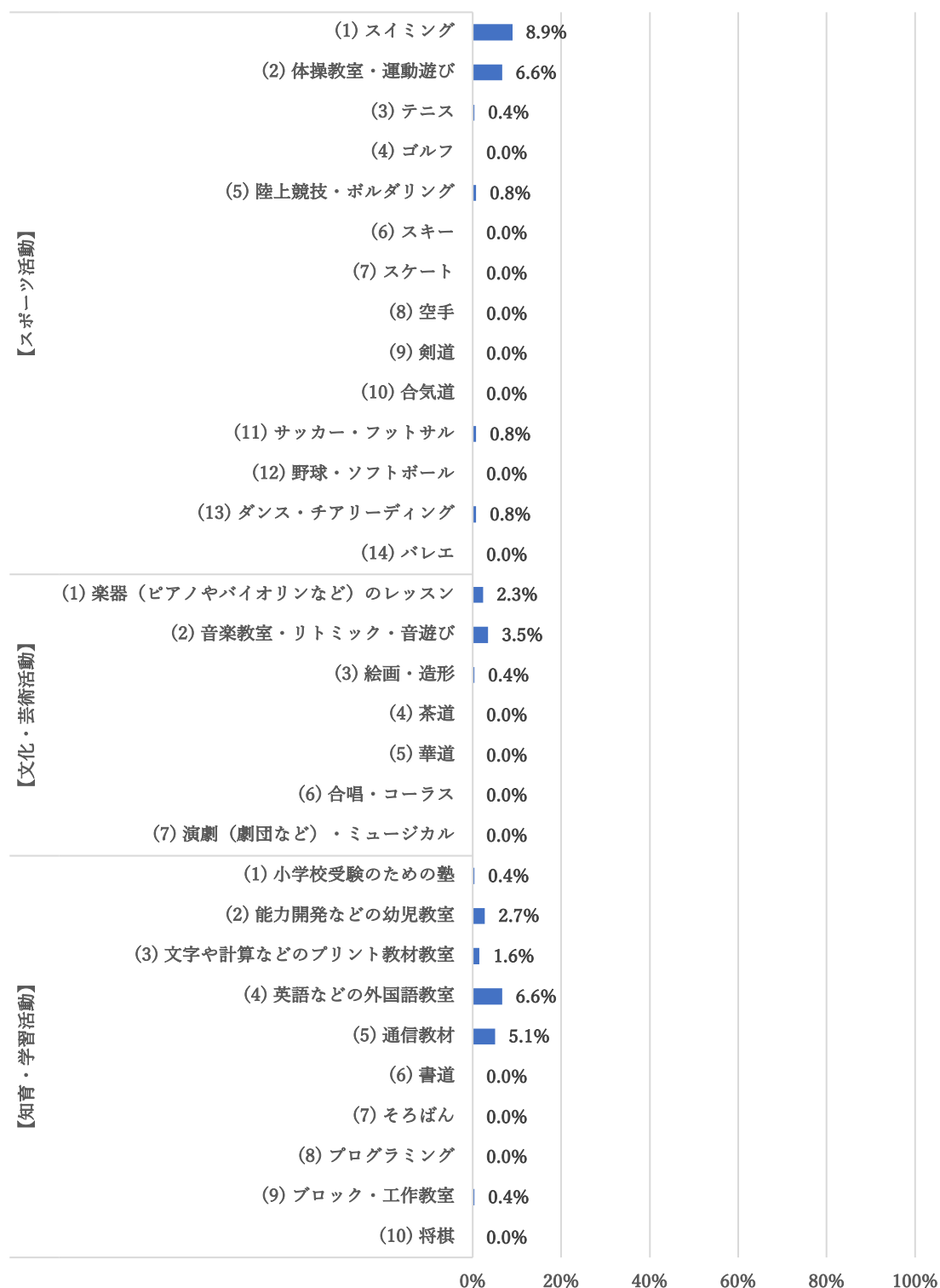


図 85. 習い事の内容（％）【3 歳】

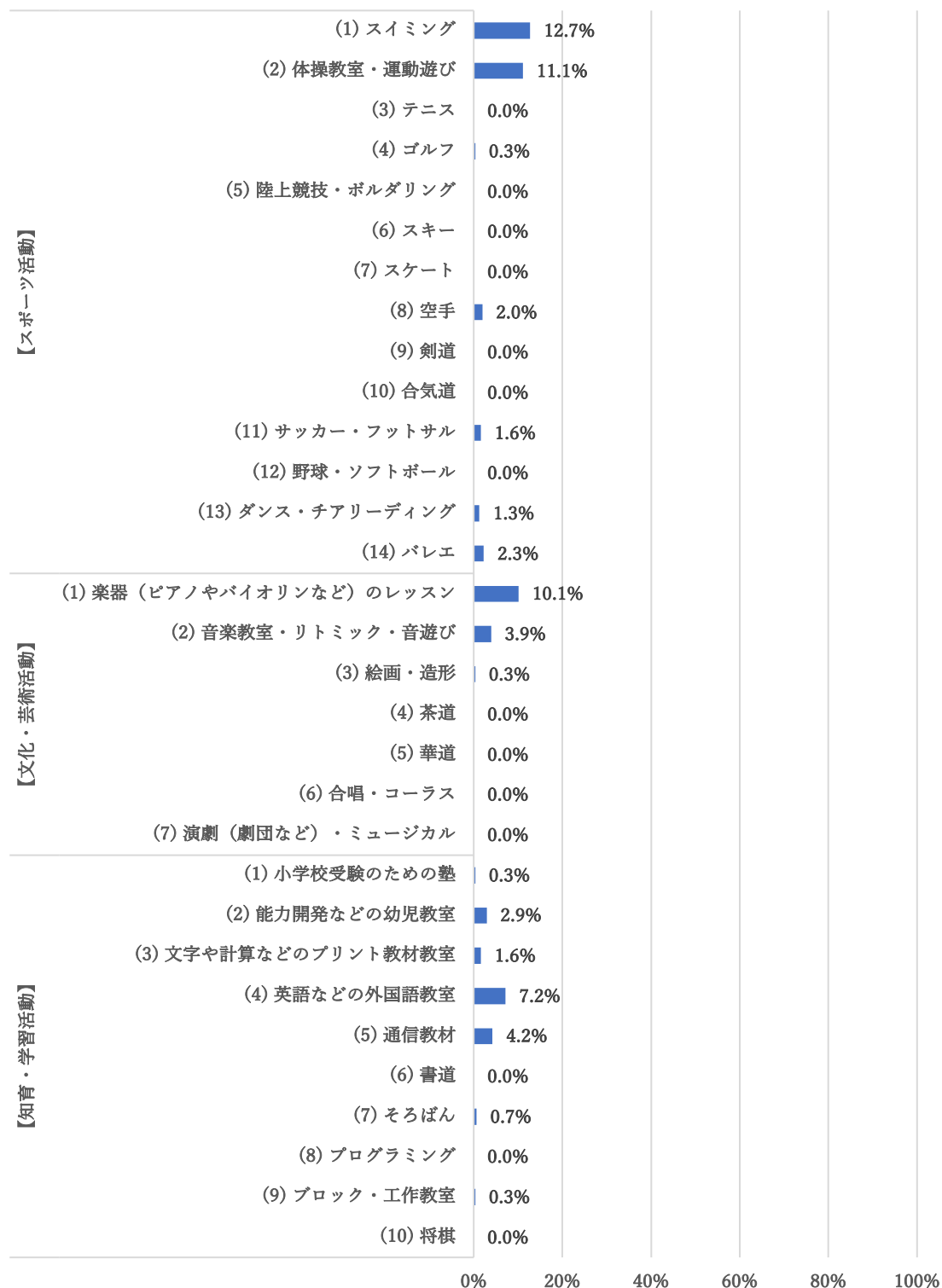


図 86. 習い事の内容（％）【4 歳】

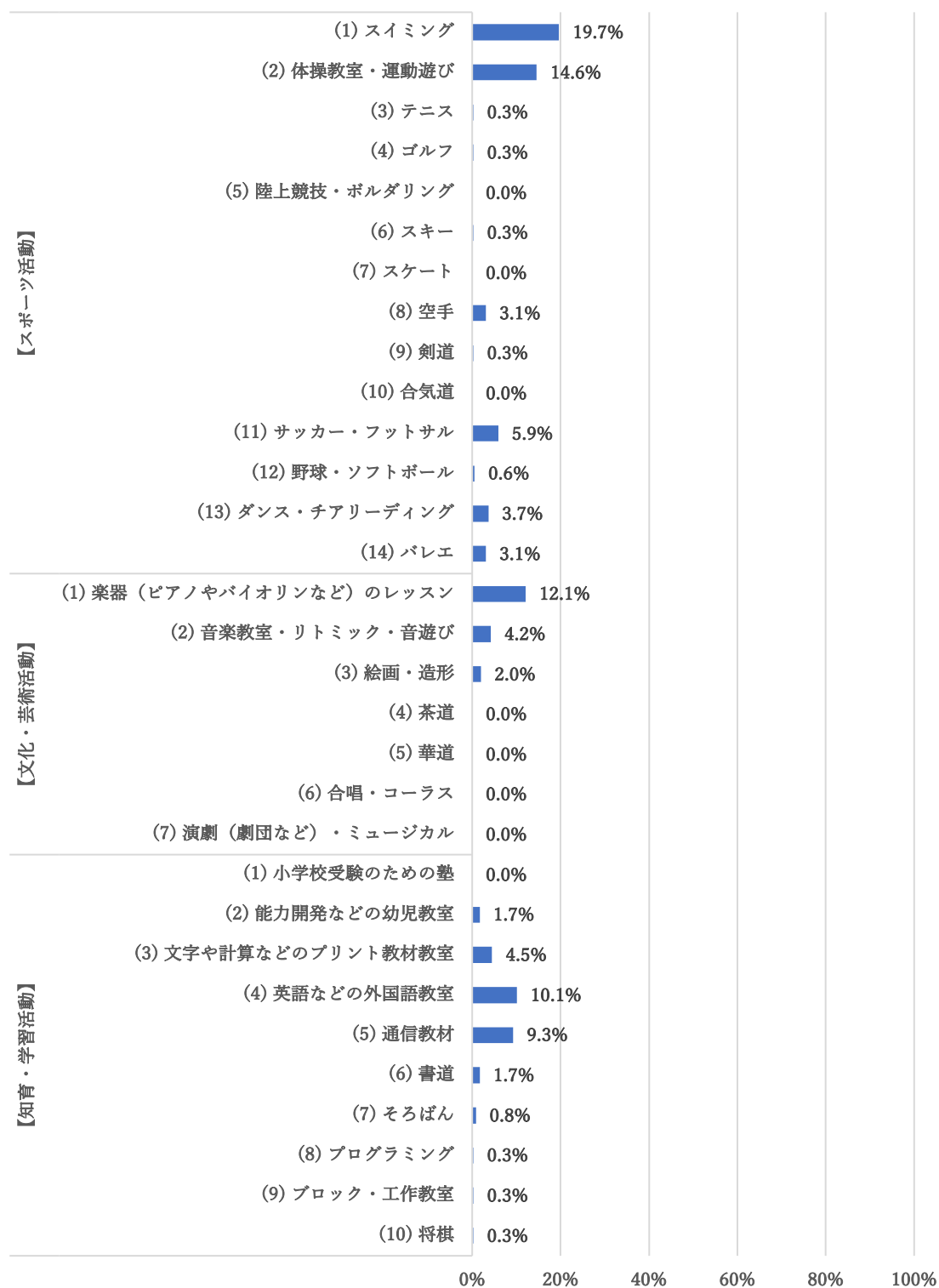


図 87. 習い事の内容 (%) 【5 歳】

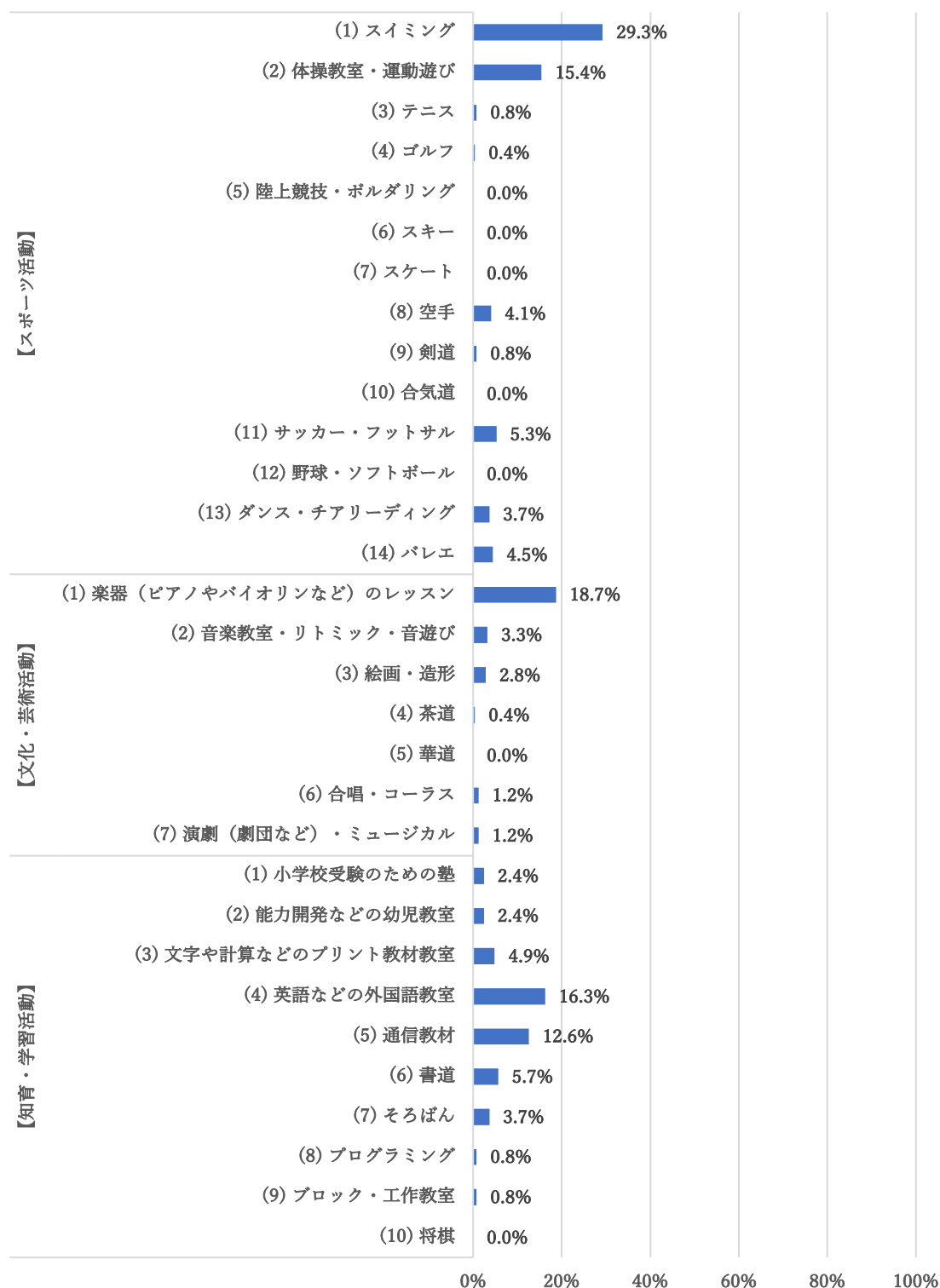


図 88. 習い事の内容（％）【6歳】

7.8.3. 家庭での学習・教材等の利用

Q14-1. この1年間で、お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材（絵本や知育玩具、教育テレビ番組も含む）はありますか？

お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材についてお尋ねしました。

回答の集計結果を図 89・表 32 に示します。

「Q14-1. この1年間で、お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材（絵本や知育玩具、教育テレビ番組も含む）はありますか？」への回答として「1.ある」と選択した人の割合は、回答者全体の57.8%、「2.ない」と選択した人の割合は、回答者全体の42.2%でした。

年齢別に見ると、ご家庭で取り組んでいる学習や教材が「1.ある」と選択した人の割合は、0歳は他の年齢と比べてやや少ない（43.2%）ものの、1歳から6歳はいずれの年齢も「1.ある」と選択した人の割合が半数以上を占めており、最も多いのは1歳（67.6%）、次いで2歳（60.5%）、5歳（59.8%）でした。

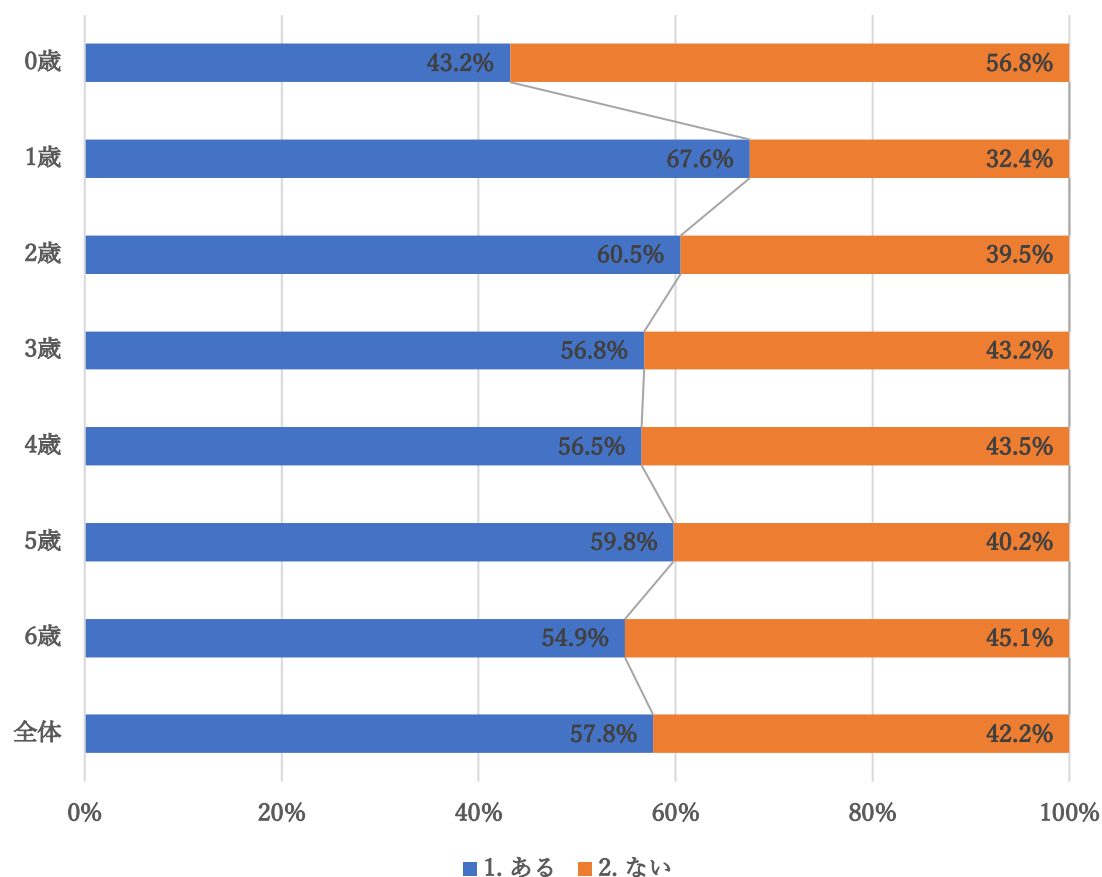


図 89. お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材はありますか？ (%)

表 32. お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材はありますか？（集計値）

	回答数			%		
	1. ある	2. ない	計	1. ある	2. ない	計
0 歳	54	71	125	43.2%	56.8%	100%
1 歳	127	61	188	67.6%	32.4%	100%
2 歳	124	81	205	60.5%	39.5%	100%
3 歳	146	111	257	56.8%	43.2%	100%
4 歳	173	133	306	56.5%	43.5%	100%
5 歳	213	143	356	59.8%	40.2%	100%
6 歳	135	111	246	54.9%	45.1%	100%
全体	972	711	1683	57.8%	42.2%	100%

Q14-2. 家庭での学習・教材の内容

「Q14-1. この1年間で、お子さんがご家庭で取り組んでいる学習や教材（絵本や知育玩具、教育テレビ番組も含む）はありますか？」への回答として「1.ある」と選択した人を対象に、ご家庭での学習・教材の内容をお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 90・表 33 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 91～図 97 に示します（資質・能力の表示順は、全体の結果（図 90）に準じます）。

全体の中で最も「1.取り組んでいる」と回答した人の割合が多いのは、「(1) 本・絵本」（48.5%）、2 番目は「(2) 知育玩具・教具」（34.3%）、3 番目は「(12) NHK E テレなどの教育テレビ番組の視聴」（34.2%）でした。

年齢別（図 91～図 97）に見ると、お子さんの年齢によらず、「(1) 本・絵本」を利用しているという回答が最も多く見られました。また、0 歳から 5 歳までは全体の傾向と同様に「(1) 本・絵本」、「(2) 知育玩具・教具」、「(12) NHK E テレなどの教育テレビ番組の視聴」を利用する人の割合が多く見られました。また、これらの学習・教材に加えて、4 歳以降は「(4) 市販の参考書・問題集・ドリル・シールブック」（4 歳：26.8%～6 歳：28.0%）を利用する人の割合が増加する傾向にありました。

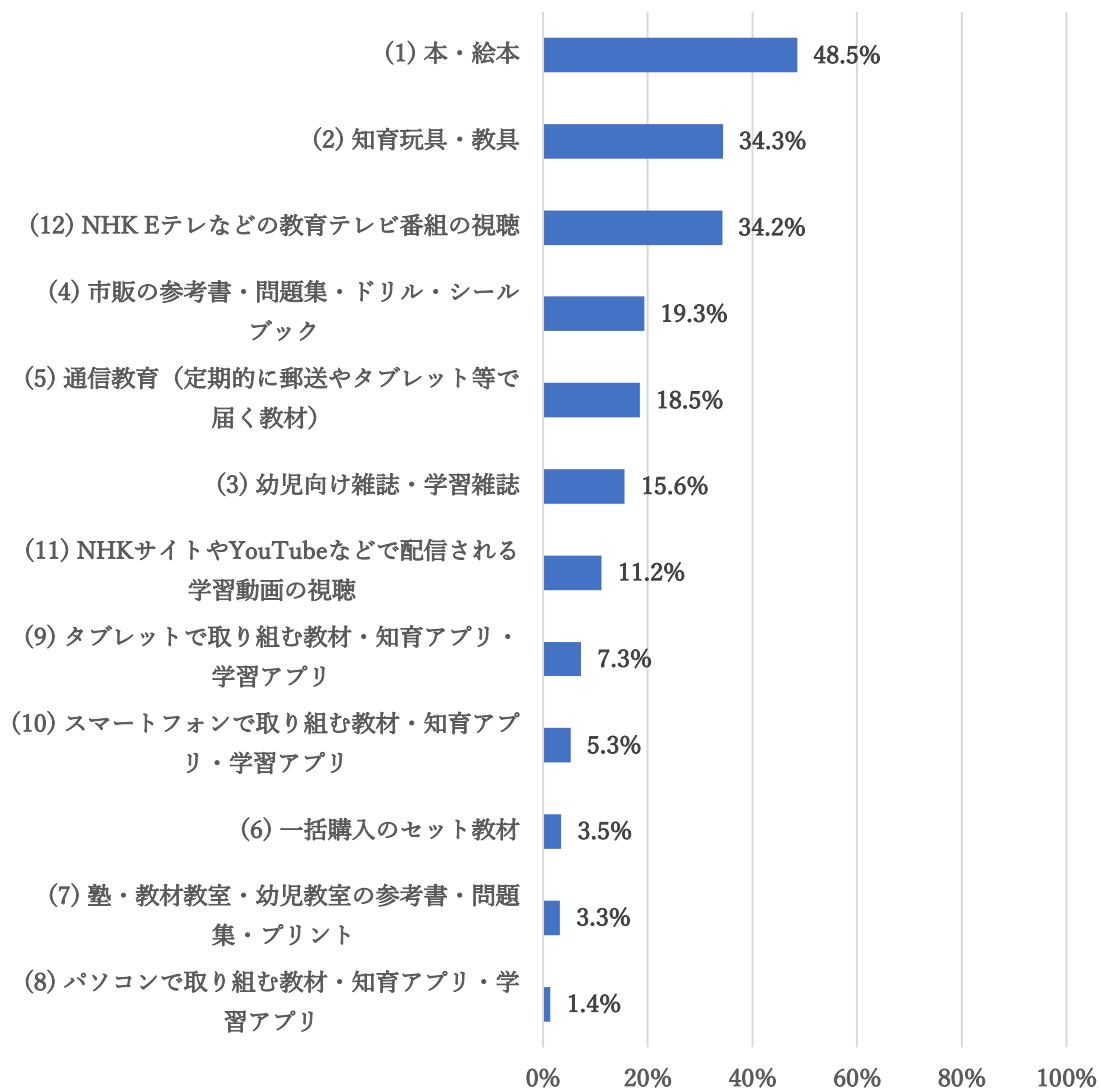


図 90. ご家庭での学習・教材の内容 (%)

表 33. ご家庭での学習・教材の内容（集計値）

	回答数			%		
	0. 選択なし	1. 取り組んでいる	計	0. 選択なし	1. 取り組んでいる	計
(1) 本・絵本	866	817	1683	51.5%	48.5%	100%
(2) 知育玩具・教具	1105	578	1683	65.7%	34.3%	100%
(3) 幼児向け雑誌・学習雑誌	1420	263	1683	84.4%	15.6%	100%
(4) 市販の参考書・問題集・ドリル・シールブック	1358	325	1683	80.7%	19.3%	100%
(5) 通信教育（定期的に郵送やタブレット等で届く教材）	1372	311	1683	81.5%	18.5%	100%
(6) 一括購入のセット教材	1624	59	1683	96.5%	3.5%	100%
(7) 塾・教材教室・幼児教室の参考書・問題集・プリント	1628	55	1683	96.7%	3.3%	100%
(8) パソコンで取り組む教材・知育アプリ・学習アプリ	1659	24	1683	98.6%	1.4%	100%
(9) タブレットで取り組む教材・知育アプリ・学習アプリ	1560	123	1683	92.7%	7.3%	100%
(10) スマートフォンで取り組む教材・知育アプリ・学習アプリ	1594	89	1683	94.7%	5.3%	100%
(11) NHK サイトや YouTube など配信される学習動画の視聴	1495	188	1683	88.8%	11.2%	100%
(12) NHK E テレなどの教育テレビ番組の視聴	1107	576	1683	65.8%	34.2%	100%

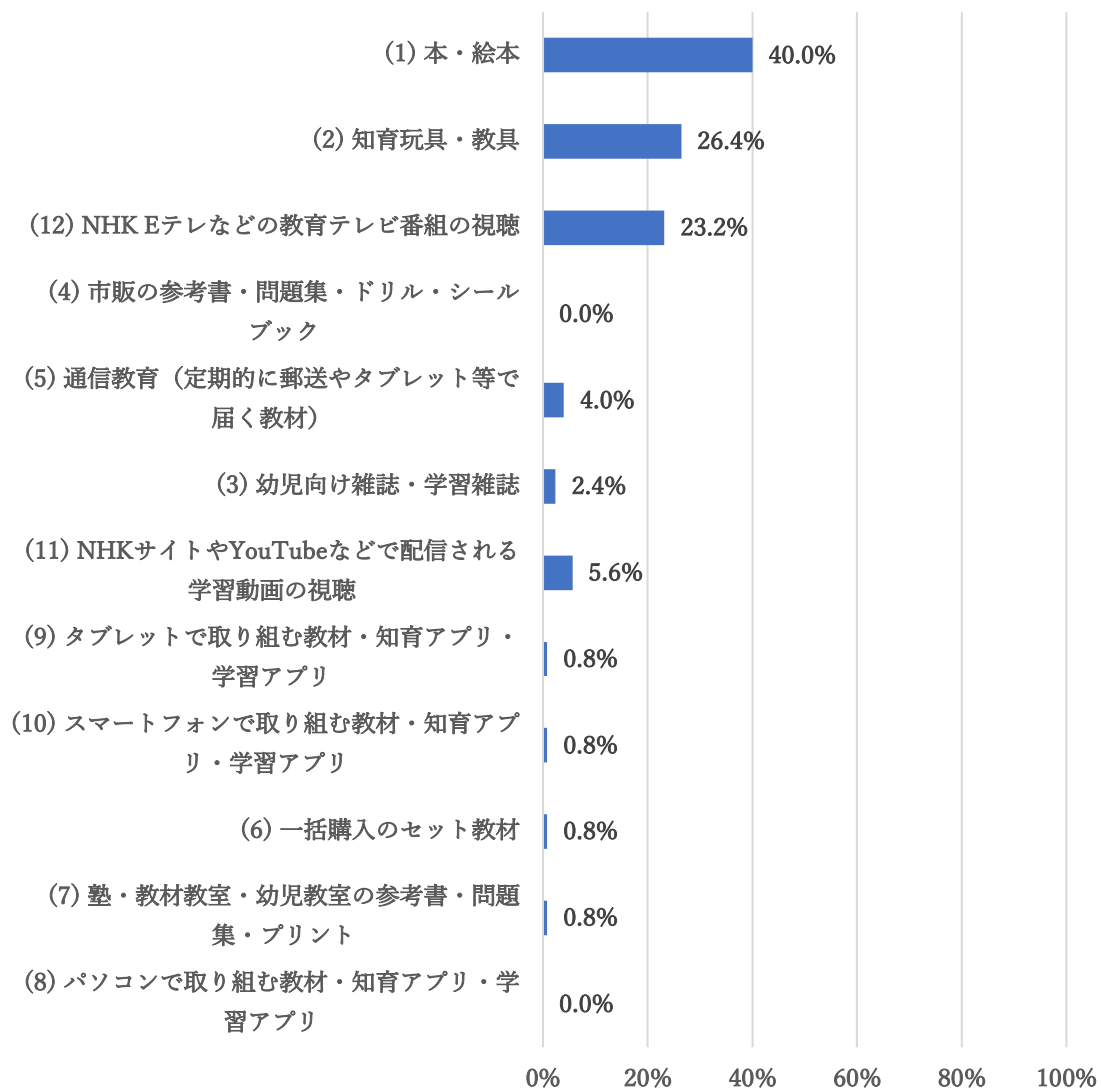


図 91. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【0 歳】

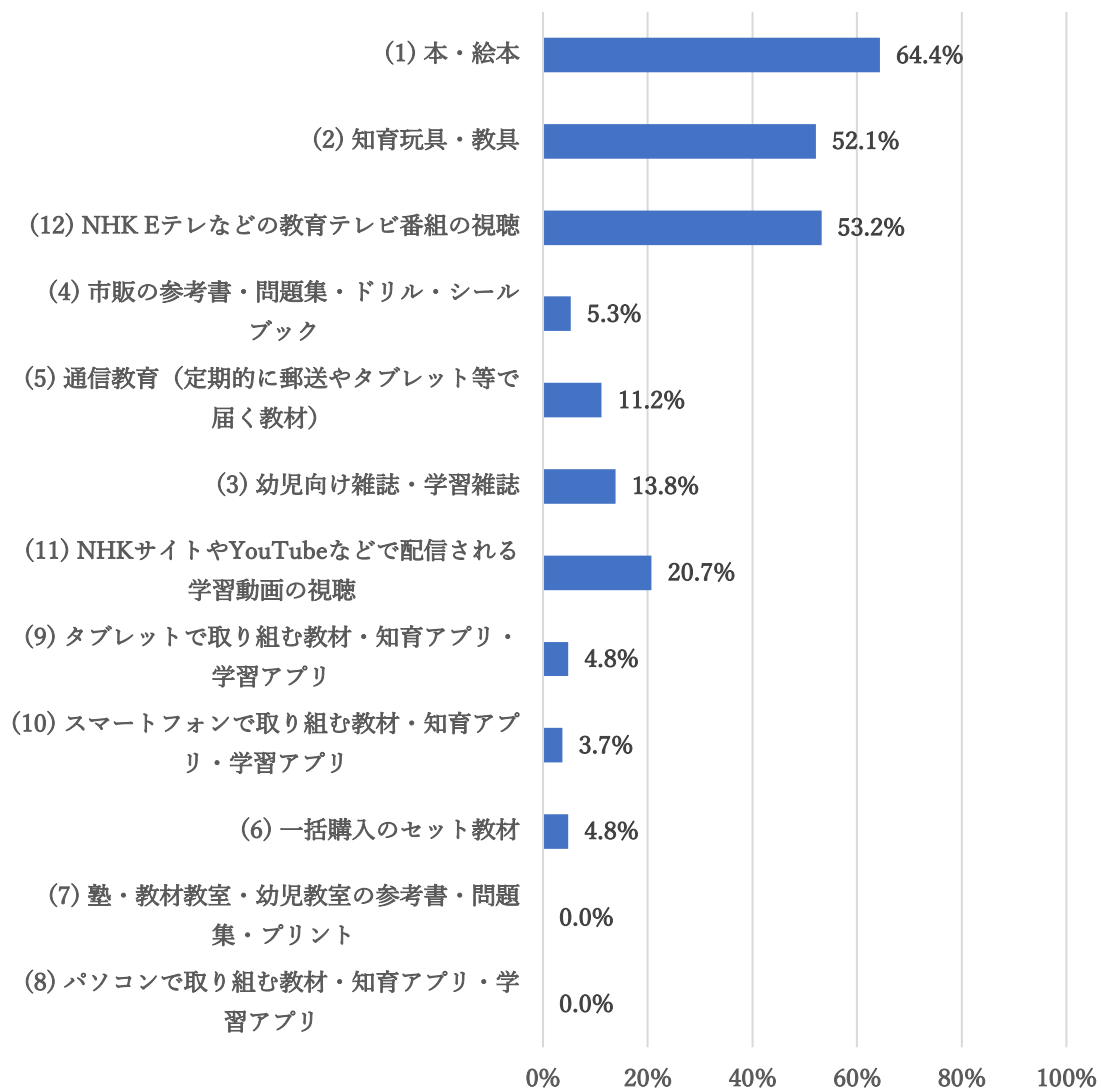


図 92. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【1 歳】

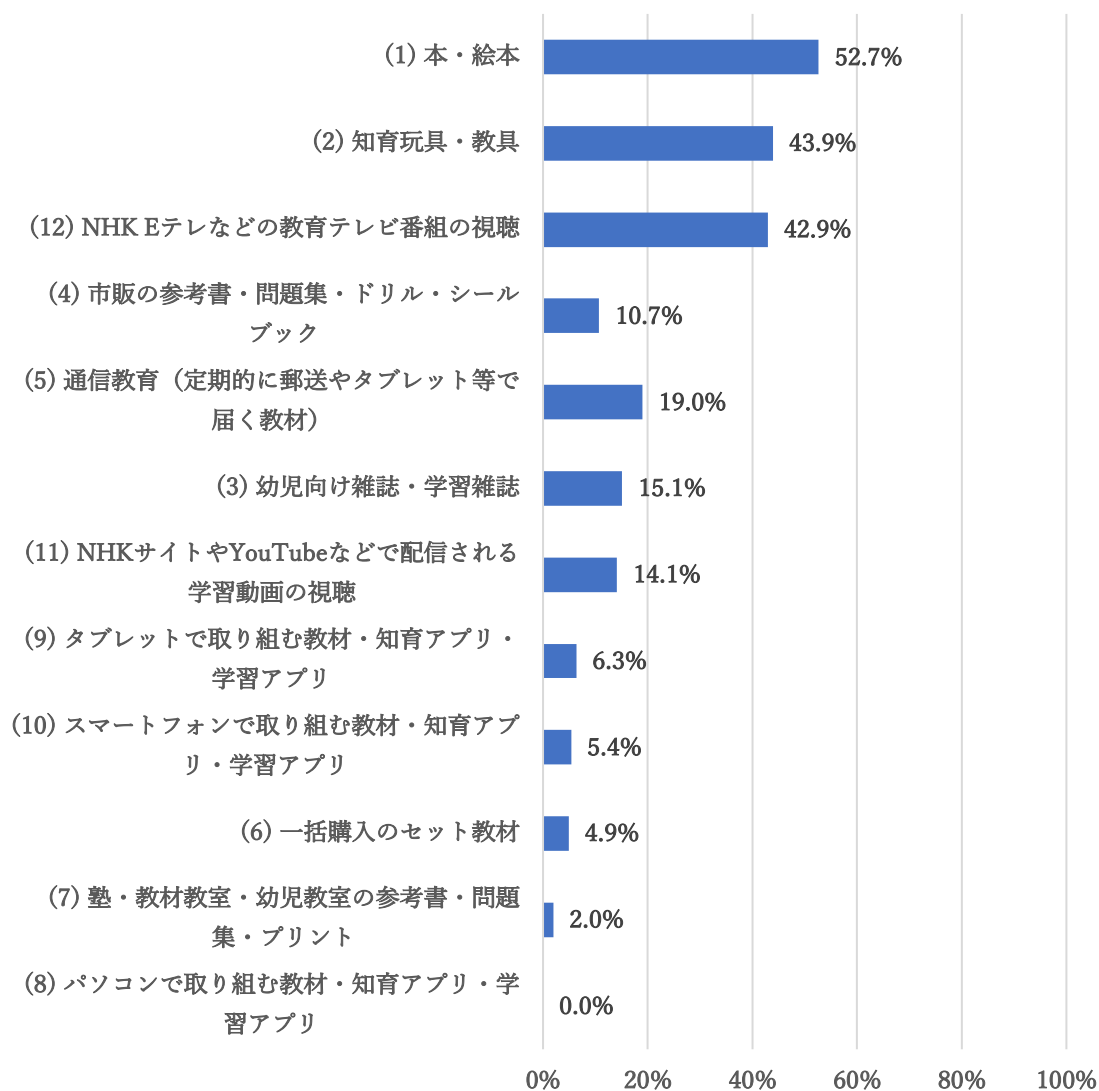


図 93. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【2 歳】

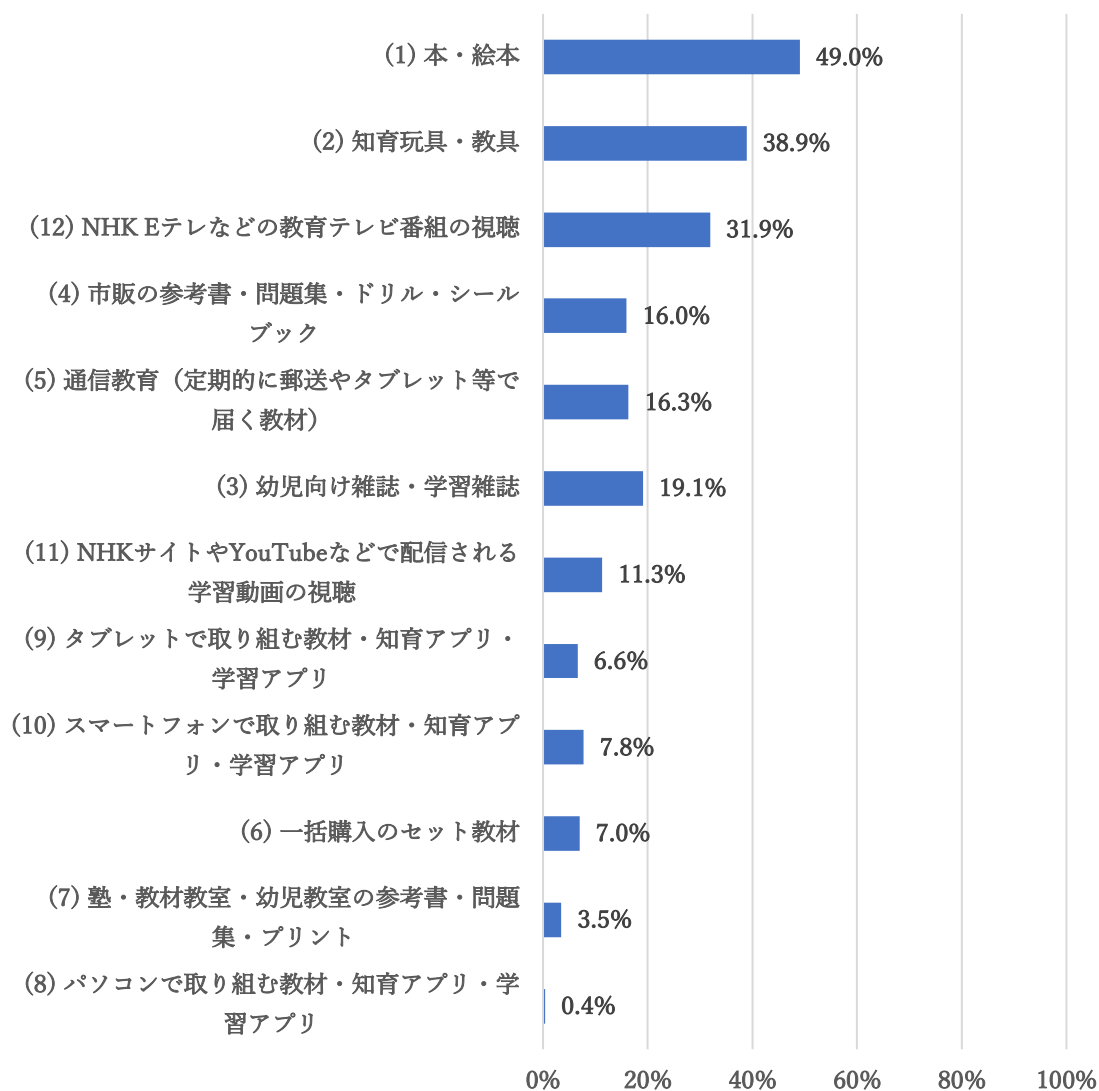


図 94. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【3 歳】

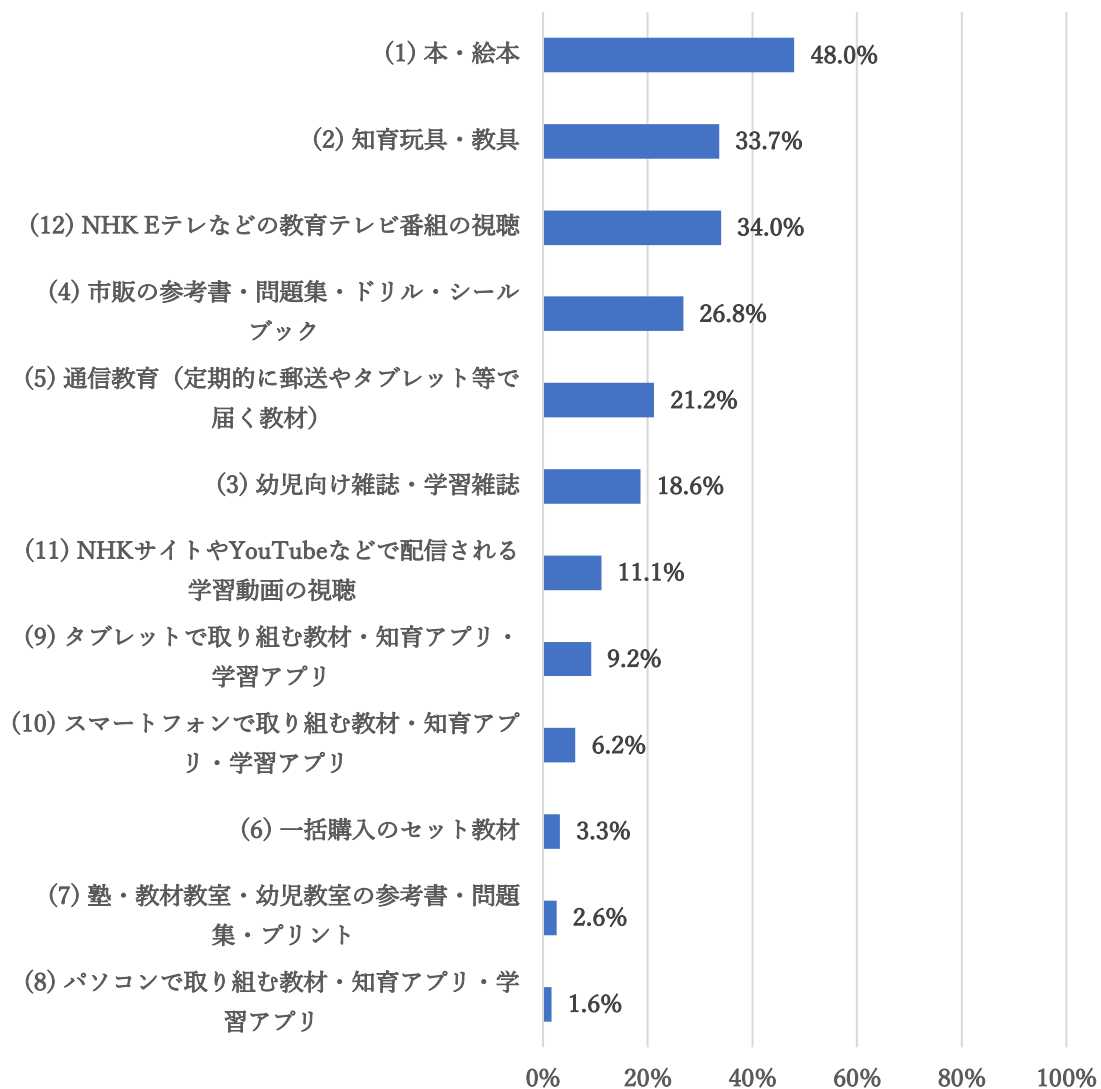


図 95. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【4 歳】

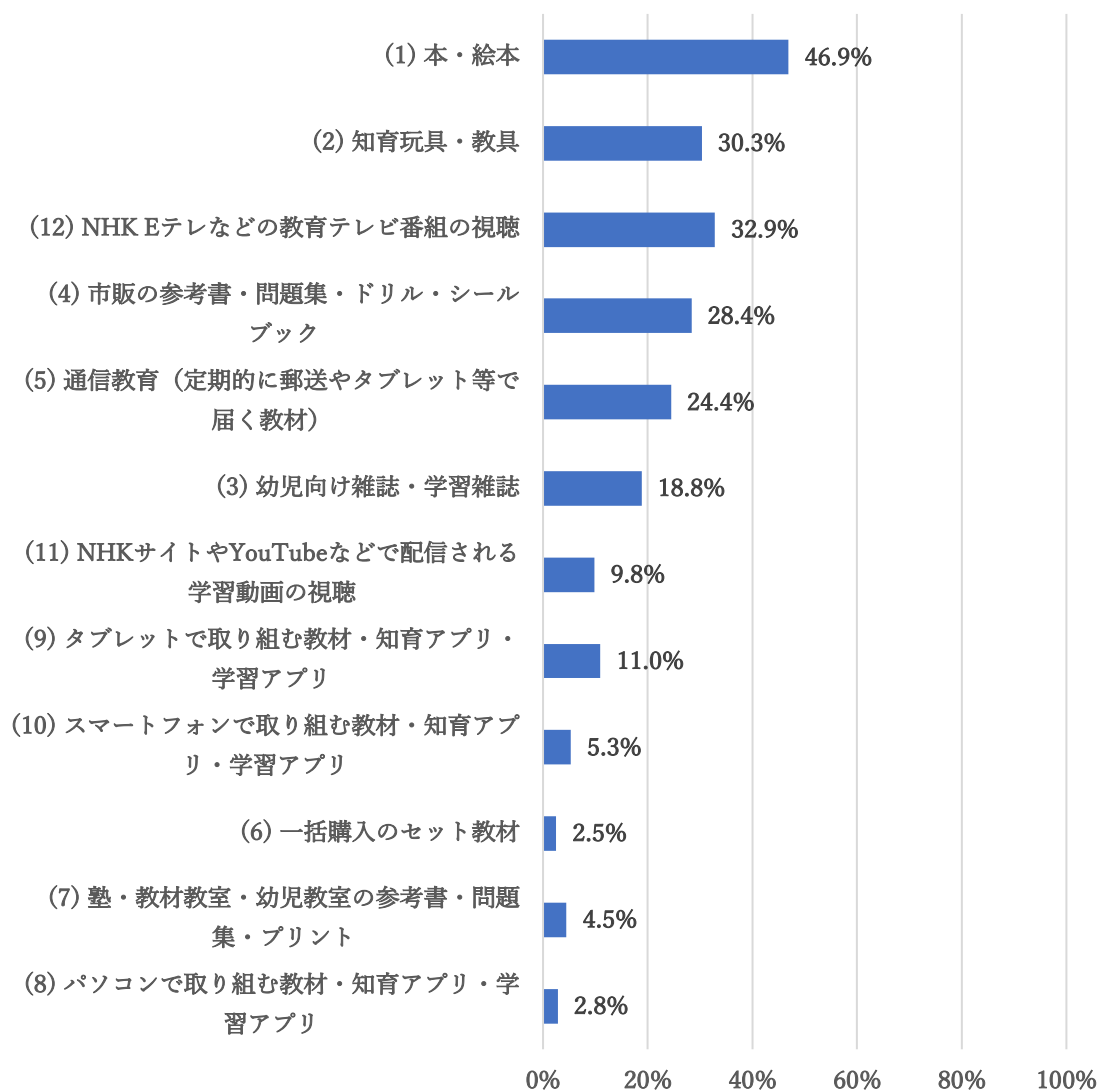


図 96. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【5 歳】

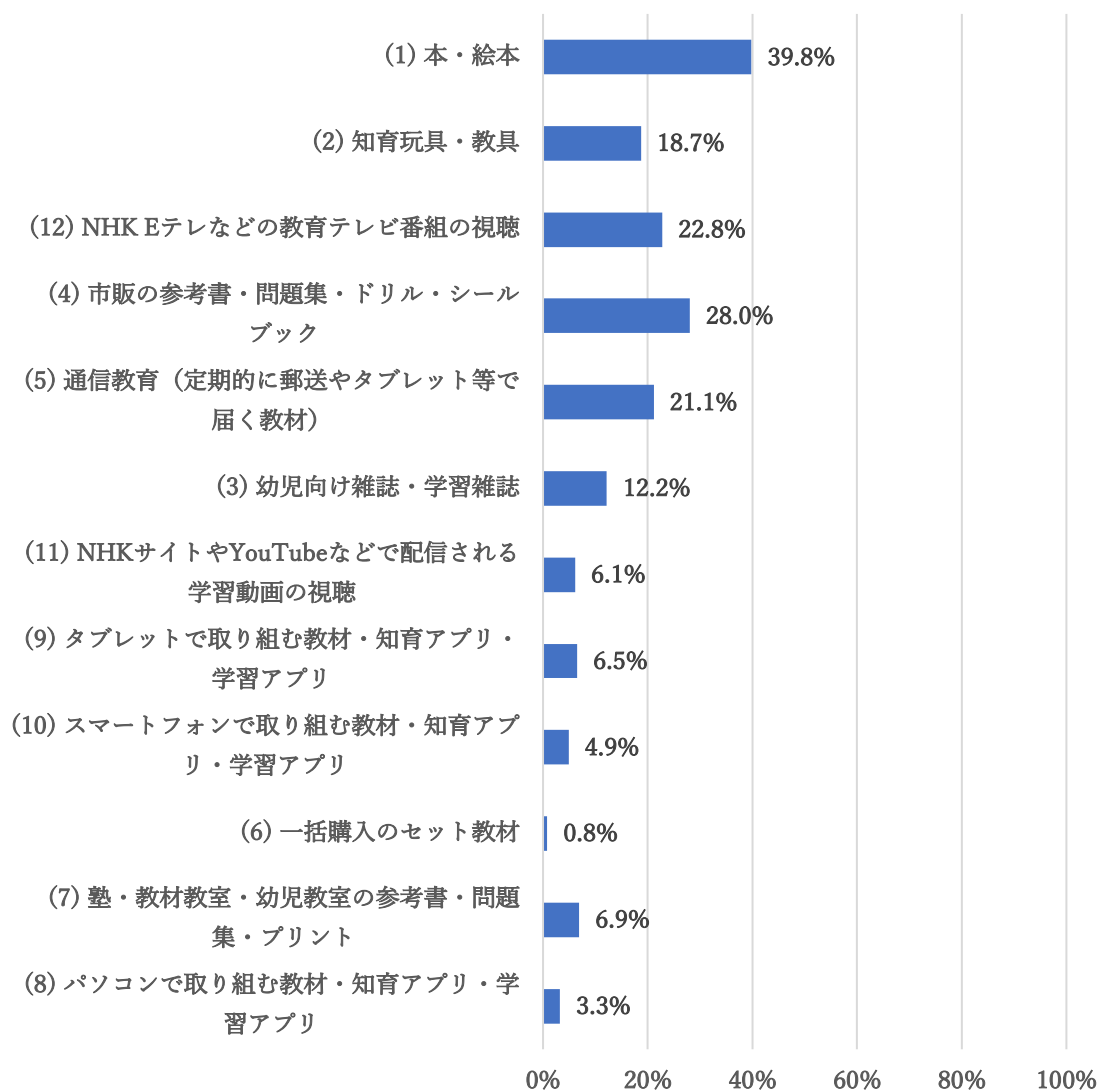


図 97. ご家庭での学習・教材の内容 (%) 【6 歳】

7.8.4. 家庭の ICT 環境

Q15. 以下の中で、お子さんが自分で使用できるものがご家庭にありますか？

ご家庭の ICT 環境（(1) パソコン、(2) タブレット端末、(3) スマートフォン）についてお尋ねしました。

回答者全体の集計結果を図 98・表 34 に、お子さんの年齢別の集計結果を図 41-1～41-3 に示します。

「Q15. 以下の中で、お子さんが自分で使用できるものがご家庭にありますか？」への回答として、(1) パソコンは、「3. 大人のものが家庭にあるが子どもには使用させていない」（68.0%）と回答した人の割合が最も多く、次いで「4. 家庭にない」（13.1%），「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」（12.3%）でした。

(2) タブレット端末は、「4. 家庭にない」（30.2%）と回答した人の割合が最も多く、次いで「3. 大人のものが家庭にあるが子どもには使用させていない」（28.6%），「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」（28.5%）でした。

(3) スマートフォンは、「3. 大人のものが家庭にあるが子どもには使用させていない」（50.8%）と回答した人の割合が最も多く、次いで「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」（39.9%），「1. 子ども専用のものが家庭にある」（4.6%）でした。

年齢別に見ると、(1) パソコンは、「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」と年齢が上ると増加する傾向にあり、最も少ないのは 0 歳（3.2%），最も多いのは 6 歳（22.8%）でした（図 99）。

(2) タブレット端末は、「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」と回答した人の割合が年齢が上ると増加する傾向にあり、最も少ないのは 0 歳（5.6%），最も多いのは 6 歳（37.8%）でした。また、「1. 子ども専用のものが家庭にある」と回答した人の割合も、5 歳までは年齢が上ると増加する傾向にあり、最も少ないのは 0 歳（0.8%），最も多いのは 5 歳（14.9%）でした。（図 100）。

(3) スマートフォンは、「2. 大人のものが家庭にあり子どもも使用する」と回答した人の割合が 0 歳（13.6%）から 3 歳（46.7%）にかけて増加し、その後は 6 歳（45.5%）まで横ばいの傾向にありました。最も少ないのは 0 歳（13.6%），最も多いのは 3 歳（46.7%）でした（図 101）。

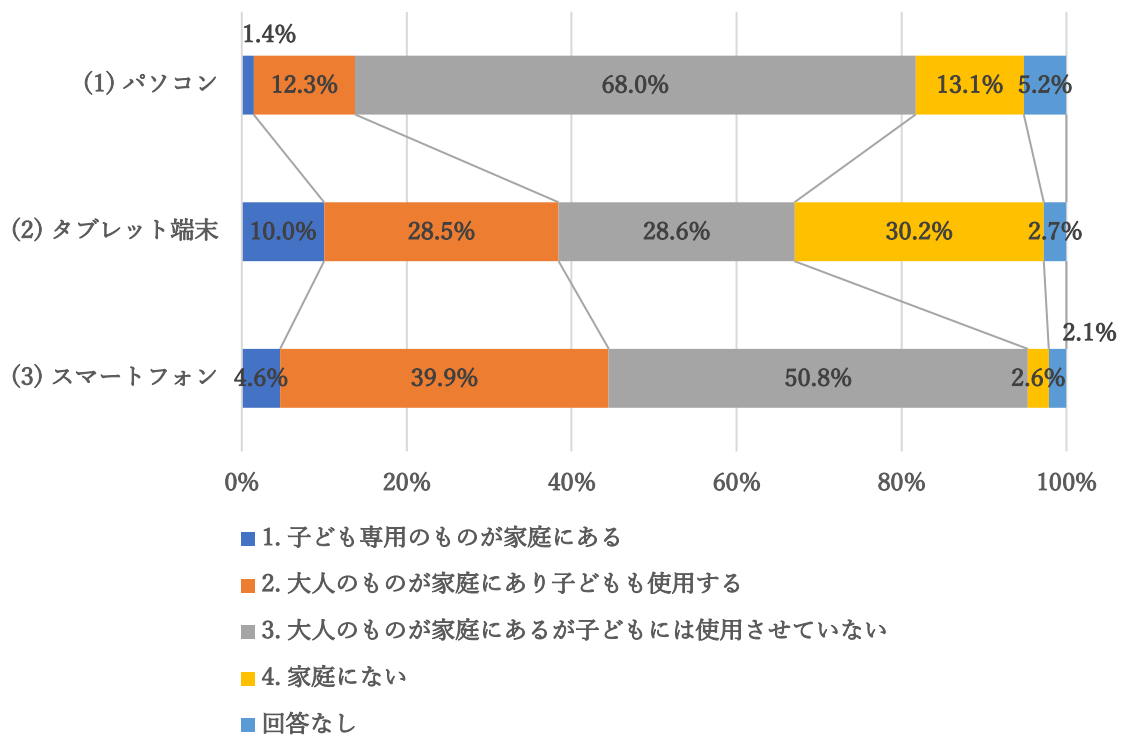


図 98. ご家庭の ICT 環境 (%)

表 34. ご家庭の ICT 環境 (集計値)

		1. 子ど も専用 のものが 家庭に ある	2. 大人 のものが 家庭に あり子ど もも使 用する	3. 大人 のものが 家庭に あるが子 どもに は使 用さ せて い ない	4. 家庭 にない	回答なし	計
(1) パソコン	回答数	24	207	1144	221	87	1683
	%	1.4%	12.3%	68.0%	13.1%	5.2%	100%
(2) タブレッ ト端末	回答数	168	479	481	509	46	1683
	%	10.0%	28.5%	28.6%	30.2%	2.7%	100%
(3) スマート フォン	回答数	78	671	855	43	36	1683
	%	4.6%	39.9%	50.8%	2.6%	2.1%	100%

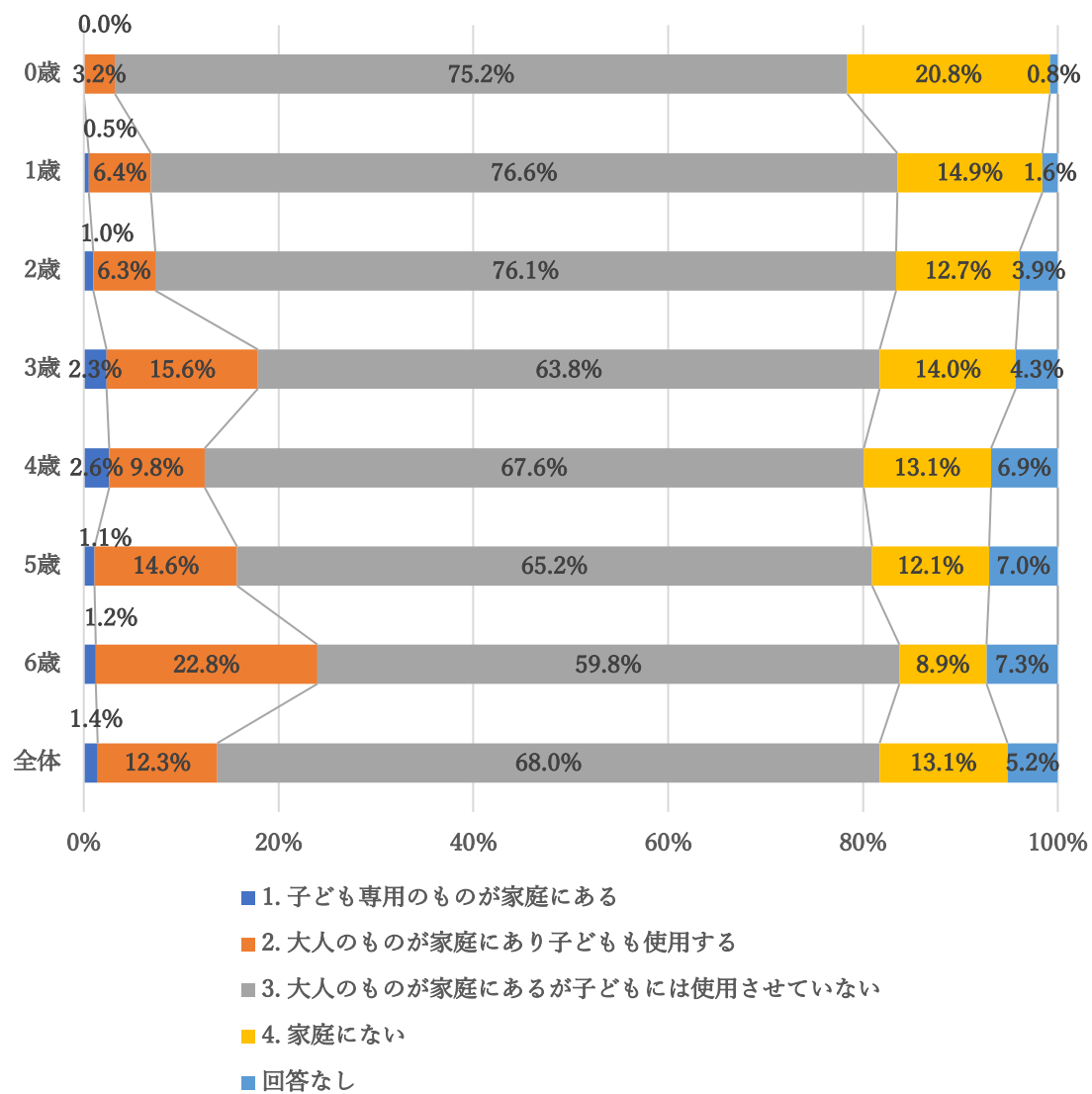


図 99. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (1) パソコン

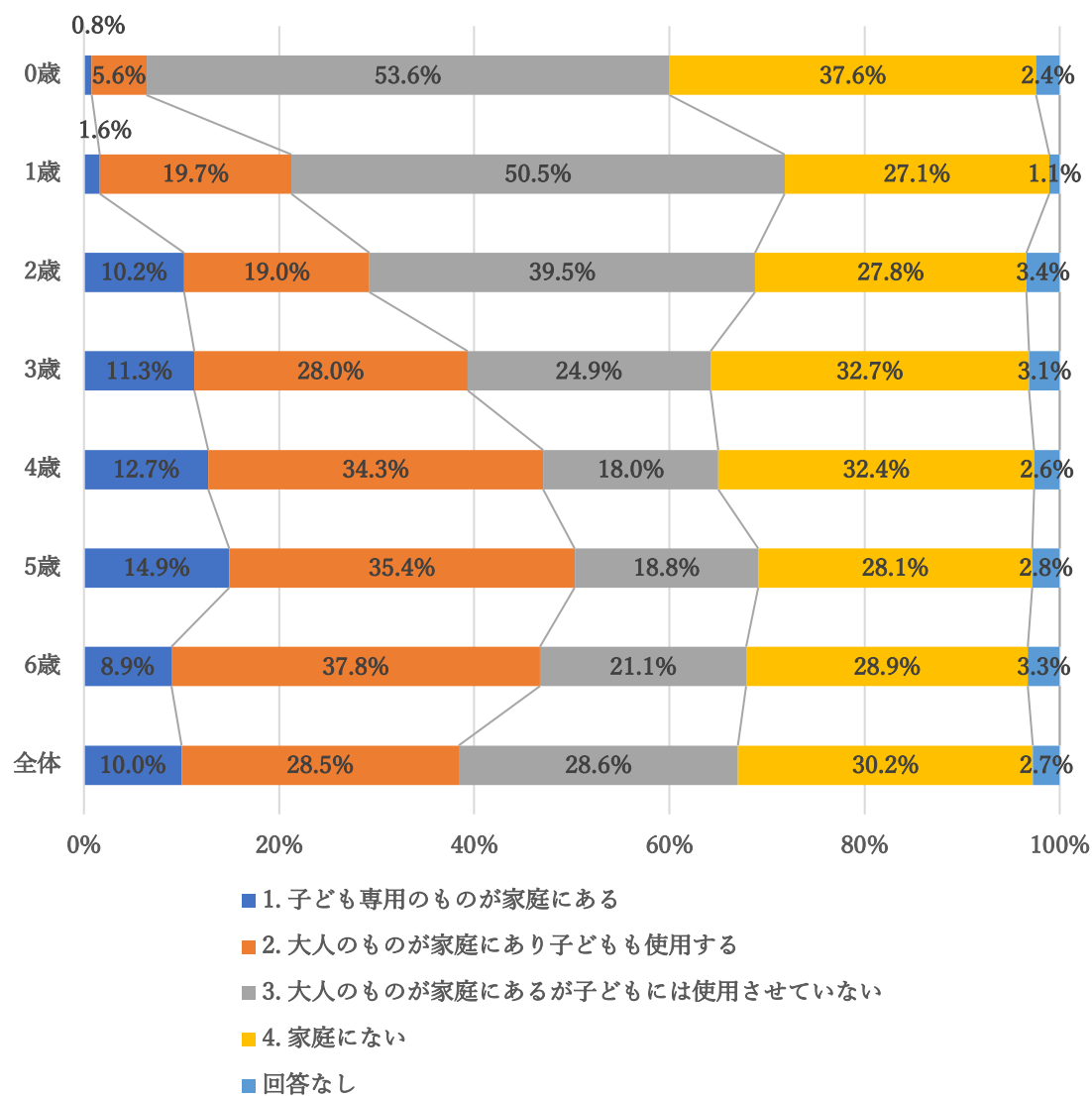


図 100. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (2) タブレット端末

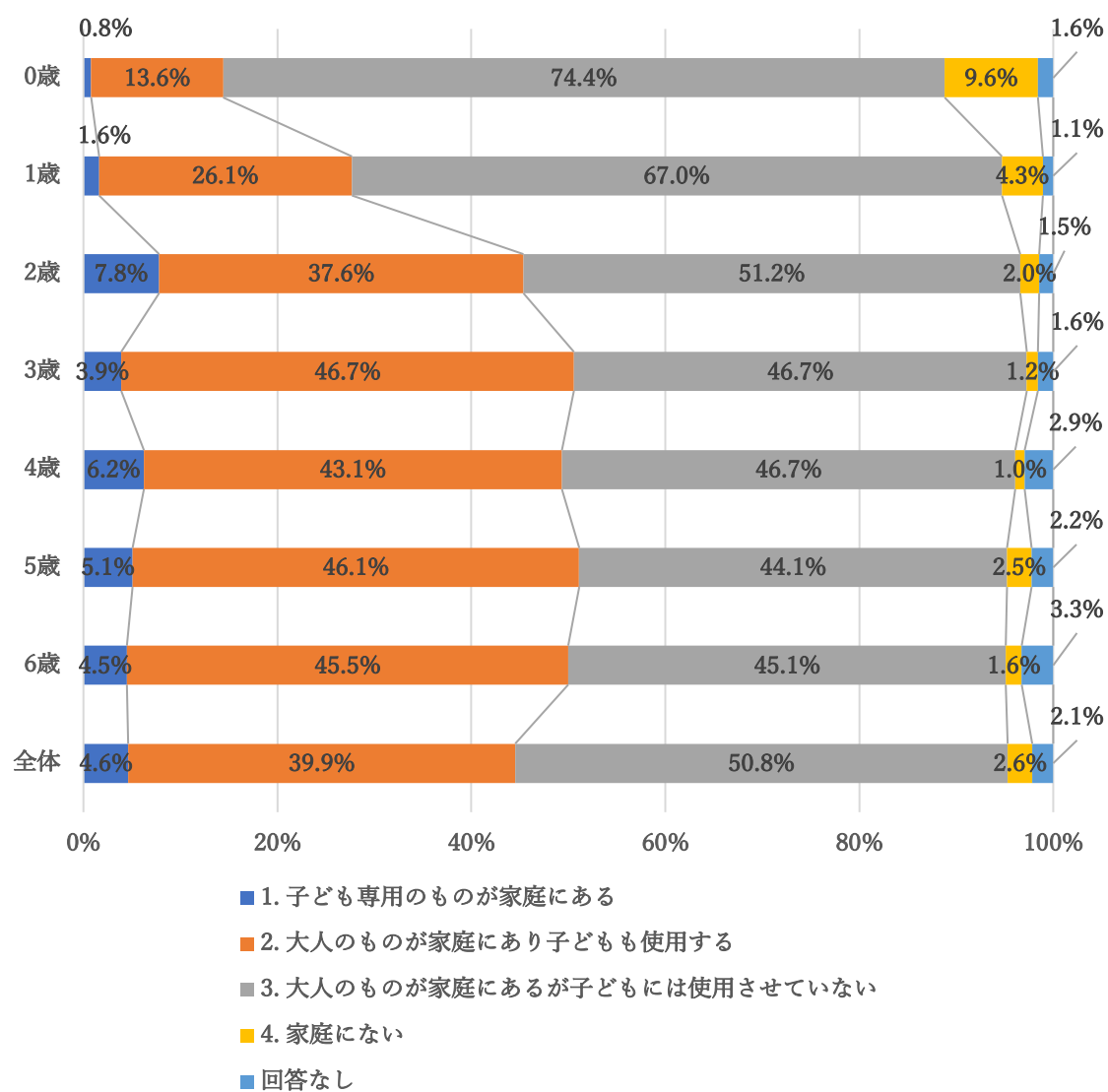


図 101. ご家庭の ICT 環境 (%) 【年齢別】 (3) スマートフォン